NEC

投映型フルカラープロジェクタ

LT75ZJ

取扱説明書

はじめに
目次
接続とセッティング
基本操作
メニュー操作
お知らせとお願い

ViewLight® LT75ZJ
ビューライト
Mobile

このたびはNEC モバイルプロジェクタをお買いあげいただきありがとうございました。
ご使用の前に、本機の機能を十分生かしてご利用いただくために、この「取扱説明書」を最後までお読みください。
お読みになったあとは、「保証書」とともに、いつでも見られる所に大切に保存してください。万一、ご使用中にわからないことや不具合が生じたときにお読みください。
LT75ZJは日本国内向けモデルです。

ご使用の前に

絵表示について

この「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ **警告**	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。**
⚠ **注意**	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の家財に損害をあたえたりすることがあります。**

絵表示の例	
	△記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。 **図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。**
	⃠記号はしてはいけないことを表しています。 **図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。**
	● 記号はしなければならないことを表しています。 **図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。**

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。
この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
（2）本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
（3）本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。
（4）本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では（3）項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
（5）乱丁、落丁はお取り替えいたします。

必ず守ってください

⚠ 警告

水場や水にぬれるような所には置かない

水ぬれ禁止

次のような水にぬれるようなおそれがある所では使用しないでください。またプロジェクタの上に水の入った容器を置かないでください。火災・感電の原因となります。

- 雨天や降雪中、海岸や水辺で使用しない
- 風呂やシャワー室で使用しない
- プロジェクタの上に花びん、植木鉢を置かない
- プロジェクタの上にコップ、化粧品、薬品を置かない

万一、プロジェクタの内部に水などが入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

次のようなところでは使用しない

次のようなところでは使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- ぐらついた台の上、傾いた所など、不安定な場所
- 暖房の近くや振動の多い所
- 湿気やほこりの多い場所
- 油煙や湯気の当たるような場所
- 調理台や加湿器のそば

天吊りの設置について

- 天吊りなどの特別な工事が必要な設置につきましては販売店にご相談ください。お客様による設置は絶対におやめください。落下してけがの原因となります。

プロジェクタのレンズをのぞかない

レンズをのぞかない

- プロジェクタのレンズをのぞかないでください。
  動作中は強い光が投写されていますので、目を痛める原因となります。特にお子様にはご注意ください。

内部に物をいれない

異物挿入禁止

- プロジェクタの通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落し込んだりしないでください。
  火災・感電の原因となります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。

  万一、異物がプロジェクタ内部に入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

⚠ 警告

キャビネットは絶対にあけない

分解禁止

- プロジェクタのキャビネットを外したり、開けたりしないでください。
  また改造しないでください。火災・感電の原因となります。
  内部の点検・調整・修理は販売店にご相談ください。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

- 雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れないでください。
  感電の原因になります。

ランプ交換は電源を切ってから

電源プラグを
コンセントから抜く

- ランプの交換は、電源を切り90秒間待って、冷却ファン停止後、電源プラグをコンセントから抜き、約60分おいてから行ってください。
  動作中や停止直後にランプを交換すると高温のため、やけどの原因となります。

電源コードの取り扱いは大切に

電源コードは大切に取り扱ってください。コードが破損すると、火災・感電の原因となります。

- コードの上に重いものをのせない
- コードをプロジェクタの下敷きにしない
- コードの上を敷物などで覆わない
- コードを傷つけない、加工しない
- コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
- コードを加熱しない
- 添付されているもの以外の電源コードは使用しない

電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）販売店に交換をご依頼ください。

故障したときは電源プラグを抜く

電源プラグを
コンセントから抜く

- 煙が出ている、変なにおいや音がする場合やプロジェクタを落したり、キャビネットを破損した場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となります。
  販売店へ修理をご依頼ください。

本機は日本国内専用です。

交流100ボルト
以外使用禁止

- 日本国内で使用する場合は交流100 ボルトで使用してください。
  添付のケーブルは国内使用専用です。
  日本国外で本機を使用する場合は、電源ケーブルの仕様を確認してください。使用する国の規格・電源電圧に適合した電源ケーブルを使用すれば、海外でも使用可能です。電源ケーブルは必ず使用する国の規格・電源電圧に適合したものを使ってください。
  詳細に関してはビューライトフリーダイヤルまでお問い合わせください。

⚠ 注意

通風孔をふさがない

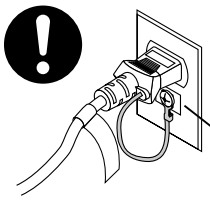
- プロジェクタの通風孔をふさがないでください。またプロジェクタの下に紙や布などの柔らかい物を置かないでください。
  火災の原因となることがあります。
  プロジェクタを設置する場所は周囲から適当な空間（目安として10cm以上）あけてください。

移動するときは電源コードを抜く

電源プラグを
コンセントから抜く

- 移動させる場合は、電源を切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブルを外したことを確認の上、行ってください。

機器のアースは確実にとってください



- 本機の電源プラグはアースつき2芯プラグです。機器の安全確保のため、機器のアースは確実にとってご使用ください。詳細は33ページをご覧ください。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

電源プラグを
コンセントから抜く

- 長期間、プロジェクタをご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

ぬれた手で電源プラグに触れない

ぬれた手は危険

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

動作中にレンズキャップをしない

- 動作中にレンズにふたをしないでください。ふたの部分が高温になり溶けることがあります。
- 動作中にレンズの前に金魚鉢、凸レンズ（虫眼鏡）などを置かないでください。火災の原因になることがあります。

⚠ 注意

電池の取り扱いについて

電池の取り扱いには注意してください。火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 電池をショート、分解、火に入れたりしない
- 指定以外の電池は使用しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 電池を入れるときは、極性（＋と－の向き）に注意し、表示通りに入れる

お手入れの際は電源コードを抜く

電源プラグを
コンセントから抜く

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

点検・工事について

内部の掃除を販売店で

- 1年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。プロジェクタの内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
  特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部の掃除費用につきましては販売店などにご相談ください。

キャリングケースの取り扱いについて

無理な扱いはしない

- プロジェクタを入れて振り回さないでください。また、無理なサイズのものは入れないでください。
  プロジェクタやキャリングケースが落下して、けがの原因となることがあります。

お願い

性能確保のため、次の点にご留意ください。

- **振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください**
  動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両、船舶などに搭載すると、本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。
  振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。

- **高圧電線や動力源の近くに設置しないでください**
  高圧電線、動力源の近くに設置すると、妨害を受ける場合があります。

- **スクリーンへの外光対策をしてください**
  スクリーンには、照明など本機以外からの光が入らないようにしてください。
  外光が入らないほど、ハイコントラストで美しい映像が見られます。

- **持ち運びについて**
  本機を持ち運ぶときは、添付のソフトキャリングケースを使用してください。その際、レンズに傷が付かないように必ずレンズキャップを取り付けてください。また、プロジェクタ本体には強い衝撃を与えないでください。

- **投写レンズ面は素手でさわらないでください**
  投写レンズ面に指紋や汚れが付くと、拡大されてスクリーンに映りますので、レンズ面には手をふれないでください。また、本機を使用されないときは、添付のレンズキャップをかぶせておいてください。

- **スクリーンについて**
  ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。
  スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。

- **たばこの煙やほこりの多い場所での使用**
  たばこの煙やほこりの多い場所で使用する場合は、あらかじめ当社にご相談ください。

- **廃棄について**
  本体廃棄の際は、お買いあげの販売店または、自治体にお問い合わせください。

■ランプ取扱上の注意

- **プロジェクタの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。**
  ランプは、衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などにより、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となることがあります。また、ランプが破裂や不点灯に至るまでの時間、条件には、ランプの個体差や使用条件によって差があり、本取扱説明書に記してある指定の使用時間内であっても、破裂または不点灯状態に至ることがあります。
  なお、指定の使用時間を越えてお使いになった場合は、ランプが破裂する可能性が高くなりますので、ランプ交換の指示が出た場合には、すみやかに新しいランプに交換してください。

- **ランプ破裂時には、ランプハウス内にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部に含まれるガスがプロジェクタの通風口から排出されることがあります。ランプ内部に使用されているガスには水銀が含まれていますので、破裂した場合は窓や扉を開けるなど十分に換気を行ってください。ガスを吸い込んだり、目に入ったりした場合には、速やかに医師にご相談ください。**

- **ランプが破裂した場合には、プロジェクタ内部にガラス片が散乱している可能性があります。プロジェクタ内部の清掃、ランプの交換その他の修理について、必ず当社指定のサービス拠点、または販売店に依頼し、お客様ご自身でプロジェクタ内部の清掃、ランプ交換を行わないでください。**

以下のような場合は電源プラグをコンセントから絶対に抜かないでください。機器が故障する恐れがあります。

- **電源プラグをコンセントに差し込んだ直後（POWERインジケータがオレンジ色に点灯しないとき）**
- **アフタークーリング（POWERボタンOFF後の90秒間ファン回転）終了直後**

目　　次

はじめに

ご使用の前に.....2

● 必ず守ってください.....3

● 本書の説明について.....10

● 特　長.....11

● 梱包品の確認.....12

● 本体各部のはたらき.....13

レンズキャップの取り付けかた.....13

盗難防止用ロックについて.....14

本体操作部.....15

接続端子部.....16

● リモコン各部のはたらき.....17

電池の入れかた.....18

リモコンの有効範囲.....18

接続とセッティング

● セッティングの手順.....24

● 投写距離と画面サイズ.....25

（1.スクリーンとプロジェクタを置く）

● 接　　続

（2.パソコンやビデオデッキなどプロジェクタで映す機器を接続する）

DOS/V、IBM PC/AT互換機のパソコンとの接続.....27

PC98-NXシリーズのパソコンとの接続.....28

PC-9800シリーズのパソコンとの接続.....29

（ディスプレイ端子がミニD-Sub 15ピンと異なる機種）

Macintoshのパソコンとの接続.....30

DVDプレーヤのYCbCr出力端子との接続.....31

ビデオ機器や書画カメラとの接続.....32

● 電源について

（3.電源コードを接続し電源を入れる）

1.電源コード（添付）を接続する.....33

2.プロジェクタ電源の入／切.....34

電源を入れたときスタート画面が表示された場合.....35

● 投写画面の調整.....36

（4.投写画面を調整する）

プロジェクタ角度調整のしかた.....37

パソコンの投写画面がうまく映らない場合.....39

基本操作

入力の選択.....40

画像を自動調整する.....40

音量の調整.....41

画像と音声を消去する.....41

プロジェクタの操作説明を見る.....41

ポインタを表示／非表示／移動する.....42

画像の拡大と移動.....42

映像を調整する.....42

動画を静止画にする.....42

表示モードの選択.....42

メニュー操作

● メニュー機能を使う前に.....43

オンスクリーンメニューの基本操作.....43

メニュー選択のしかた.....43

メニューを表示しているときの〈CANCEL〉ボタンと〈ENTER〉ボタンの働き.....44

設定・調整のしかた.....45

オンスクリーンメニュー一覧.....46

● 入力選択

入力信号の選択.....48

● 映像調整・音量調整

映像の調整.....49

音量の調整.....49

● 画像調整

上下方向台形歪みの調整.....50

ランプモードの選択.....50

表示モードの選択 Ⓐ.....51

画像の表示位置と周波数の調整 Ⓐ.....52

アドバンスド・アキュブレンドの選択 Ⓐ.....53

映像フィルタの設定 Ⓐ.....53

調整データのリセット.....54

● カラー調整

ガンマ補正の選択 Ⓐ.....55

ホワイトバランスの調整 Ⓐ.....55

● メニュー設定
表示させるメニューモードの選択.....56
メニューの表示言語を選択.....56
入力端子表示のOn／Off.....56
信号未入力表示のOn／Off.....57
音量調整表示のOn／Off.....57
台形補正表示のOn／Off.....57
メニューの表示時間の選択.....57
● セットアップ
プロジェクタの投写方法を選択.....58
シネマモード時の画面位置を選択.....58
無信号時の背景色を選択.....59
信号モードの選択 Ⓐ.....60
画像の自動調整 Ⓐ.....61
自動で立ち上げる Ⓐ.....61
RGB入力端子無信号時に電源を切る Ⓐ.....62
電源を切るとき確認表示を出す Ⓐ.....62
台形補正データを保存する Ⓐ.....63
明るさ／色あいの選択 Ⓐ.....63
初期入力の設定 Ⓐ.....64
通信速度の設定 Ⓐ.....64
本体操作部のボタンを無効にする Ⓐ.....65
ランプ使用時間をクリアする Ⓐ.....66
● 情　報
入力信号情報と機器情報を見る.....67
ランプ残量／ランプ使用時間の表示について.....67

── お知らせとお願い ──

● 性能維持
ランプ交換のしかた.....68
インジケータ（LED）表示一覧表.....70
温度プロテクタについて.....70
● 故障かな？と思ったら.....71
● お手入れについて.....72
● 仕　様.....73
● 付　録
投写距離と画面サイズ一覧.....74
対応解像度一覧.....76
RGB INPUT端子のピン配列と信号名.....77
関連商品.....78
外観図.....78
● 保証と修理サービス（必ずお読みください）.....79
● 海外でご使用になる場合：トラベルケア（TravelCare）のご紹介....80
● ViewLight CLUB 安心サポートシステム.....裏表紙

Ⓐ …アドバンストメニューのとき表示される項目に表記しています。
本機のメニュー表示は、普段よく使う基本の調整・設定ができるベーシックメニューと、より詳細な調整・設定ができるアドバンストメニューがあります。

本書の説明について

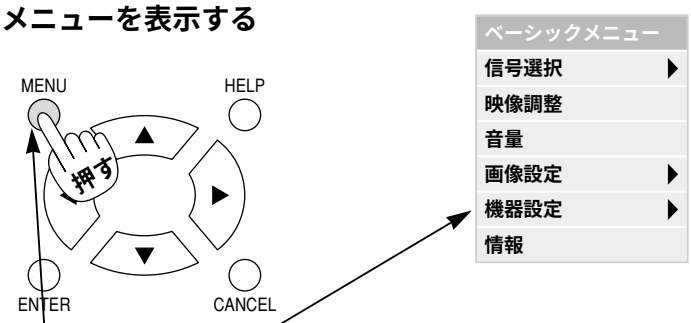
■説明書に記載の本体やリモコンの操作ボタン名とメニュー項目名の区別

説明文中に〈MENU〉ボタンや［機器設定］など操作ボタン名称やメニューの名称にカッコを付けています。
〈　〉……プロジェクタ本体やリモコンの操作ボタンを表しています。
［　］……メニュー表示の項目名や調整・設定名を表しています。

【記載例】

■メニュー選択のしかた

1 **メニューを表示する**



〈MENU〉ボタン を押してから45秒間（工場出荷時）操作をしないとメニューが閉じます。
時間は［機器設定］→［メニュー設定］の設定画面の［表示時間］で選択できます。
（*57ページ参照*）

本機は添付のリモコンと別売品のプレゼンテーションリモコンを併用して説明しています。同じボタン名称は同じ働きをしますが、プレゼンテーションリモコン特有のボタン説明はプレゼンテーションリモコンのマークを表記します。添付のリモコンでは操作できません。

プレゼンテーションリモコンのマーク

特　長

軽量小型のDLP™モバイルプロジェクタ

DLP™ 方式を採用し、キャビネットにはマグネシウム合金を使用。軽さ約1.5kg・薄さ53mm（突起部含まず）とコンパクト化を実現した小さなプロジェクタです。

パソコン入力信号を自動調整

アナログRGB出力のDOS/V対応機やMacintoshなど他社パソコン入力信号も自動調整。（調整しきれない機器もあります。）

アドバンスド・アキュブレンド機能によりUXGAまでの解像度に対応

SVGA（800×600ドット）にフル対応、NEC独自のアドバンスド・アキュブレンド機能によりUXGA（1600×1200ドット）の入力信号までカバー。

動画もきれいに再生できるコンポーネント入力に対応

RGB入力端子に別売のコンポーネントビデオ接続ケーブル（型名 VL-CA03VまたはADP-CV1）を接続すると、自動判別機能によりコンポーネント信号に自動切り換え。DVDやハイビジョン放送など16：9のワイドサイズ映像もクリアなデジタル映像で再生（アドバンスド・アキュブレンド機能により表示可能）。

ランプ出力にエコモード切換機能を搭載

省電力とランプ寿命の延長で維持費の節約。

わかりやすいメニューでらくらく調整

各種設定は、パソコンライクでわかりやすいプルダウンメニュー。基本操作とより詳細な調整／設定ができる2モードメニュー（ベーシック／アドアバンスト）。

プロジェクタに必須の台形歪補正には上下方向を採用

設置時に画面が台形になった場合、リモコン（メニュー）を使って台形補正ができる上下方向台形歪補正機能を搭載。

＊DLP(Digital Light Processing)、DMD (Digital Micromirror Device) は米国テキサスインスツルメンツ社の商標です。
＊IBM, ATは米国International Business Machines, Corporation.の登録商標です。
＊Macintoshは米国Apple Computer Inc.の商標です。
＊その他取扱説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

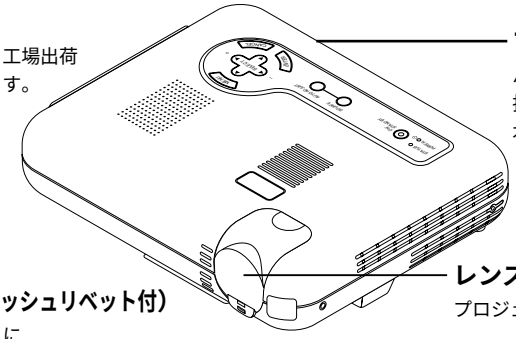
アドバンスド・アキュブレンドについて

アドバンスド・アキュブレンドとは、パソコンの出力信号のドット数とプロジェクタのDMDパネルのドット数が一致しない場合(例：パソコン出力が1280×1024ドット、プロジェクタが800×600ドット)や拡大表示する場合に、NEC独自のデジタル補間技術を用いて、より見やすい状態で解像度を変換し表示する技術です。
従来方式では、単純に間引いたり二度書きしているだけでしたので、表の罫線が数本完全に消えてしまう・斜め線がギザギザになってしまうなど見づらい点がありましたが、アドバンスド・アキュブレンドにより、そのような点が解消・軽減されました。

梱包品の確認

梱包品の内容をご確認ください。万一、添付品などが不足している場合はお買いあげの販売店にご連絡ください。

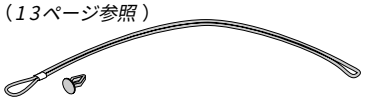
リアフットスペーサ
水平位置固定用のスペーサです。工場出荷時はリアフットに取り付けています。
（*37ページ参照*）

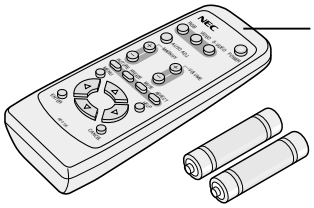


プロジェクタ
パソコンやDVDプレーヤなどを接続して大画面をスクリーンに映す本体です。

レンズキャップ
プロジェクタのレンズに装着しています。

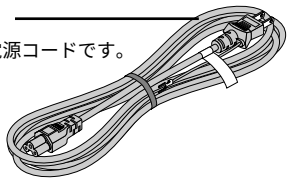
レンズキャップ用ヒモ（プッシュリベット付）
レンズキャップをなくさないようにプロジェクタに取り付けるヒモです。
（*13ページ参照*）

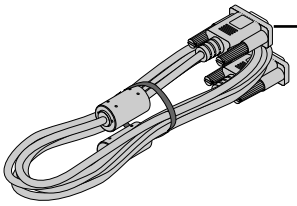




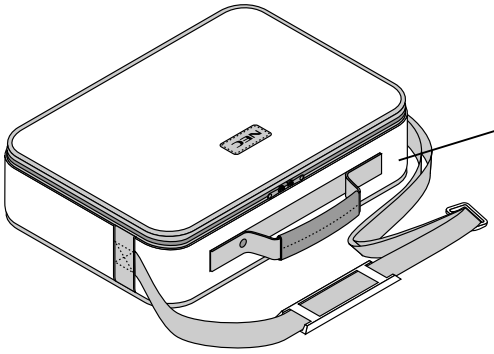
リモコン（乾電池2個付）
プロジェクタを操作するリモコンです。（初めてのご使用時は乾電池を入れてください。（*18ページ参照*）

電源コード
電源を接続する電源コードです。

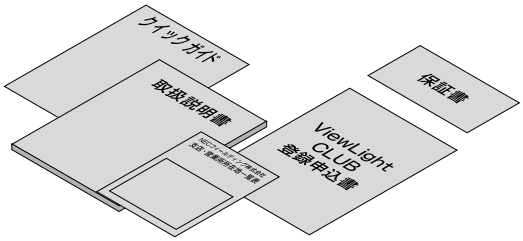




RGB信号ケーブル
（ミニ D-Sub 15ピン）
パソコンの画面をプロジェクタで映すときに接続します。



ソフトキャリングケース
プロジェクタ本体や添付品を入れるバッグです。
移動や保管時にご使用ください。



クイックガイド
セッティングの手順と操作内容が簡単に書かれています。

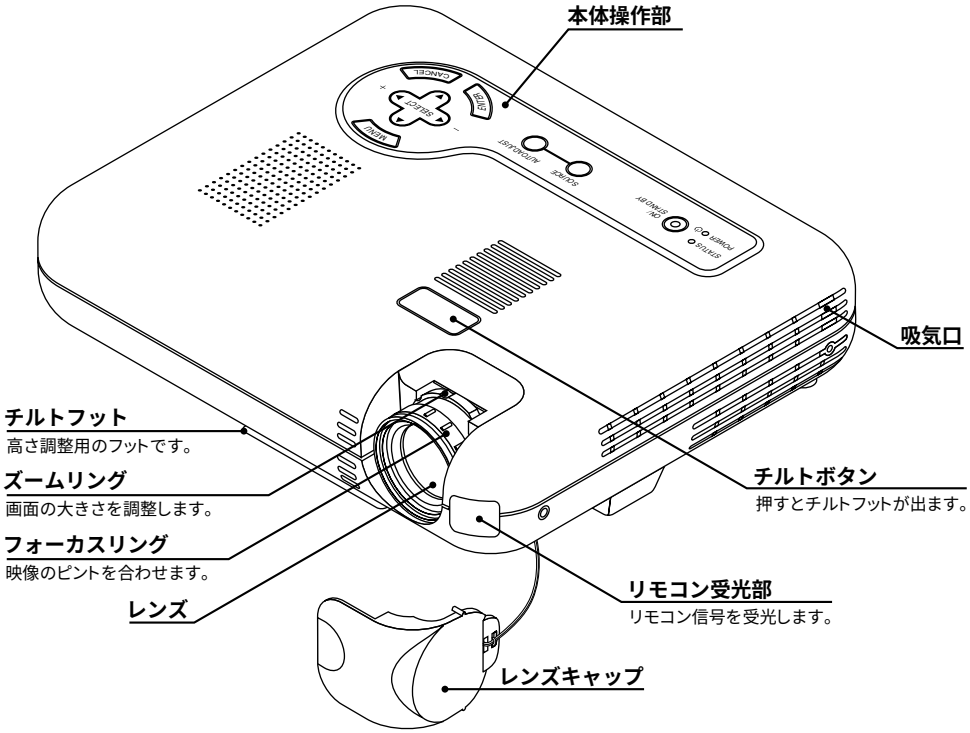
取扱説明書
プロジェクタの使いかた、安全のため守っていただきたいこと、保証とサービスなどについて書かれています。

NECフィールディング株式会社 支店・営業所所在地一覧表
お客様が修理を依頼されるときの相談窓口が書かれています。

保証書
プロジェクタの保証内容・条件が書かれています。

ビューライトクラブ申込書
会員ならではのサービスが受けられます。

本体各部のはたらき



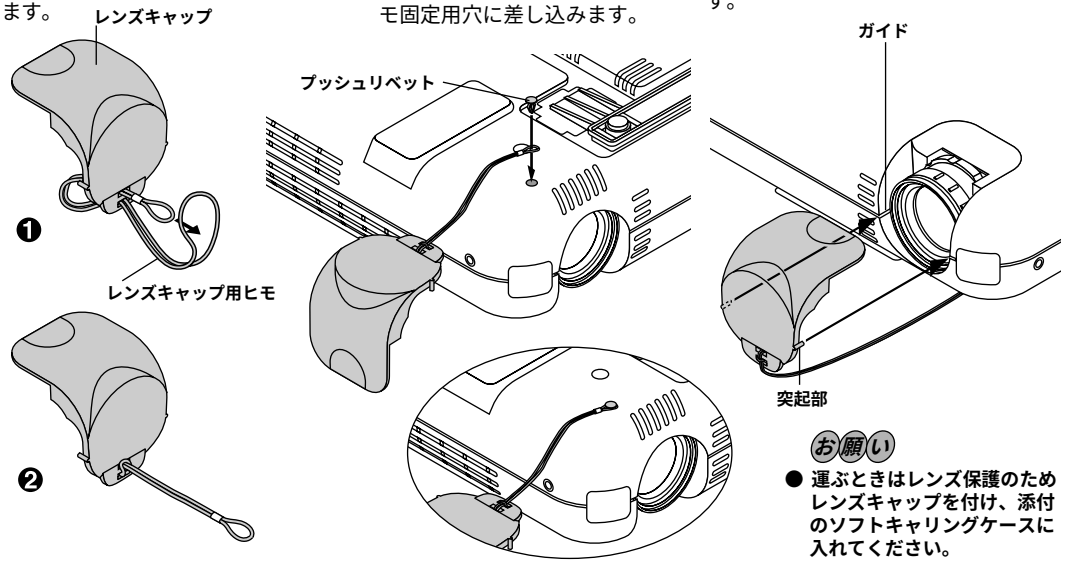
■レンズキャップの取り付けかた

（1）添付のレンズキャップ用ヒモを図の様にレンズキャップの穴に通します。

（2）添付のプッシュリベットで本体裏面にあるレンズキャップ用ヒモ固定用穴に差し込みます。

付けかた

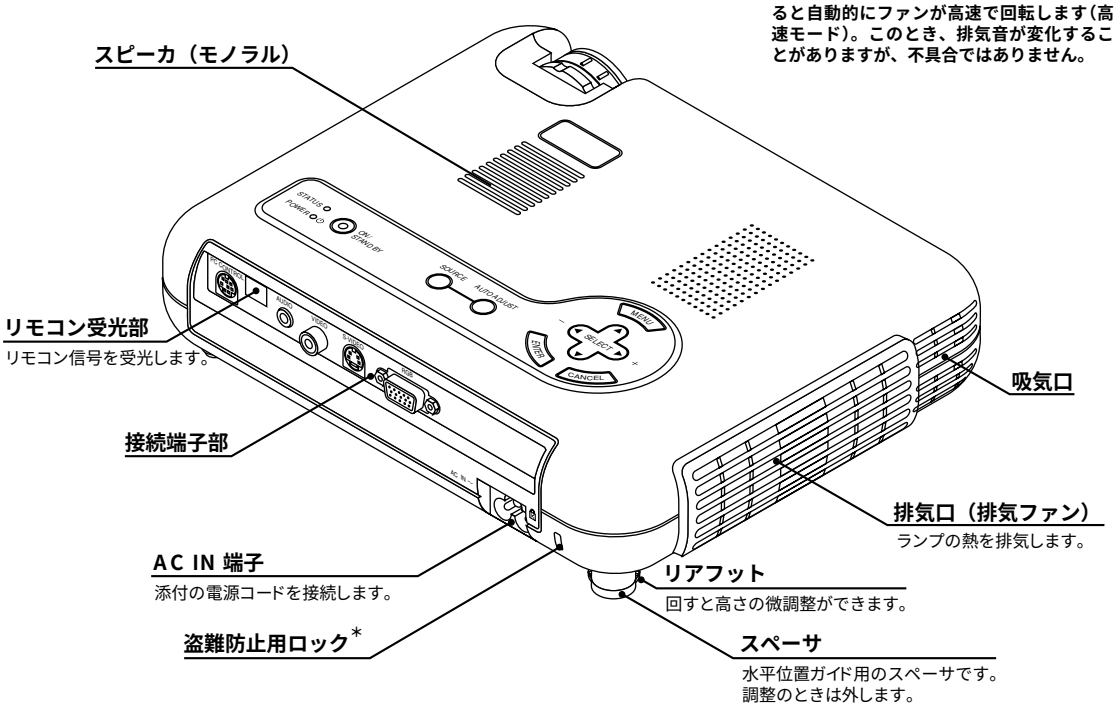
レンズキャップ両側面の突起部を本体のガイドに合わせそのまま押し込みます。

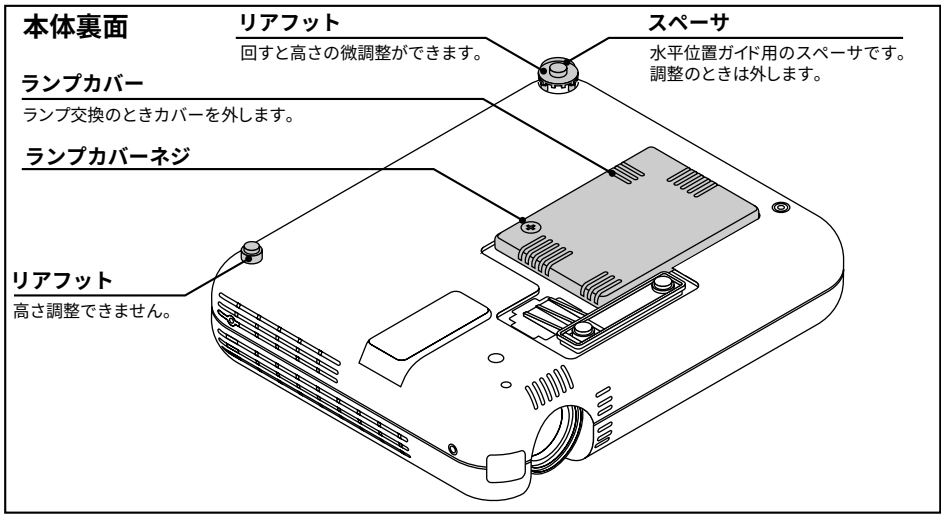


お願い

● 運ぶときはレンズ保護のためレンズキャップを付け、添付のソフトキャリングケースに入れてください。

お知らせ
- 本機には内部温度センサーがついています。この温度センサーにより適切な速度でファンが回転します。ただし、内部の温度が上昇すると自動的にファンが高速で回転します（高速モード）。このとき、排気音が変化することがありますが、不具合ではありません。





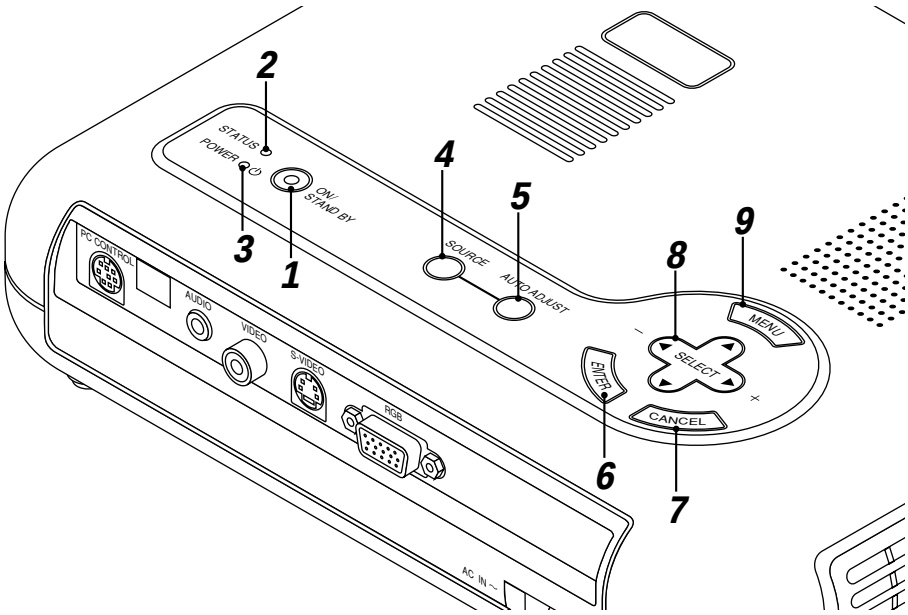
お知らせ

盗難防止用ロックについて

盗難防止用ロックは、キーケーブルロック等のセキュリティワイヤーに対応しています。製品についてのお問い合わせ先は、以下のとおりです。

日本ポラデジタル株式会社　第3営業部
〒104-0032　東京都中央区八丁堀1丁目5番2号　はごろもビル
Tel : 03-3537-1070　　Fax : 03-3537-1071

本体操作部



1 POWER〈ON / STAND BY〉ボタン

本機の電源を入／切(スタンバイ状態)します。
電源を切るときは、2秒以上押してください。

2〈STATUS〉インジケータ

光源ランプの交換時期がきたり、本機に異常が発生したときに、点灯／点滅します。
詳しくは70ページ「インジケータ（LED）表示一覧表」をご覧ください。

3〈POWER〉インジケータ

電源が入っているときは緑色に点灯します。
電源が切れている（スタンバイ状態）ときはオレンジ色に点灯します。
詳しくは34ページ「プロジェクタ電源の入／切」をご覧ください。

4〈SOURCE〉ボタン

RGB、ビデオ、Sビデオの入力を切り換えます。
押すごとに ↱RGB→ビデオ→Sビデオ↰

と切り換わります。
入力されていない信号は飛び越します。

5〈AUTO ADJUST〉ボタン

映しているRGB信号の画像を最適な状態に自動調整します。（*40ページ参照*）

6〈ENTER〉ボタン

メニューを表示しているときは、項目を決定します。

7〈CANCEL〉ボタン

メニューを表示しているときは、メニューを閉じます。
各種調整・設定画面を表示しているときはメニュー表示に戻ります。

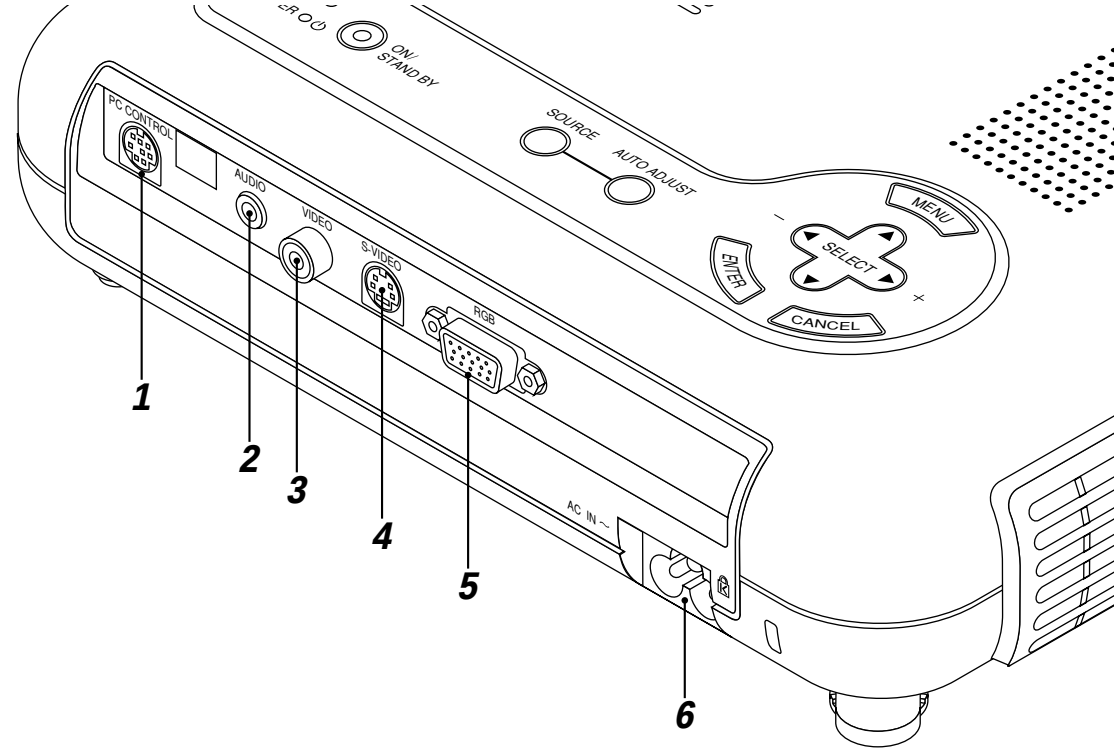
8〈SELECT ▼▲◀▶〉／音量調整ボタン

メニューを表示しているときは、設定・調整したい項目を選択します。
また、画面拡大中の表示位置の調整に使います。
メニューを表示していないときは〈▲/▼〉ボタンで音量が変わります。

9〈MENU〉ボタン

各種設定・調整のメニューを表示します。

接続端子部



1 PC CONTROL 端子 （ミニDIN-8P）
パソコンで本機をコントロールするときに使用します。（工場出荷時にキャップが付いています。）

2 AUDIO INPUT 端子 （ステレオミニ）
プロジェクタの内蔵スピーカから音を出すときに、パソコンまたはビデオ機器の音声出力端子と接続します。
本機のスピーカから出力される音声はモノラルのみです。

3 VIDEO INPUT 端子 （RCA-フォノ）
ビデオデッキなど映像機器の映像出力端子と接続します。

4 S-VIDEO INPUT 端子（ミニDIN-4P）
ビデオデッキなど映像機器のS映像出力端子と接続します。

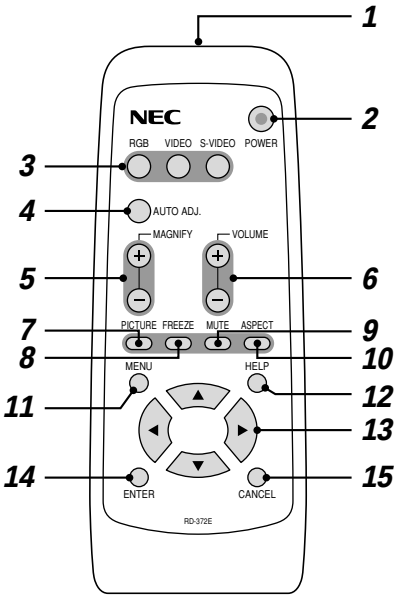
5 RGB INPUT 端子（ミニD-Sub 15ピン）
パソコン本体のアナログRGB出力端子や、DVDプレーヤなどのコンポーネント出力端子と接続します。

6 AC IN端子
添付の電源コードを接続します。

お知らせ

- **音声の接続について**
  ビデオ機器などステレオ信号（右・左）を本機に入力する場合は市販のRCAフォノタイプのステレオ→モノラル変換ケーブルをご使用ください。
- 市販のケーブルには、プラグの外形が大きいため挿入できないものもあります。
  別売のRGBケーブル（VL-CA02MD または VL-CA10MD）のご使用をおすすめします。

リモコン各部のはたらき



1 リモコン送信部

赤外線によるリモコン信号が送信されます。
本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

2 〈POWER〉ボタン

本機の電源を入／切(スタンバイ状態)します。
電源を切るときは、2秒以上押してください。

3 入力選択〈RGB/VIDEO/S-VIDEO〉ボタン

RGB、ビデオ、Sビデオの入力を切り換えます。
(36ページ参照)

4 〈AUTO ADJ.〉ボタン

映しているRGB信号の画像を最適な状態に自動調整します。(*40ページ参照*)

5 〈MAGNIFY ＋/－〉ボタン

映している画面の拡大・縮小（元に戻す）をします。
(*42ページ参照*)

6 〈VOLUME ＋／－〉ボタン

音量を調整します。(*41ページ参照*)

7 〈PICTURE〉ボタン

明るさ・コントラストなど各種映像調整項目を表示します。(*49ページ参照*)

8 〈FREEZE〉ボタン

表示されている画像が静止画となります。
もう一度押すと戻ります。

9 〈MUTE〉ボタン

映像と音声を一時的に消します。もう一度押すと戻ります。

10 〈ASPECT〉ボタン

アスペクト設定画面を表示します。
ボタンを押すごとにアスペクト比を切り換えます。
押すごとに「ノーマル」→「ズーム」→「ワイドズーム」→「シネマ」と切り換わります。SELECT〈◀／▶〉ボタンでも切り換えることができます。
3秒間操作がないとアスペクト設定画面は自動的に消えます。(*51ページ参照*)

11 〈MENU〉ボタン

各種設定・調整のメニューを表示します。

12 〈HELP〉ボタン

情報画面を表示します。(*41ページ参照*)

13 〈SELECT ▼▲◀▶〉

メニューを表示しているときは、設定・調整したい項目を選択します。
また画面拡大中の表示位置の調整に使います。

14 〈ENTER〉ボタン

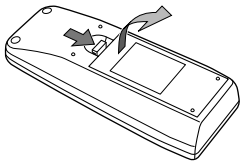
メニューを表示しているときは、項目を決定します。

15 〈CANCEL〉ボタン

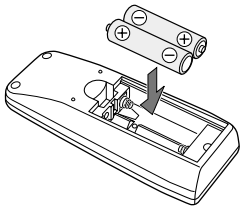
メニューを表示しているときは、メニューを閉じます。
各種調整･設定画面を表示しているときは、メニュー表示に戻ります。

■電池の入れかた

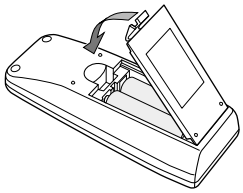
1 図のようにリモコン裏面の電池ケースのふたを外します。



2 ケース内部の表示通りに＋,－の向きを合わせて入れます。



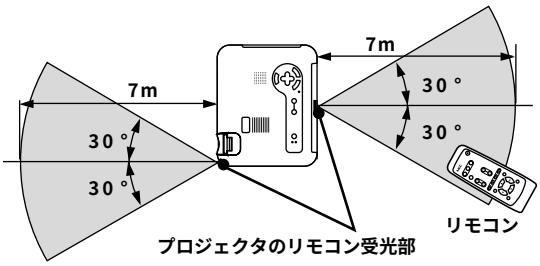
3 もと通りふたを戻します。



電池を交換するときは2本とも同じ種類の単三乾電池をお買い求めください。

■リモコンの有効範囲

リモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。おおよそ次の範囲内でリモコンの信号が受信できます。
リモコンをスクリーンに反射させて本体前面のリモコン受光部で受信することもできます。



【水平方向の受光範囲】
有効範囲のイメージを表した図のため実際とは多少異なります。

お願い

リモコン使用上のお願い

- 本体のリモコン受光部やリモコン送信部に明るい光が当たっていたり、途中に障害物があって信号がさえぎられていると動作しません。
- 本体から約7m以内で本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

リモコンの取扱について

- リモコンを落としたり、誤った取り扱いはしないでください。
- リモコンに水や液体をかけないでください。万一、ぬれた場合は、すぐにふき取ってください。
- できるだけ熱や湿気のないところで使用してください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、乾電池を取り出してください。

プレゼンテーションリモコンキットを使う[別売品]

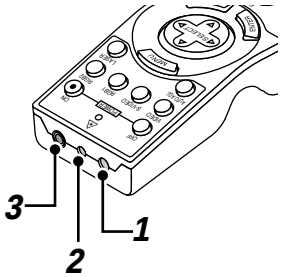
別売品のプレゼンテーションリモコンキット［PR51KIT］の機能説明です。

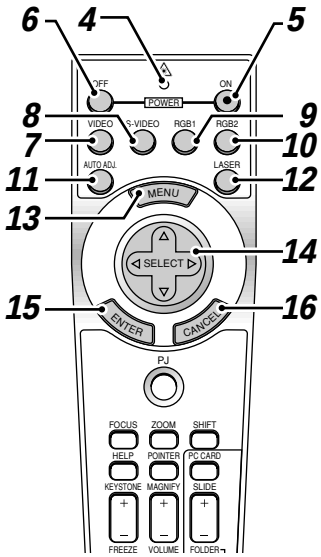
- **主要操作がダイレクトにできる機能ボタン、パソコンのマウス操作ができるマウスコントロール機能、ピンポイントでスクリーンの説明箇所を指すことができるレーザーポインタ機能のついたプレゼンテーションに便利なリモコンキットです。**

PR51KITの内容物

- **リモコン（送信機）RD-382 ……1個**
- **乾電池（単三）……2本**
- **マウスレシーバ（受信機）……1個**
- **PS／2アダプタ ……1個**
- **取扱説明書（保証書含む）……1枚**

プレゼンテーションリモコン各部のはたらき





Apple社製Macintoshを使用している場合は、〈CANCEL〉（右クリック）と〈ENTER〉（左クリック）は同じ働きをします。

お知らせ

本リモコンは、同じボタンが1分以上押されたままになると、ボタン操作ができなくなります。これは省電力機能が働いているためで、故障ではありません。この状態を解除するには、SELECT〈▼▲◀▶〉（マウス）ボタン以外のボタンを押してください。

1 リモコン送信部
リモコン信号を赤外線で送信するところです。

2 レーザー発光部
レーザーポインタの光を出すところです。

3 リモコンケーブル接続端子
本機では使用できません。

4 リモコン送信中ランプ
赤外線送信中、またはレーザー発光中は赤いランプが点灯します。

5 POWER〈ON〉ボタン
スタンバイ時（POWERインジケータがオレンジ色に点灯）に本機の電源を入れます。

6 POWER〈OFF〉ボタン
本機の電源を切ります（スタンバイ状態）。2秒以上押してください。

7 〈VIDEO〉ボタン
ビデオ入力を選択します。

8 〈S-VIDEO〉ボタン
Sビデオ入力を選択します。

9 〈RGB 1〉ボタン
RGB入力（または コンポーネント）を選択します。

10 〈RGB 2〉ボタン
本機では使用できません

11 〈AUTO ADJ.〉ボタン
映しているRGB信号の画像を最適な状態に自動調整します。（*38、40ページ参照*）

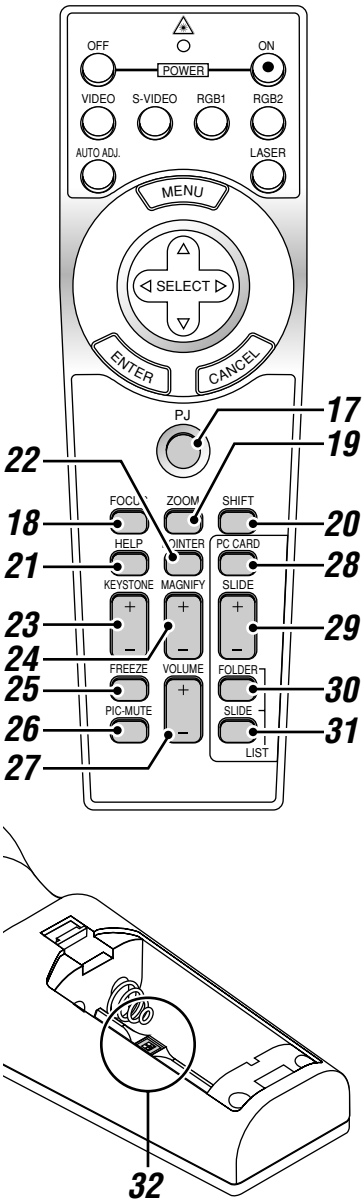
12 〈LASER〉ボタン
レーザーポインタが発光します。

13 〈MENU〉ボタン
各種設定・調整のメニューを表示します。

14 SELECT〈▼▲◀▶〉（マウス）ボタン
パソコンモードのとき……パソコンのマウスとして動作します。（*23ページ参照*）
プロジェクタモード（〈PJ〉ボタン *17* が赤く点灯）**のとき**……
メニュー操作や〈MAGNIFY〉ボタンを使った画面拡大時の表示位置調整に使います。

15 〈ENTER〉（左クリック）ボタン
パソコンモードのとき……マウスの左ボタンの動作をします。
1.5秒以上押すとドラッグモードになります。（23ページ参照）
プロジェクタモードのとき……メニューを表示しているときは、項目を決定します。

16 〈CANCEL〉（右クリック）ボタン
パソコンモードのとき……マウスの右ボタンの動作をします。
プロジェクタモードのとき……メニューを表示しているときは、メニューを閉じます。
各種調整・設定画面を表示しているときは、メニュー表示に戻ります。



17〈PJ〉ボタン
SELECT〈▼▲◀▶〉ボタン、〈CANCEL〉ボタン、〈ENTER〉ボタンの動作をプロジェクタモードに切り換えます。プロジェクタモードのときは赤く点灯します。
もう一度押すとパソコンモードに戻ります。（23ページ参照）

18〈FOCUS〉ボタン
本機では使用できません。

19〈ZOOM〉ボタン
本機では使用できません。

20〈SHIFT〉ボタン
本機では使用できません。

21〈HELP〉ボタン
情報画面を表示します。（41ページ参照）

22〈POINTER〉ボタン
本機では使用できません。

23〈KEYSTONE ＋/－〉ボタン
画面の台形歪みを調整します。（50ページ参照）

24〈MAGNIFY ＋/－〉ボタン
画面の拡大・縮小（元に戻す）をします。（42ページ参照）

25〈FREEZE〉ボタン
表示されている画像が静止画となります。もう一度押すと戻ります。

26〈PIC-MUTE〉ボタン
映像と音声を一時的に消します。もう一度押すと戻ります。

27〈VOLUME ＋/－〉ボタン
内蔵スピーカの音量を調整します。

28〈PC CARD〉ボタン
本機では使用できません。

29〈SLIDE ＋/－〉ボタン
本機では使用できません。

30〈FOLDER LIST〉ボタン
本機では使用できません。

31〈SLIDE LIST〉ボタン
本機では使用できません。

32リモコンモードスイッチ
レーザー光の有効／禁止を設定します。
リモコンの電池ケースフタを開けるとあります。（21ページ参照）

お知らせ

- SELECT〈▼▲◀▶〉ボタン、〈CANCEL〉ボタン、〈ENTER〉ボタンは通常パソコンモードになっていますが、POWER〈ON/OFF〉ボタン、〈MENU〉ボタン、〈HELP〉ボタン、〈MAGNIFY〉ボタンを押すと、自動的にプロジェクタモードになります。その後、約10秒間ボタン操作をしないとパソコンモードに戻ります。（*23ページ参照*）

お願い

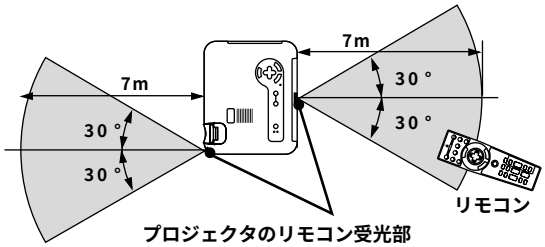
リモコン使用上のお願い
- 本体のリモコン受光部やリモコン送信部に明るい光が当たっていたり、途中に障害物があって信号がさえぎられていると動作しません。
- 本体から約7m以内で本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

リモコンの取扱について
- リモコンを落としたり、誤った取り扱いはしないでください。
- リモコンに水や液体をかけないでください。万一、濡れた場合は、すぐにふき取ってください。
- できるだけ熱や湿気のないところで使用してください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、乾電池を取り出してください。

■プレゼンテーションリモコンの有効範囲

プロジェクタを操作するとき

リモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。おおよそ次の範囲内でリモコンの信号が受信できます。
リモコンをスクリーンに反射させて本体前面のリモコン受光部で受信することもできます。



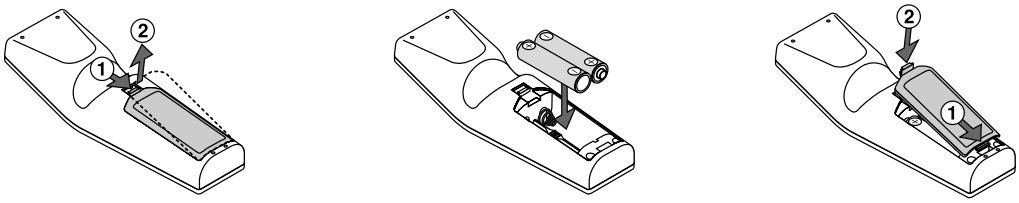
プロジェクタのリモコン受光部
【上から見た図】

■電池の入れかた

1 **図のようにリモコン裏面の電池ケースのふたを外します。**

2 **ケース内部の表示通りに＋,－の向きを合わせて入れます。**

3 **もと通りふたを戻します。**



電池を交換するときは2本とも同じ種類の単三乾電池をお買い求めください。

お知らせ

- SELECT〈▼▲◀▶〉(マウス)ボタンを押しながら電池を入れると、リモコンの動作がおかしくなったり動作しなくなったりする場合があります。その際は、いったん電池を外し、入れ直してください。

■レーザーポインタの使い方

⚠ 警告

レーザーポインタのレーザー光源をのぞかない

次の事項をお守りください。レーザー光が目にあたると視力低下・視覚障害の原因となります。
●レーザーポインタのレーザー光源をのぞき込まない
●レーザー光を人に向けない
●子供には使用させない

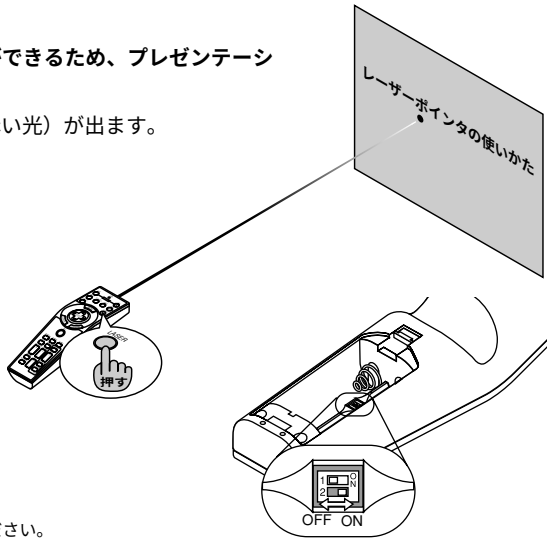
クラス2レーザー製品　最大出力：1mW
波長：650nm
JIS C 6802(1998)
製造者：F & T

PS C　JQA

※リモコン側面および底面に上記内容が記載されています。

リモコンからピンポイントで説明したいところを指すことができるため、プレゼンテーションが効果的に行えます。

〈LASER〉ボタンを押すとリモコン先端からレーザー光（赤い光）が出ます。
〈LASER〉ボタンから指をはなすとレーザー光が消えます。



■レーザーの発光を禁止する場合

電池ケースの底に、レーザー光の有効／禁止スイッチがあります。レーザーを禁止するかをお決めの上、必要に応じて「2のスイッチ」を細いボールペンの先などを使って設定してください。
工場出荷時は有効に設定されています。
なお、スイッチ1は適応プロジェクタの設定ですので切り換えないでください。

ON側 ……有効
（LASERボタンを押すとレーザーが発光します。）
【工場出荷時設定】

OFF側 …禁止
（LASERボタンを押してもレーザーは発光しません。）

- 子供が使用できる環境に置かれる場合、レーザーを禁止に設定してください。

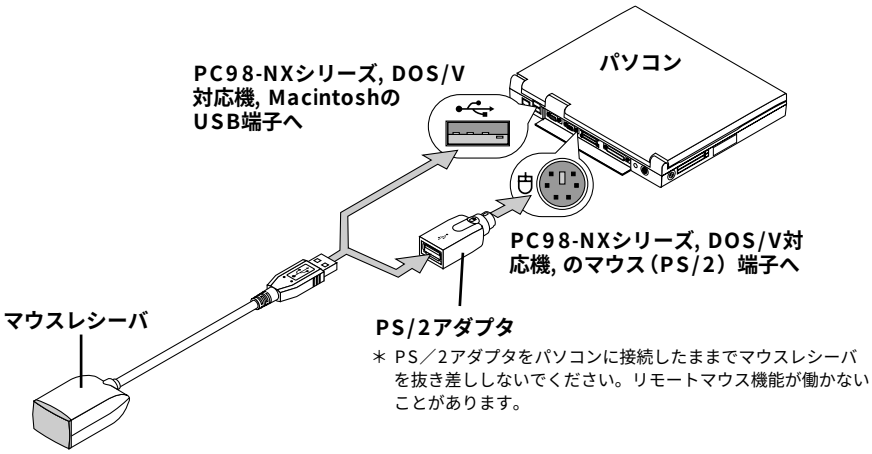
マウスレシーバの使いかた

■パソコンとの接続

マウスレシーバをパソコンに接続するとプレゼンテーションリモコンの一部のボタンがパソコンのマウス機能のボタンになります。プロジェクタのボタンに戻すには〈PJ〉ボタンを使います。（*23ページ参照*）

お願い
- **接続の際は、パソコンの電源が切れていることをご確認ください。**
- **ケーブルは確実に差し込んでください。**
- **接続の種類、パソコンのOSなどによっては、接続後に設定の変更や再起動が必要な場合もあります。**
- **パソコンとプロジェクタの両方をプレゼンテーションリモコンで操作するときは、マウスレシーバをプロジェクタの近くに置いてください。**

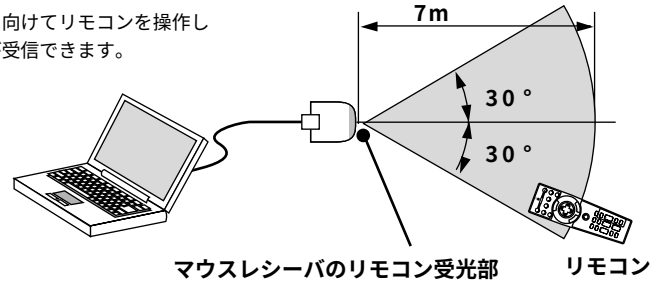
リモートマウス機能を使う場合は、マウスレシーバとパソコンを接続します。
USB端子に接続の場合は直接パソコンに接続します。
マウス（PS/2）端子に接続の場合はPS/2アダプタを介してパソコンに接続してください。
（接続端子、パソコンのOS等によっては、接続後に設定の変更や再起動が必要な場合もあります。）



＊ PS／2アダプタをパソコンに接続したままでマウスレシーバを抜き差ししないでください。リモートマウス機能が働かないことがあります。

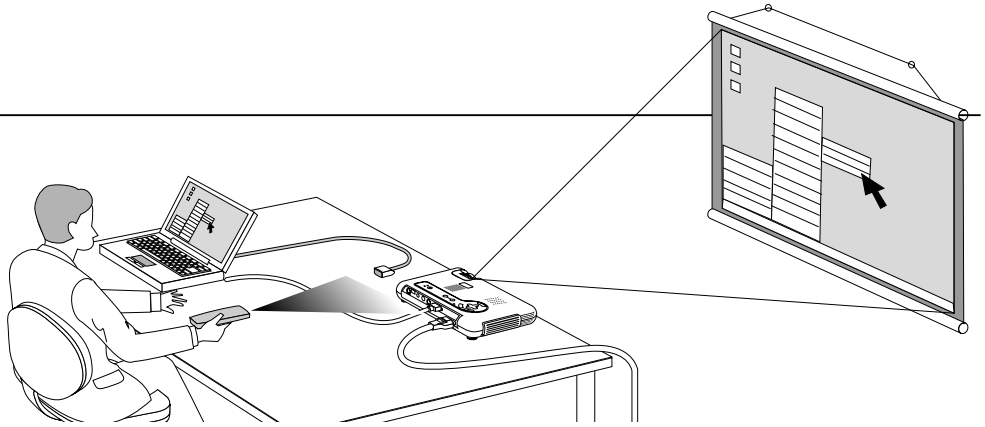
パソコンを操作するとき

リモコン送信部をマウスレシーバのリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。おおよそ次の範囲内でリモコンの信号が受信できます。



お知らせ

USB端子に接続の場合
- PC98NXシリーズ、DOS/V対応機の場合はWindows98/Me/2000以外のOSではご使用になれません。
- マウスレシーバの抜き差しは、5秒以上間隔をおいて行ってください。瞬間的な抜き差しを繰り返すと、パソコンがマウスレシーバを正しく認識できないことがあります。

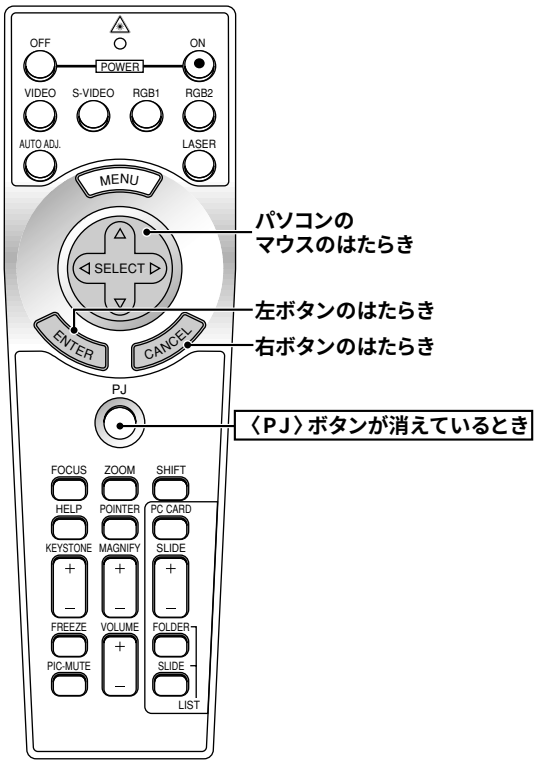


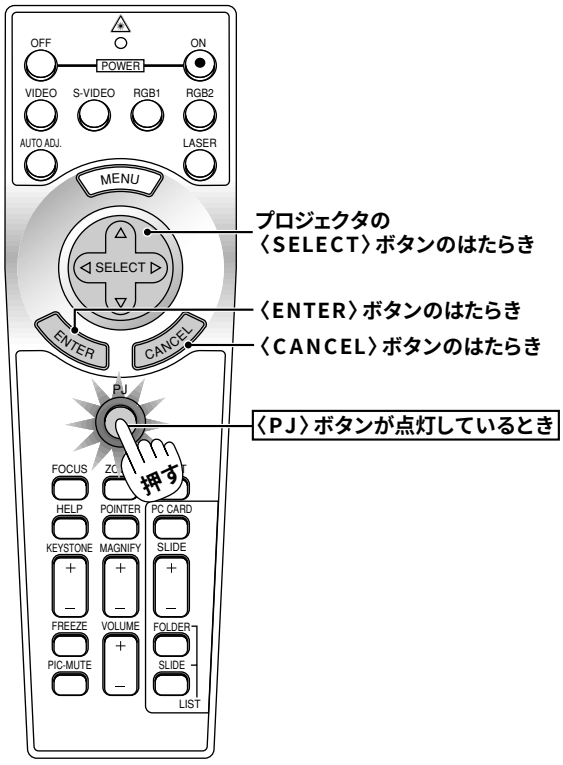
■プロジェクタモードとパソコンモードの切り換えかた

〈PJ〉ボタンを押すとボタンが赤く点灯して、マウス機能ボタンがプロジェクタのメニュー選択などで使うSELECT, CANCEL, ENTERボタンのはたらきに変わります。……プロジェクタモード
〈PJ〉ボタンが消えているときや再び押して消したときはマウス機能ボタンのはたらきになります。……パソコンモード

マウス機能ボタン以外のボタンはプロジェクタ／パソコンモードには関係なくプロジェクタの操作ボタンになります。

- 〈PJ〉ボタンを押して10秒間ボタン操作をしないとランプが消えマウス機能ボタンになります。
- POWER〈ON/OFF〉ボタン、〈MENU〉ボタン、〈HELP〉ボタン、〈MAGNIFY〉ボタンを押したときは自動的に〈PJ〉ボタンが点灯しマウス機能ボタンがプロジェクタモードになります。



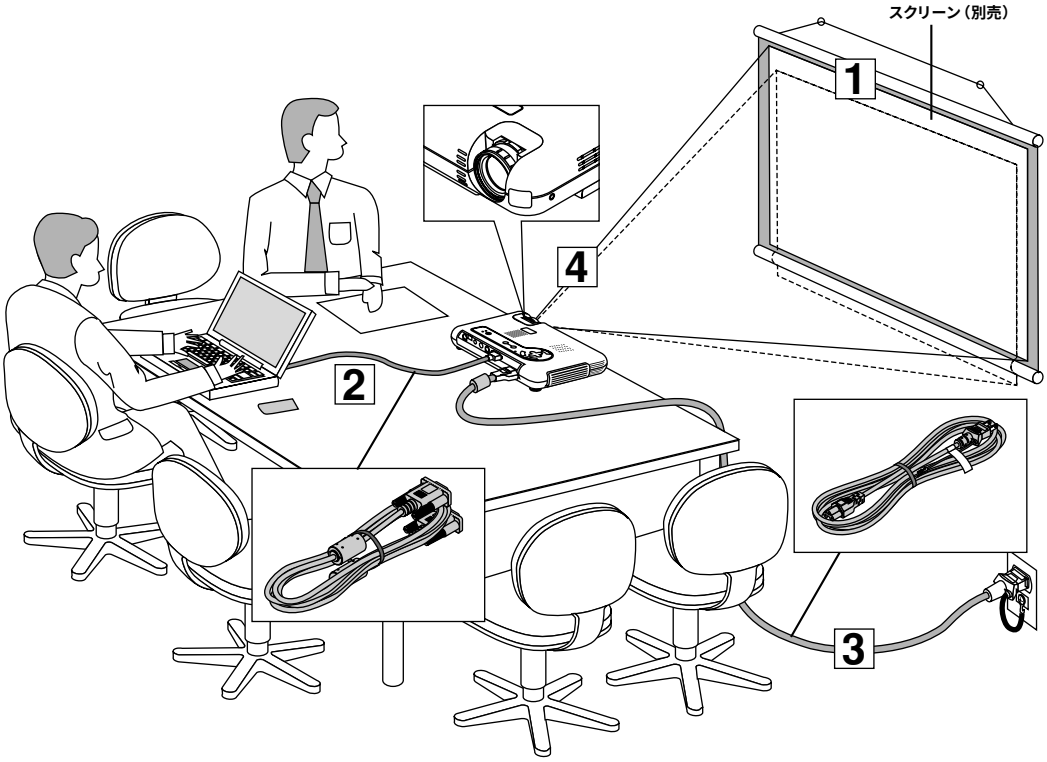


■ドラッグモードについて

パソコンモードのとき〈ENTER〉（左クリック）ボタンを1.5秒以上押し続けてから離すとドラッグモードになります。
そのまま SELECT〈▼▲◀▶〉（マウス）ボタンを押すとドラッグ操作ができます。
ドラッグモードを解除するには、〈ENTER〉（左クリック）ボタンか〈CANCEL〉（右クリック）ボタンを押します。

セッティングの手順

プロジェクタはスクリーンに映像を映します。このため、スクリーンの位置決めをし、映像を出力する機器をプロジェクタに接続する必要があります。



1 スクリーンとプロジェクタを置く（「投写距離と画面サイズ」*25ページ参照*）

スクリーンの大きさはプロジェクタとスクリーンの距離に関係します。プロジェクタのレンズ面はスクリーンに向けて置いてください。（詳しい投写距離と画面サイズ一覧は74ページをご覧ください。）

2 パソコンやビデオデッキなどをプロジェクタに接続する

迫力ある音声を聞くときは、パソコンやビデオデッキの音声出力をお手持ちのオーディオアンプと接続してください。

DOS/V、IBM PC/AT互換機のパソコンとの接続（*27ページ参照*）

PC98-NXシリーズのパソコンとの接続（*28ページ参照*）

PC-9800シリーズのパソコンとの接続（ディスプレイ端子がミニD-Sub 15ピンと異なる機種）（*29ページ参照*）

Macintoshのパソコンとの接続（*30ページ参照*）

DVDプレーヤなどのYCbCr出力端子との接続（*31ページ参照*）

ビデオ機器や書画カメラとの接続（*32ページ参照*）

3 電源コードを接続しプロジェクタの電源を入れる（「電源について」*33ページ参照*）

メニュー表示などの言語を選択する（ご購入後はじめて電源を入れたときのみ *35ページ参照*）

4 投写画面を調整する（「画面調整」*36ページ参照*）

パソコンやビデオデッキなどの電源を入れ、スクリーンに映して投写画面の大きさや位置、フォーカス（ピント）を調整します。

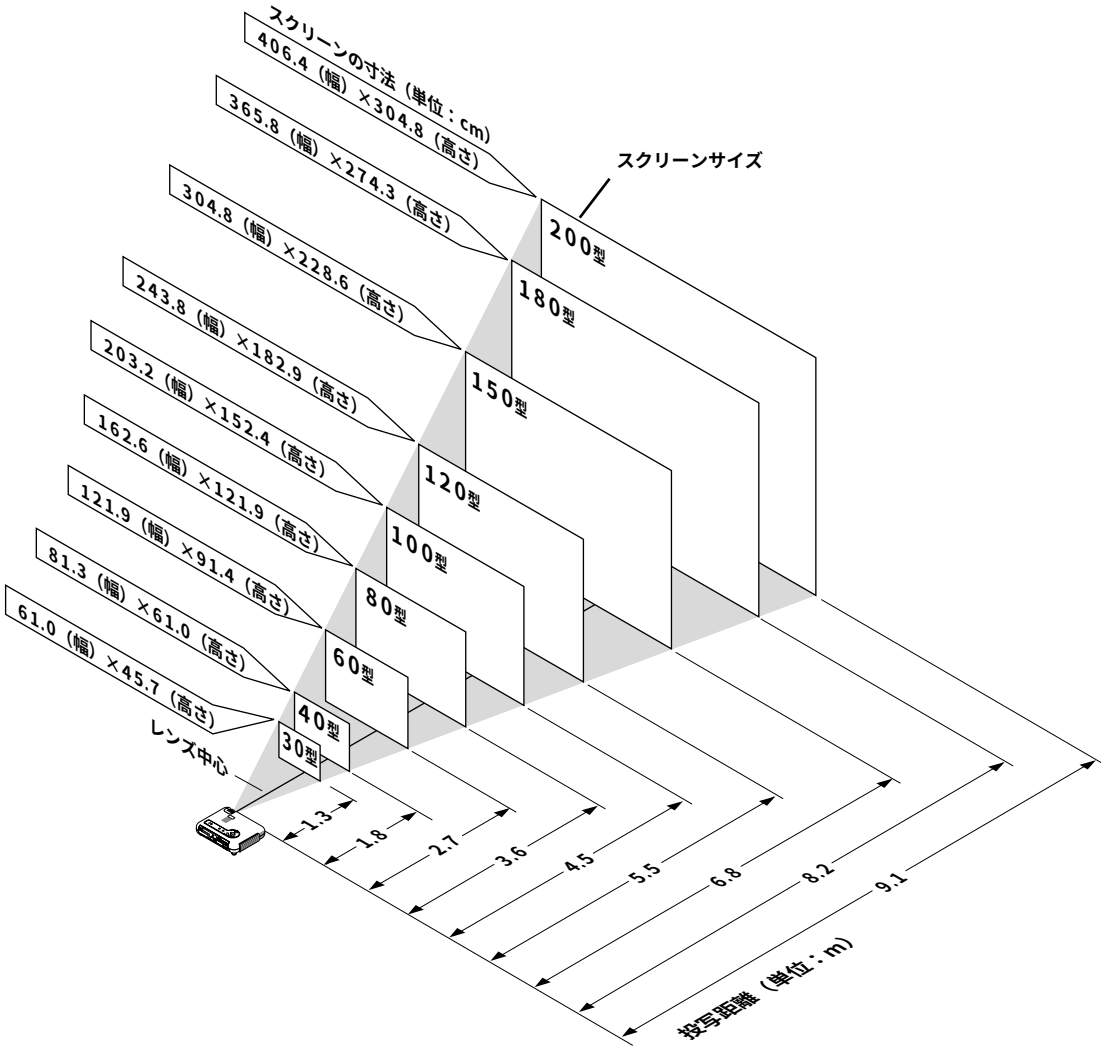
投写距離と画面サイズ

スクリーンとプロジェクタを置く

1 図を参照して画面の大きさとプロジェクタの置く位置を決めます。

使用するスクリーンとプロジェクタとの位置関係の目安は下図を参照してください。

【例】60型のスクリーンに投写したい場合は図より2.7m離して置きます。

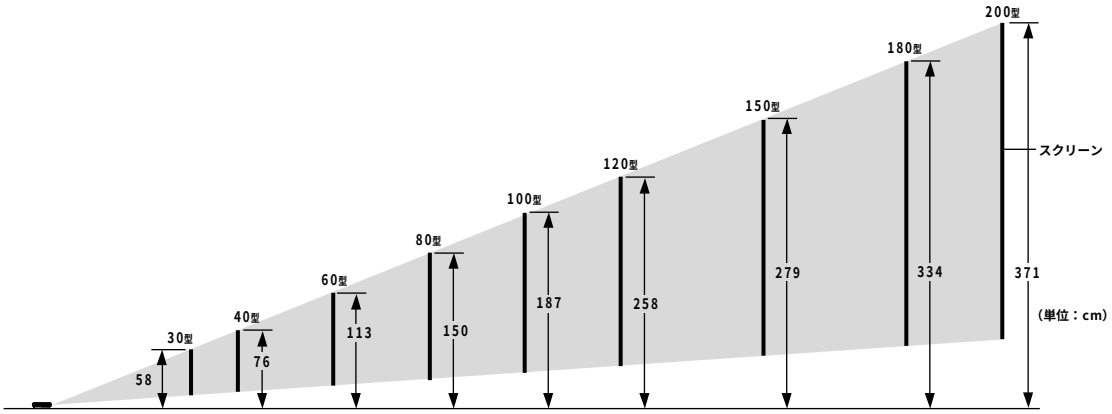


この図はズームレンズがテレとワイド（ズーム比1：1.2）の中間位置のときの投写距離です。ズームレンズをテレ（画面が小さくなる）またはワイド（画面が大きくなる）に操作する事により画面の大きさが約±10%調整できます。

2 スクリーンを置く高さを決めスクリーンを設置します。

【例1】 60型のスクリーンに投写したい場合のスクリーンを設置する位置は、図より、プロジェクタ底面からスクリーン上端までの高さが約113cmの位置が最適となります。

【例2】 天井の高さが260cmの場合は120型のスクリーンに映せることになります。



【プロジェクタ底面からスクリーン上端までの高さ】

- この図はズームレンズがテレとワイド（ズーム比1：1.2）の中間位置のときのスクリーン上端までの高さです。
- 図はチルトフットを縮めてプロジェクタを水平にしたときの寸法です。なお、プロジェクタのチルトフットの調整により上に5°の調整ができます。（「プロジェクタ角度調整のしかた」*37ページ参照*）
- 投写角度を大きくすると投写画面が台形になります。このときは［台形補正］で調整してください。（「上下方向台形歪みの調整」*50ページ参照*）

お知らせ

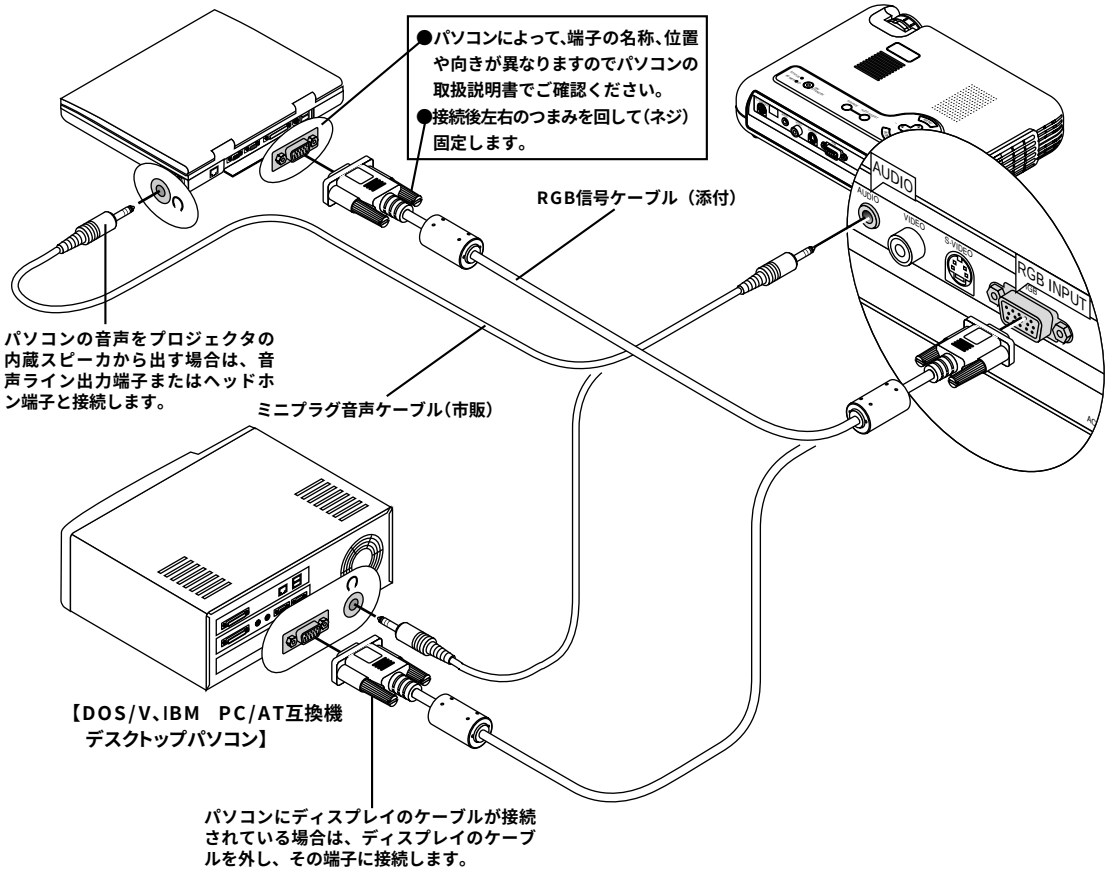
- 常時設置する場合は、74ページの「付録・投写距離と画面サイズ一覧」を参照してください。

2 パソコンやビデオデッキなどプロジェクタで映す機器を接続する

■DOS/V、IBM PC/AT互換機のパソコンとの接続

パソコン側のディスプレイ出力端子（ミニD-Sub15ピン）とプロジェクタ側のRGB INPUT端子とを添付のRGB信号ケーブルで接続します。

【DOS/V、IBM PC/AT互換機ノートパソコン】



お願い

接続するときはパソコンやプロジェクタの電源を切ってから接続してください。

お知らせ

音声をヘッドホン端子と接続する場合

接続する前にパソコンの音量を低めに調整し、使用時にプロジェクタの音量調整とパソコンの音量の整合を取ってください。パソコンにミニジャックタイプの音声ライン出力端子がある場合は、その端子と接続することをおすすめします。

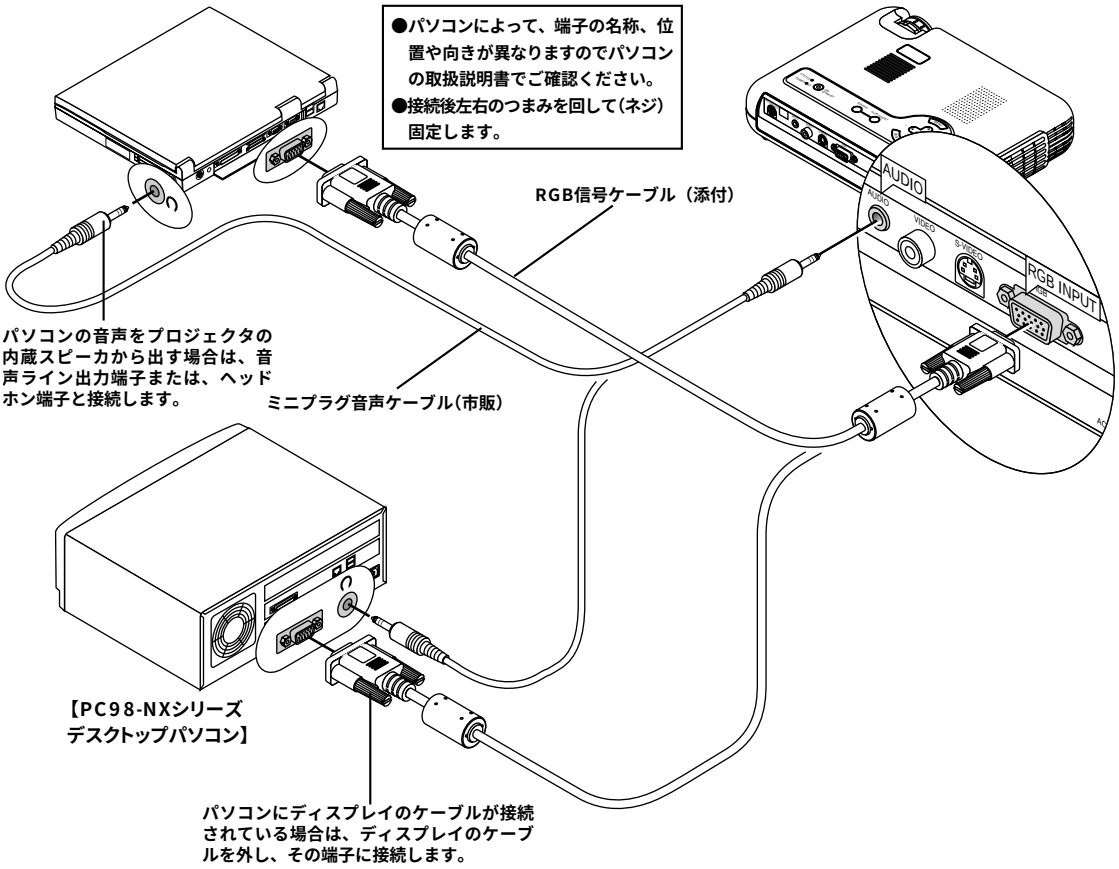
プロジェクタをパソコンから離れた場所で使用する場合

別売のマルチシンク10mケーブル（型名 VL-CA10MD）をご使用ください。また、信号減衰を補うために別売のRGB信号分配器（型名 VL-DA102）の使用をおすすめします。

■PC98-NXシリーズのパソコンとの接続

パソコン側のアナログRGB出力端子（ミニD-Sub15ピン）とプロジェクタ側のRGB INPUT端子とを添付のRGB信号ケーブルで接続します。

【PC98-NXシリーズノートパソコン】



お願い

接続するときはパソコンやプロジェクタの電源を切ってから接続してください。

お知らせ

音声をヘッドホン端子と接続する場合

接続する前にパソコンの音量を低めに調整し、使用時にプロジェクタの音量調整とパソコンの音量の整合を取ってください。パソコンにミニジャックタイプの音声ライン出力端子がある場合は、その端子と接続することをおすすめします。

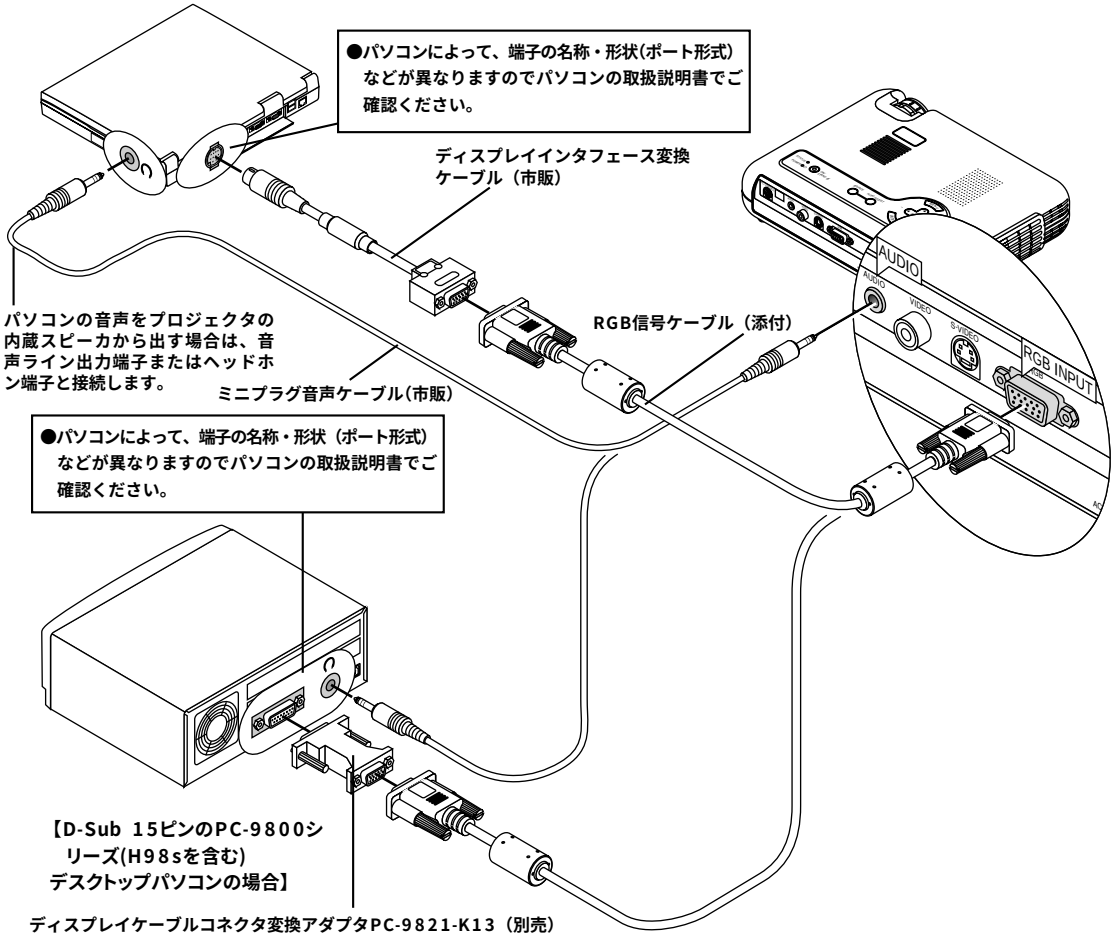
プロジェクタをパソコンから離れた場所で使用する場合

別売のマルチシンク10mケーブル（型名 VL-CA10MD）をご使用ください。また、信号減衰を補うために別売のRGB信号分配器（型名 VL-DA102）の使用をおすすめします。

■PC-9800シリーズのパソコンとの接続（ディスプレイ端子がミニD-Sub 15ピンと異なる機種）

パソコン側のアナログRGB出力端子がミニD-Sub15ピンでない場合はPC-9800シリーズの別売品が必要となります。

【ミニDIN 10ピンCRTインタフェースを持つ98NOTEシリーズの場合】



お知らせ

PC-9800シリーズノートパソコンの場合

- PC-9821Nrシリーズ以降のノート型パソコンの場合、機種によってはミニD-Sub15ピンのアナログRGB出力端子を持つポートバー、またはファイルベースなどを接続する必要があります。

PC-9800シリーズデスクトップパソコンの場合

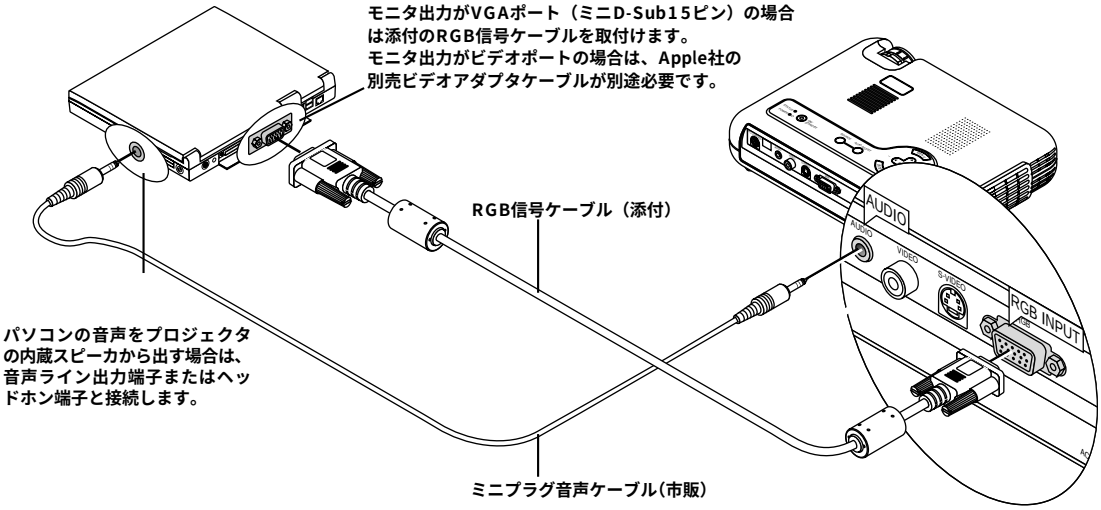
- D-Sub15ピンのPC-9800シリーズと接続する場合は、旧9800シリーズ用ディスプレイケーブルコネクタ変換アダプタPC-9821-K13（別売）を使用してください。(H98sを含む)

■Macintoshのパソコンとの接続

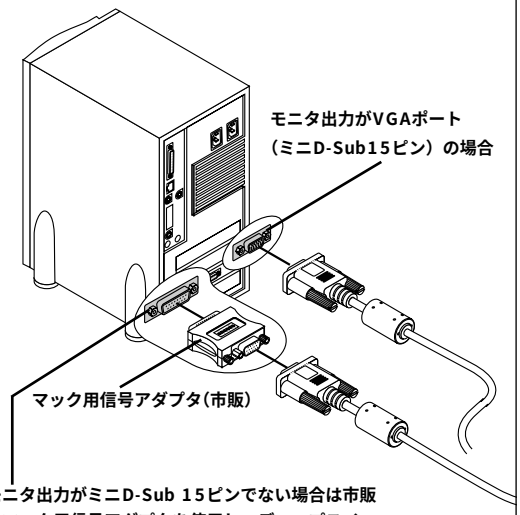
- Macintoshを接続する場合、プロジェクタに適したモードはSVGAモードの800×600ドットの設定です。
  Macintosh側がこのモードに対応している場合、Macintosh側の表示解像度をこの設定にすることを推奨します。
  Macintoshの表示解像度の設定はパソコンの取扱説明書をお読みになるか、メーカーへお問い合わせください。

【Macintosh PowerBookなど】

●機種によって、端子の形状（ポート形式）や位置などが異なりますのでパソコンの取扱説明書でご確認ください。
●RGB信号ケーブルは接続後左右のつまみを回して（ネジ）固定します。



【Macintosh デスクトップ型】
接続方法は上記と同じです。パソコンにディスプレイのケーブルが接続されている場合は、ディスプレイのケーブルを外し、その端子に接続します。



お願い

接続するときはパソコンやプロジェクタの電源を切ってから接続してください。

お知らせ

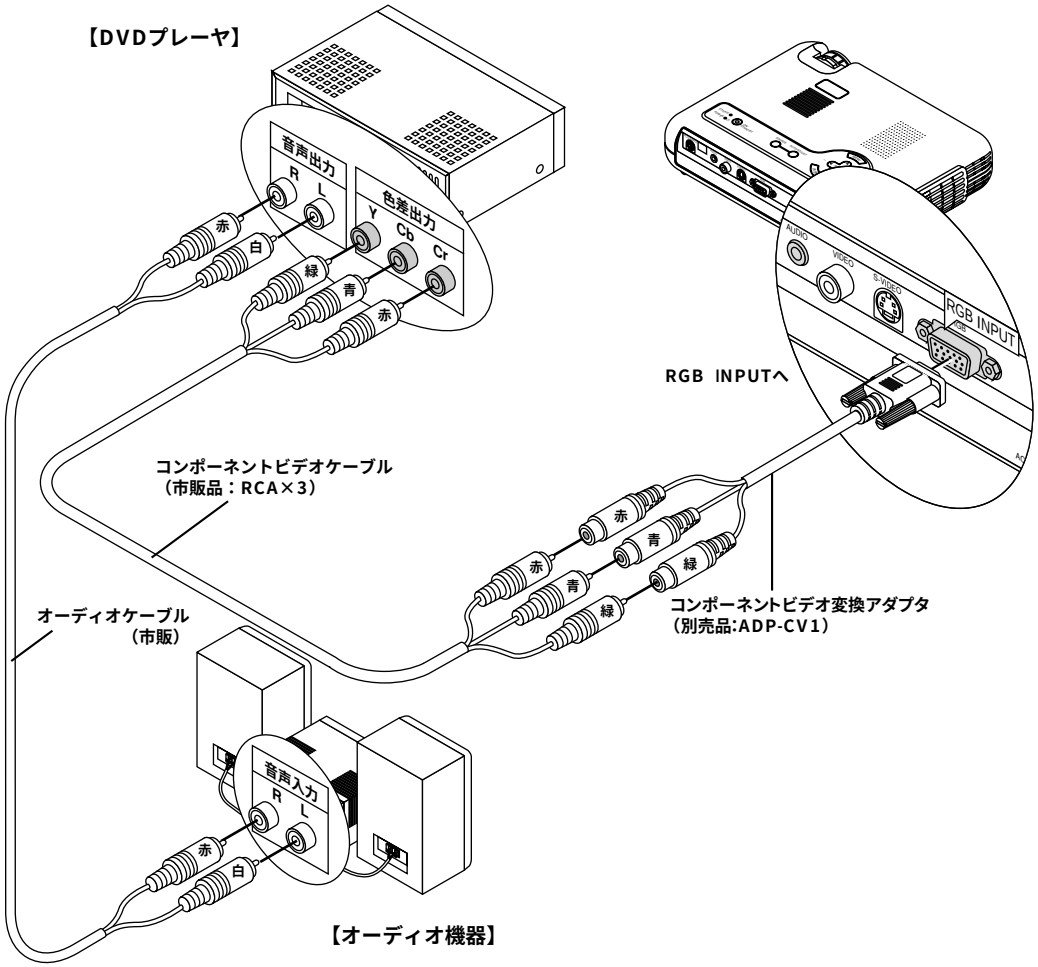
音声をヘッドホン端子と接続する場合
接続する前にパソコンの音量を低めに調整し、使用時にプロジェクタの音量調整とパソコンの音量の整合を取ってください。パソコンにミニジャックタイプの音声ライン出力端子がある場合は、その端子と接続することをおすすめします。

プロジェクタをパソコンから離れた場所で使用する場合
別売のマルチシンク10mケーブル（型名 VL-CA10MD）をご使用ください。また、信号減衰を補うために別売のRGB信号分配器（型名 VL-DA102）の使用をおすすめします。

PowerBookとプロジェクタを同時に表示させる場合
PowerBookディスプレイの「ビデオミラーリング」を“切”にしないと外部出力を800×600ドットに設定できないことがあります。

■DVDプレーヤなどのYCbCr出力端子との接続

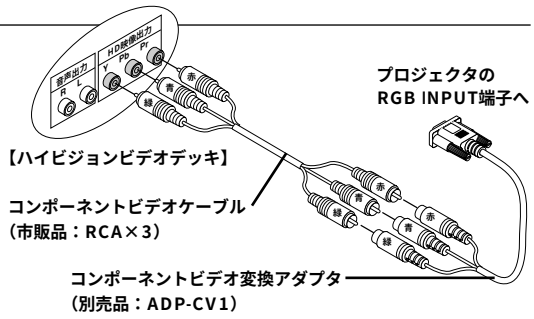
DVDプレーヤの色差出力端子（DVD映像出力）を使って本機で映すことができます。
通常は自動でRGBとコンポーネントを判別して切り換えますが、判別できない場合は、本機のメニューから［セットアップ］→［ページ2］→［信号選択］の設定画面でRGB信号を［コンポーネント］に設定してください。
DVDプレーヤの音声はオーディオ機器と接続してください。



お知らせ

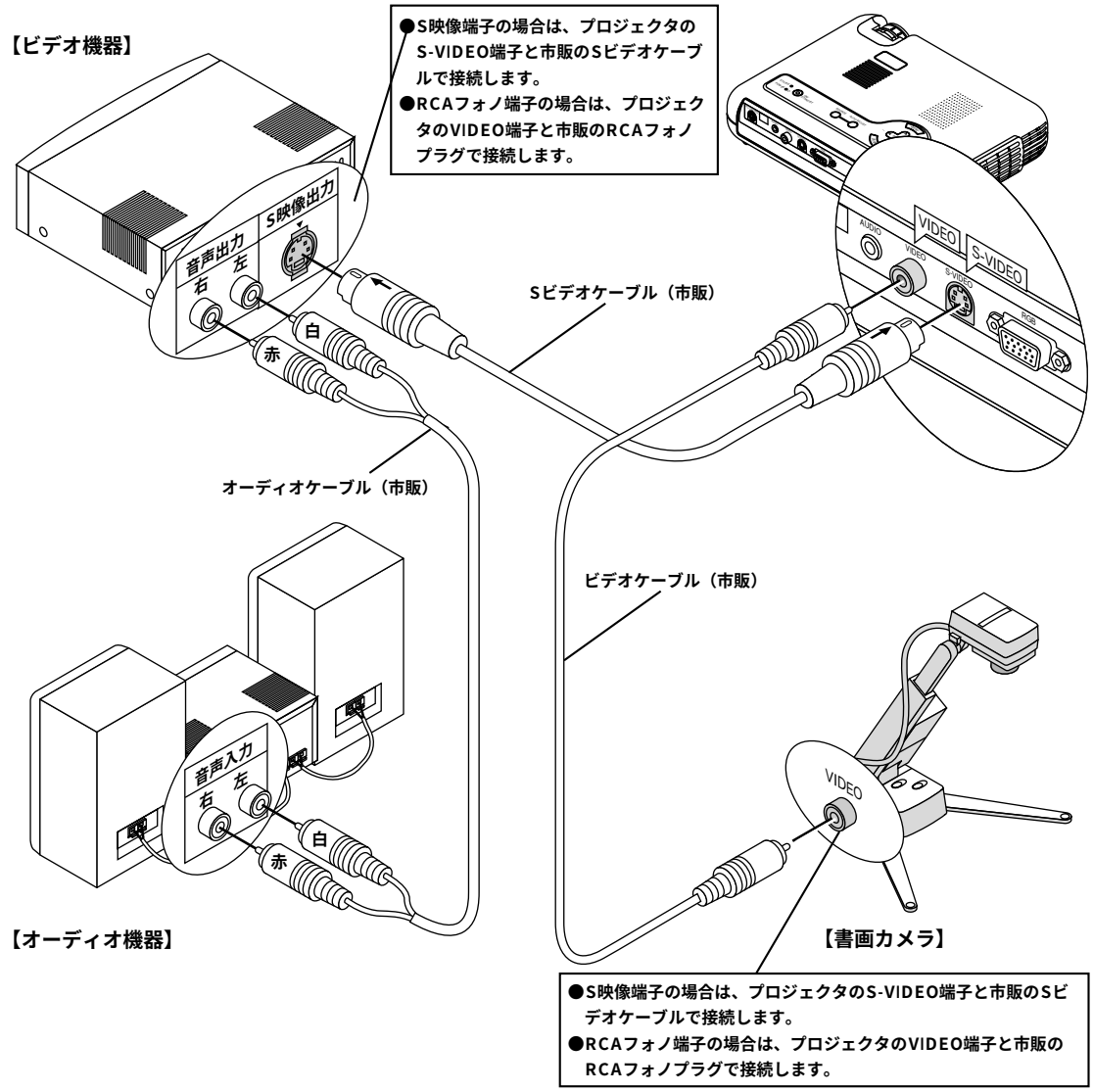
ハイビジョンビデオを映す場合

ハイビジョンビデオなどのY Pb Pr出力端子（HD映像出力）とプロジェクタのRGB INPUT端子とを別売のコンポーネントビデオ変換アダプタ（品番 ADP-CV1）で接続します。



■ビデオ機器や書画カメラとの接続

DVDプレーヤ、ビデオデッキ、テレビチューナなどのビデオ機器の映像を映します。市販のケーブルをご使用ください。
また、市販の書画カメラをVIDEO端子またはS-VIDEO端子に接続すると、会議場でのプレゼンテーションなど手もとの資料を画面表示することができます。



ビデオ機器の音声をプロジェクタの内蔵スピーカから出す場合

市販のフォノピン（2プラグ）←→ミニプラグ変換ケーブルをお求めください。

お知らせ

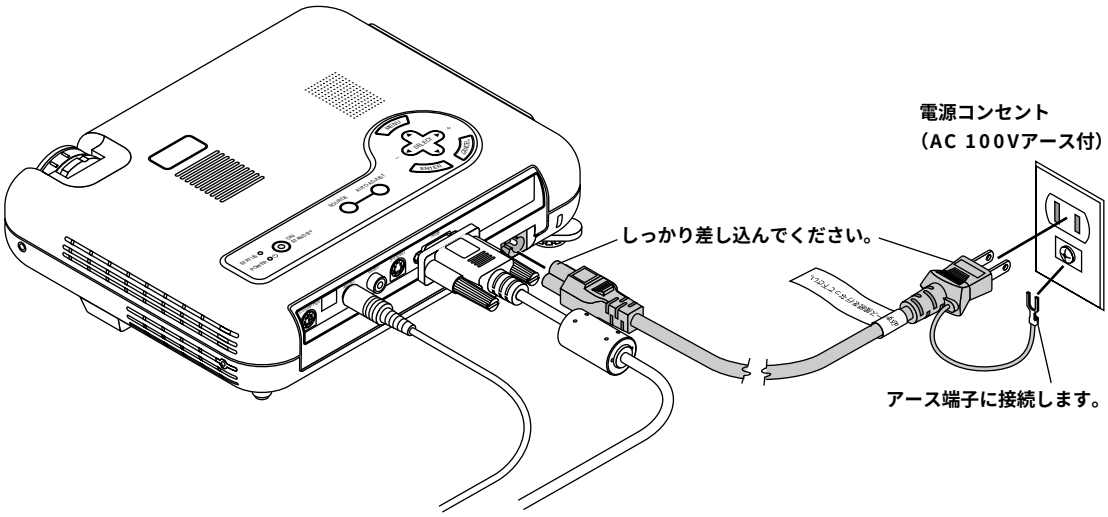
- **スキャンコンバータ接続時にビデオデッキで早送り•巻戻し再生した場合、画像が出なかったり、乱れることがあります。**
- **本機にはISS-6010J/ISS-6020Jビデオユニットは対応していません。**

3 電源コードを接続し電源を入れる

1 電源コード（添付）を接続する

プロジェクタのAC INとAC 100V アース付のコンセント（アース工事済み）と添付の電源コードで接続します。
電源コードを接続するとプロジェクタのPOWERインジケータがオレンジ色に点灯します（スタンバイ状態）。

機器の安全確保のため、機器のアースは確実にとってご使用ください。
感電の原因となりますので、アース工事は専門業者にご依頼ください。
アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。
また、アースをはずす場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。



お願い

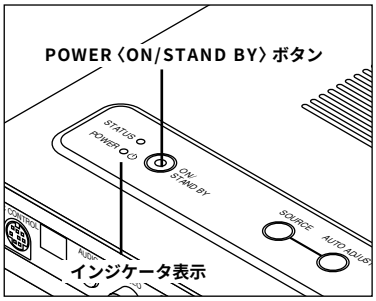
以下のような場合は電源プラグをコンセントから絶対に抜かないでください。
機器が故障する恐れがあります。

- **電源プラグをコンセントに差し込んだ直後（POWERインジケータがオレンジ色に点灯しないとき）**
- **アフタークーリング（POWERボタンOFF後の90秒間ファン回転）終了直後**

電源を入れる前にレンズキャップを外してください。

2 プロジェクタ電源の入／切

プロジェクタのPOWER〈ON/STAND BY〉ボタンとリモコンの〈POWER〉ボタンは同じはたらきをします。

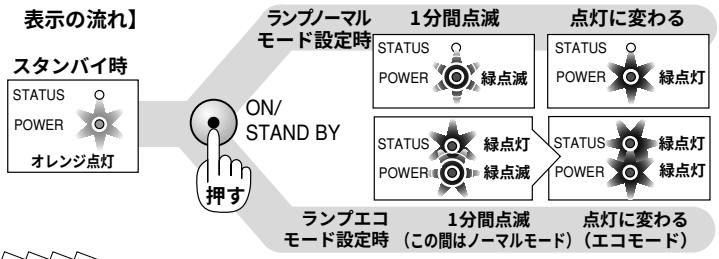


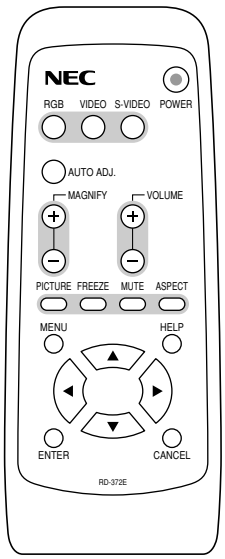
電源を入れるとき

プロジェクタのPOWER〈ON/STAND BY〉ボタンを押すと電源が入ります。しばらくすると（約30秒）スクリーンが明るくなります。信号が入力されていないとき工場出荷時は青い画面が表示されます（ブルーバック）。

- ご購入後はじめて電源を入れた場合はスタート画面が表示されます。詳しくは次ページをご覧ください。

【電源ON時のインジケータ表示の流れ】





お知らせ

- 電源ON後、ランプが安定して点灯するまで（3〜5分）に映像がちらつく場合があります。これはランプの特性上発生するもので、故障ではありません。
- ランプモードは「ノーマルモード」「エコモード」の設定に関係なく、電源ON後はノーマルモードで起動します。エコモードに設定している場合は、POWERインジケータが1分間緑色に点滅した後、エコモードに切り換わります。

電源を切るとき

プロジェクタのPOWER〈ON/STAND BY〉ボタンを2秒以上押し続けると「しばらくお待ちください」というメッセージが表示され、しばらくすると電源が切れPOWERインジケータがオレンジ点灯に変わります。

【電源OFF時のインジケータ表示の流れ】

電源コードを抜くときは、POWERインジケータがオレンジ色に点灯していることをご確認ください。

インジケータ表示が上記以外の点滅をしている場合は70ページをご覧ください。

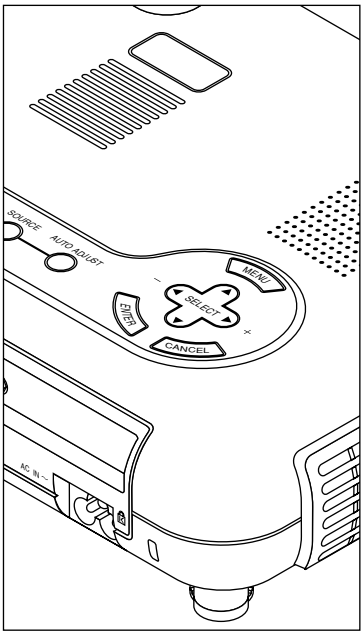
お知らせ

電源が入らないとき

- 内部温度が高くなっていませんか。内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待ってから電源を入れてください。
- ランプ寿命に到達後100時間を超えて使用した場合は電源が入りません。
- STATUSインジケータが点滅（6秒点灯／6秒消灯）している場合はランプエラーで、ランプが点灯しません。90秒以上待って再度電源を入れてください。

■ 電源を入れたときスタート画面が表示された場合

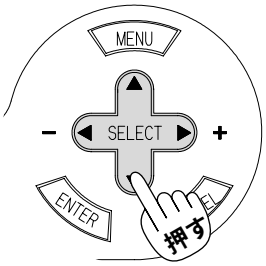
ご購入後、はじめて電源を入れたときはスタート画面が表示されます。以下の手順に従って、プロジェクタの表示言語を選択してください。



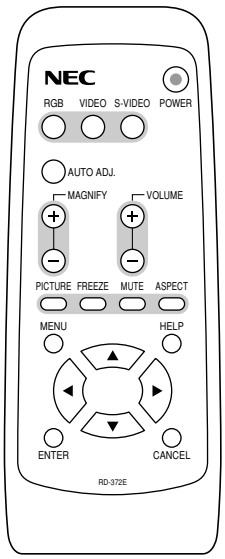
（1）本体またはリモコンの〈SELECT ▼〉ボタンを押して青色のカーソルを［日本語］に 合わせます。

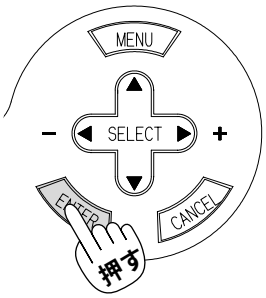
Menu Language Select	
Please select a menu language.	English
Wählen Sie bitte die Menü Sprache aus.	Deutsch
S'il vous plaît choisir la langue de menu.	Français
Per favore di scegliere la lingua di menu.	Italiano
Escoja por favor el idioma de menú.	Español
Välj menyn språken.	Svenska
メニュー言語を選択してください。	日本語
Select "UP", "DOWN" & "ENTER"	

カーソル



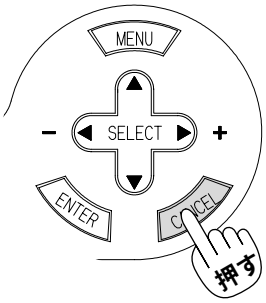
（2）〈ENTER〉ボタンを押して決定します。
選択した言語でメニューが表示されます。





ベーシックメニュー	
信号選択	▶
映像調整	
音量	
画像設定	▶
機器設定	▶
情報	

（3）メニューを消すには〈CANCEL〉ボタンを押します。

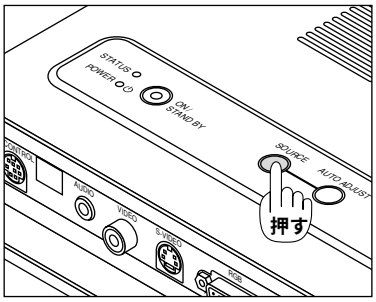


これで、表示言語の選択が終わりました。

投写画面の調整

4 投写画面を調整する

準備：レンズキャップを外し、プロジェクタの電源を入れます。（*34ページ参照*）
スクリーンに映し出されるまで約30秒かかります。（ランプ照度が安定するまで）

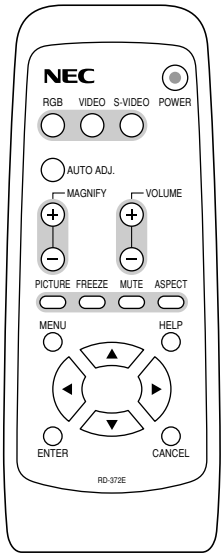


1 パソコンやビデオデッキなど映したい機器の電源を入れる

2 入力を選択する

〈SOURCE〉ボタンをゆっくり押していきます。
押すごとに　RGB→ビデオ→Sビデオ　と入力が切り換わります。

リモコンで操作する場合は、〈RGB〉〈VIDEO〉〈S-VIDEO〉のボタンから直接入力を選択します。

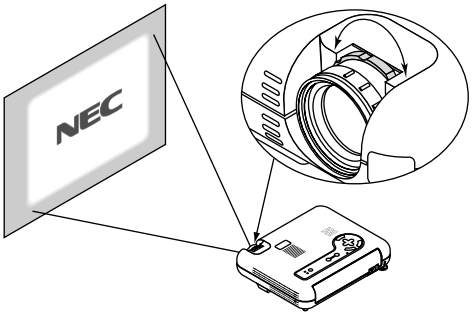


投写画面になにも映らない

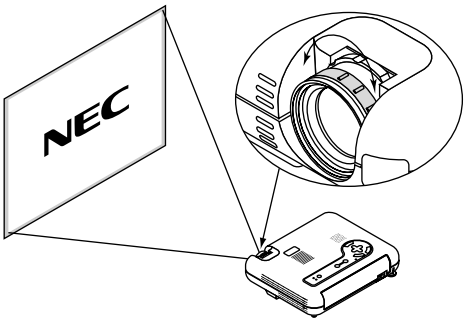
- 入力信号がないとき工場出荷時は青い画面が表示されます（ブルーバック）。ビデオデッキなどは再生操作をしてください。
- パソコンの投写画面が映らない場合は39ページを参照してください。

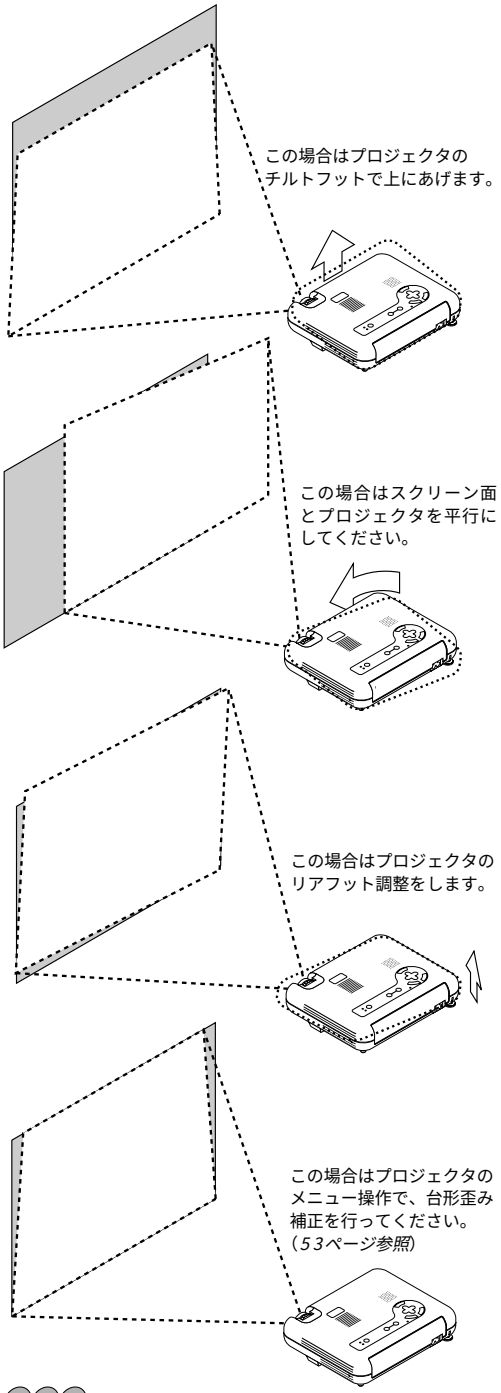
3 投写画面の位置と画面の大きさを調整する

1. ズームリングを回して画面の大きさを調整します。



2. フォーカスリングを回して画面のピントを合わせます。





お願い

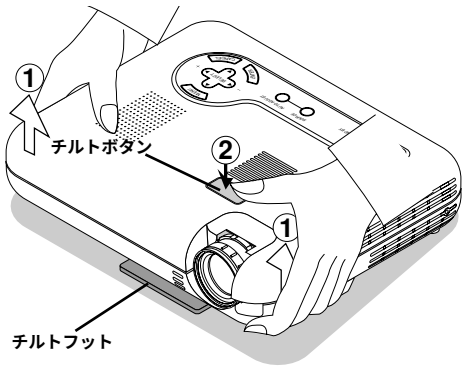
チルトフットは、プロジェクタの角度調整をする以外の用途には使用しないでください。
チルトフット部分を持って運んだり壁にかけて使用するなどの誤った取り扱いをすると、機器が破損する恐れがあります。

画面の歪みを調整する場合

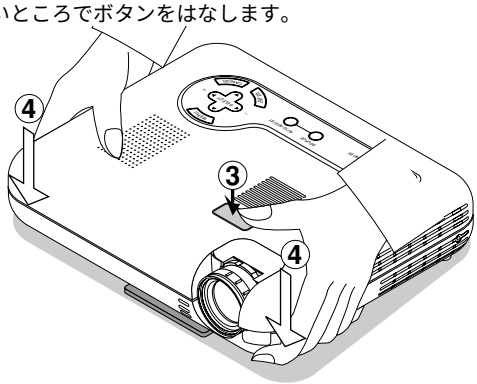
スクリーンがよじれていたりそっていると投写画面が歪みますので平らに設置されていることをご確認ください。

プロジェクタ角度調整のしかた

① プロジェクタ前面を持ち上げて、② チルトボタンを押すとチルトフットが出ます。（最大位置まで）

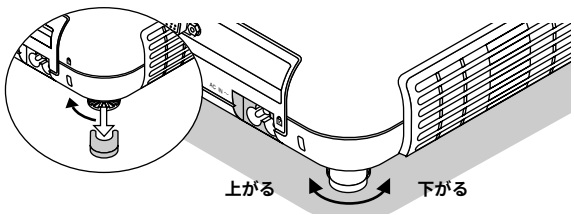


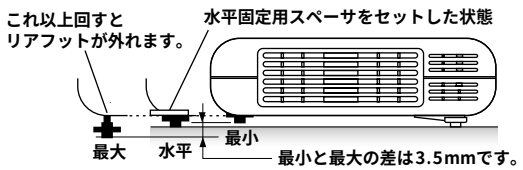
③ チルトボタンを押して、④ プロジェクタを下げて、固定したいところでボタンをはなします。



画面の傾き調整

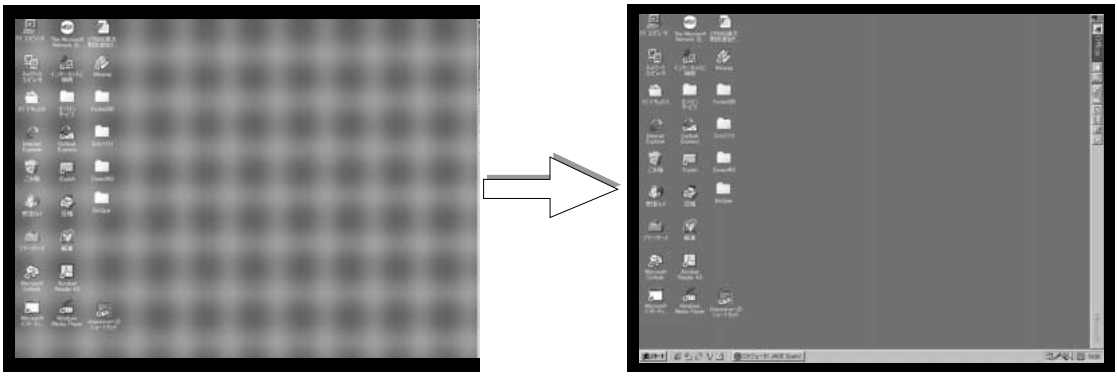
工場出荷時はレンズ正面から見て左側のリアフットに水平固定用スペーサをセットしています（プロジェクタを水平にセットしています）。微調整の前にリアフットを時計方向に回してゆるめ、水平固定用スペーサを外してください。
その後、リアフットを回して調整してください。



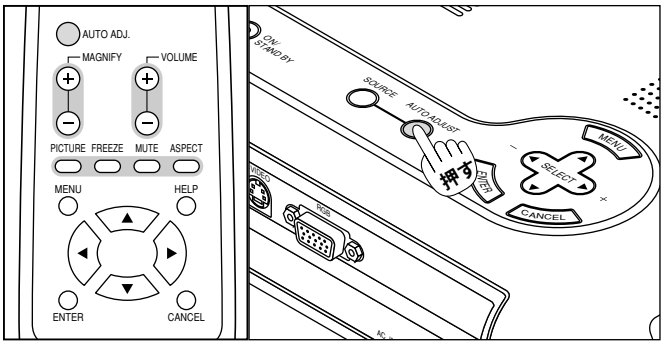


4 パソコンと接続している場合で画面が切れていたり映りが悪い場合表示解像度などを調整します。

〈AUTO ADJUST〉ボタンを押します。しばらくするとパソコンの画面の大きさなどがプロジェクタの投写画面におさまるように自動調整されます。



【映りが悪い画像例】　【正常画像の例】

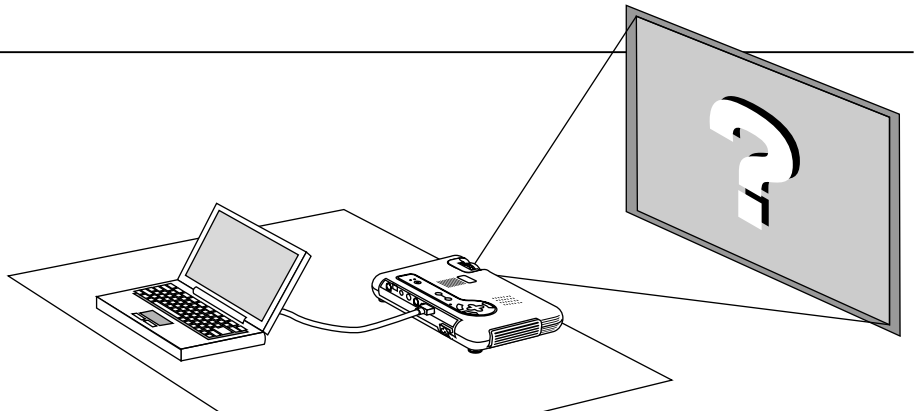


〈AUTO ADJUST〉ボタンで調整しても表示位置がずれていたり、画面に縦じまがでたり映りが悪い場合は、手動で画像調整を行ってください。（*52, 61ページ参照*）

パソコンの投写映像がうまく映らない場合は39ページをご覧ください。

これでプロジェクタのセッティングが終わりました。

電源を切る場合は34ページの「電源を切るとき」をご覧ください。



■パソコンの投写画面がうまく映らない場合

パソコンを接続して投写する際の、ケーブル接続とパソコン起動の手順や、パソコン起動後の操作など、あらかじめ必要な知識について説明します。うまく映らないという場合にチェックしてみてください。

● パソコンの起動は……

パソコンとプロジェクタを接続してからパソコンを起動してください。

特にノート型パソコンの場合、接続してからパソコンを起動しないと外部出力信号が出力されないことがあります。
【参考】プロジェクタのメニューの［情報］の水平同期周波数の欄が空白の時は、パソコンから外部出力信号が出ていません。（*41ページ参照*）

● パソコンの起動後に操作が必要な場合

ノート型パソコンの場合、起動しても、外部出力信号を出力させるために更に操作が必要な場合があります。
（ノート型パソコン自身の液晶画面に表示されていても、外部出力信号が出力されているとは限りません）

【参考】外部出力させる操作の例

- **PC98-NXシリーズ、DOS/V対応機（PC/AT 100%互換機）の場合：**
  Fnキー＋「 F1 ～ F12 キーのいずれか(機種によって異なります)」を押す。
- **Nrシリーズ以降のPC-98ノートの場合：**「サスペンドレジューム」スイッチを押す。

● ノート型パソコンの同時表示時の外部出力信号が正確ではない場合

ノート型パソコンの場合、自身の液晶画面は正常に表示されていても投写された画面が正常ではない場合があります。
多くの場合、ノート型パソコンの制約により同時表示(パソコン自身の液晶画面と外部出力を同時に出力する場合)の際は、周波数などが標準的規格に合った信号を出力できない場合があり、この際の外部出力信号が、プロジェクタで対応できる範囲の信号から大きくはずれている場合、調整を行っても正常に表示がされない場合があります。
そのようなときはノート型パソコンの同時表示をやめ、外部出力のみのモードにする（または液晶パネルを閉じると、このモードになる場合が多い）操作を行うと外部出力信号が標準的規格に合った信号になる場合があります。

● Macintoshを起動させたとき、画面が乱れたり何も表示しない場合

Macintoshおよびプロジェクタがサポートしている表示モード以外の設定を、ディップスイッチで設定した場合、表示が乱れたり、なにも表示できなくなる場合があります。万一表示できない場合は、ディップスイッチを13インチ固定モードに設定し、Macintoshをリスタートしてください。その後表示可能なモードに変更して、再度リスタートさせてください。

● PowerBookとプロジェクタを同時に表示させる場合

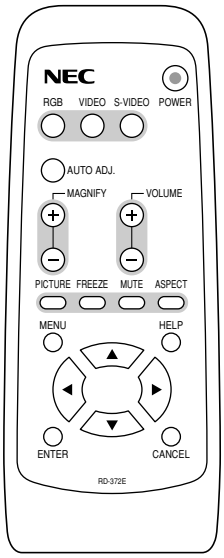
PowerBookディスプレイの「ビデオミラーリング」を“切”にしないと外部出力を800×600ドットに設定できないことがあります。

● Macintoshの投写画面からフォルダなどが切れている場合

以前に接続していたディスプレイがプロジェクタより高い解像度で使用し、フォルダなどが隅にあった場合は切れたり隠れたりします。このような場合はMacintoshのファインダー画面で「option」キーを押した状態で「ウインドウの整頓」を選択してください。隠れたフォルダが画面内に移動します。

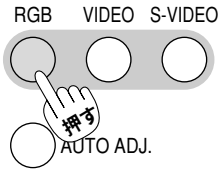
基本操作

プロジェクタの電源が入っている状態でのボタン操作説明です。
電源のON/OFFは34ページ「プロジェクタ電源の入／切」をご覧ください。



■入力の選択

プロジェクタに映す機器の選択で、プロジェクタの入力端子が選択されます。



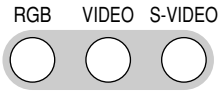
設定により入力端子表示をしばらく表示します。（*56ページ参照*）

本体では〈SOURCE〉ボタンを押します。押すごとにビデオ→Sビデオ→RGBとくり返します。

- 信号が入力されていない場合は、飛び越します。
- DVDプレーヤなどコンポーネント信号の機器をRGB INPUT端子に接続していて正常に映らない場合は、60ページ「信号モードの選択」をご覧ください。

■画像を自動調整する

映しているRGB信号の画像を最適な状態に自動調整します。



押すと自動調整を開始します。

自動調整する症状は……
表示位置がずれているとき（水平／垂直位置の調整）、縦帯状の明暗が出ているとき（クロック周波数の調整）、極端に色ズレやチラツキが出ているとき（位相の調整）。

- 画像によっては正しく表示されない場合や信号を切り換えたとき表示までに時間がかかる場合があります。このような場合は手動で画像調整を行ってください。（*52, 61ページ参照*）
- RGB INPUT端子にコンポーネントを入力している場合は動作しません。

工場出荷状態からAUTO ADJUSTボタンを押して自動調整を行ったとき、あるいは水平・垂直・クロック周波数・位相のどれかを調整したとき、マイコンがそのデータを記憶します。次に同じ信号を投写したときはそのデータを読み出します。
記憶可能な数は最大10個です。10個を越えた場合は自動的に古いデータから削除されます。

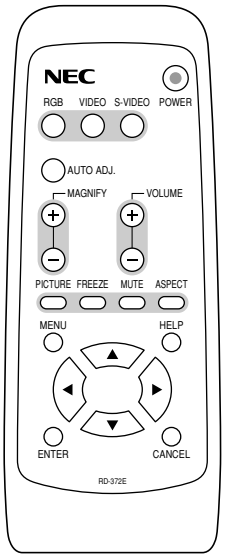
お知らせ

バックグラウンドについて

- 接続機器の電源が切れているときや入力信号がないときは「バックグラウンド」で選択されている画面（ブルーバック／ブラックバック／ロゴ）が映ります。

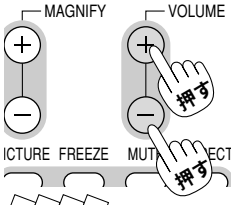
パソコン接続時に画面が映らなくなったとき

- 「パワーマネージメント」がONに設定されているとき、5分間RGB信号入力がないと自動的にスタンバイ状態になります。
- パソコン接続時、画面に何も映らなくなったときは、パソコンのスクリーンセーバーかパワーマネージメント機能が働いている可能性もあります。



■音量の調整

プロジェクタ内蔵スピーカの音量調整です。



大きくなります。

小さくなります。

音量調整表示

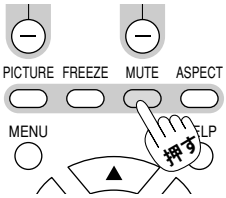
お知らせ

メニューを表示していないときは、本体の〈SELECT▼/▲〉ボタンでも音量が変わります。

音量調整表示は3秒間ボタン操作がないと閉じます。
［メニュー設定］の［音量調整バー］が非表示に設定されているときは表示が出ません。（*57ページ参照*）

■画像と音声を消去する

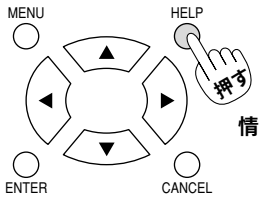
画像と音声を一時的に消すときに使用します。



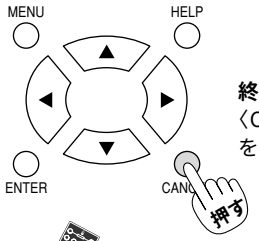
画像と音声が消えます。
もう一度押すと画像と音声が出ます。

■入力信号情報と機器情報を見る

入力選択されている入力信号の詳細、ランプ使用時間、機器使用時間等を表示します。



情報画面を表示します。



終了するには
〈CANCEL〉ボタンを押します。

カーソル

情報	
ページ1　ページ2　ページ3	
信号番号	0
入力端子	ビデオ
水平同期周波数	15.72 kHz
垂直同期周波数	60.0 Hz
同期極性	

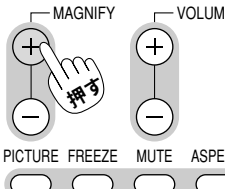
SELECT〈◄／►〉ボタンでページを選択します。

〈HELP〉ボタンを押すと、マウス機能のボタンは自動でプロジェクタモードになります。
10秒間操作をしないとパソコンモードに戻ります。

■画像の拡大と移動

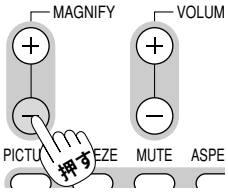
目的の部分を最大4倍まで拡大表示できます。

拡大する



押すごとに画像が拡大します。

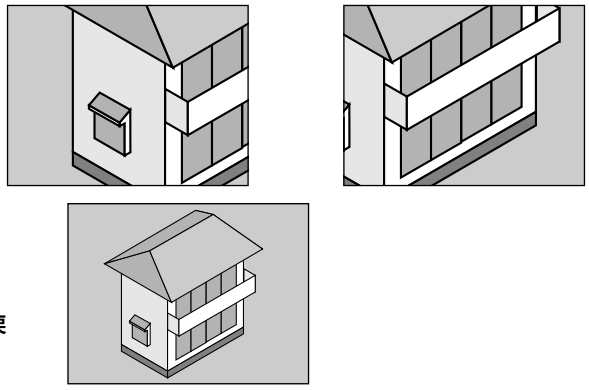
戻す



押すごとに画像が縮小（元に戻す）します。

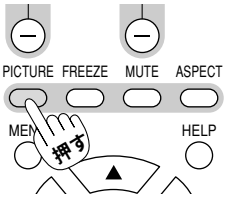
移動するときは……

〈SELECT〉ボタンで拡大画像が移動できます。



■映像を調整する

明るさ、コントラスト、カラー、色相、シャープネスを調整します。

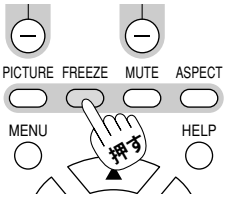


押すと映像調整画面が表示されます。（詳しくは49ページをご覧ください。）

- 3秒間ボタン操作がないと、映像調整画面は自動的に消えます。

■動画を静止画にする

ビデオ映像などの動画を止めてじっくり見るときに使います。

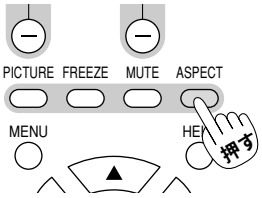


静止画になります。
もう一度押すと動画に変わります。

- 〈FREEZE〉ボタンを押すと静止画メモリに記録した画像を映しますので動画はそのまま進みます。

■表示モードの選択

画面サイズを設定します



押すとアスペクト設定画面を表示します。
押すごとにノーマル→ズーム→ワイドズーム→シネマとくり返し変わります。SELECT〈◀／▶〉ボタンでも切り換えることができます。
（詳しくは51ページをご覧ください。）

- 3秒間ボタン操作がないと、アスペクト設定画面は自動的に消えます。

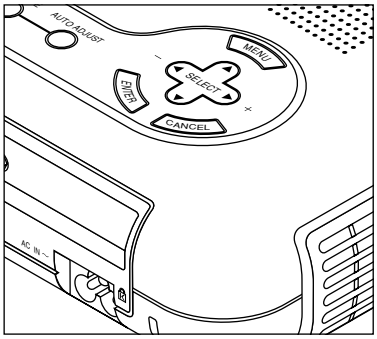
メニュー機能を使う前に

プロジェクタの調整や設定項目はたくさんあります。目的の調整や設定がすばやくできるように目次を設けて、その中からしぼりこんで探して行く方法をメニュー操作と呼び、画面上に表示しているメニューをオンスクリーンメニューと言います。
本機は2モードメニューです。

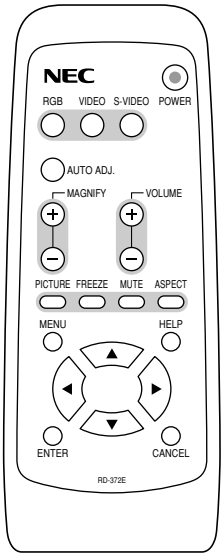
- ベーシックメニュー ……普段よく使う基本の調整・設定が可能なメニューです。
- アドバンストメニュー ……ベーシックメニューに加え、より詳細な調整・設定が可能なメニューです。

オンスクリーンメニューの基本操作

メニュー操作の選択や確定などのしかたを説明しています。メニュー操作中わからなくなった場合にご覧ください。
オンスクリーンメニューの基本操作はベーシックメニュー（工場出荷時状態）で説明しています。

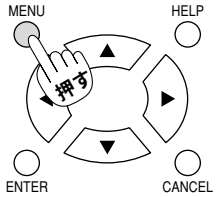


リモコンはプロジェクタのリモコン受光部に向けて操作してください。



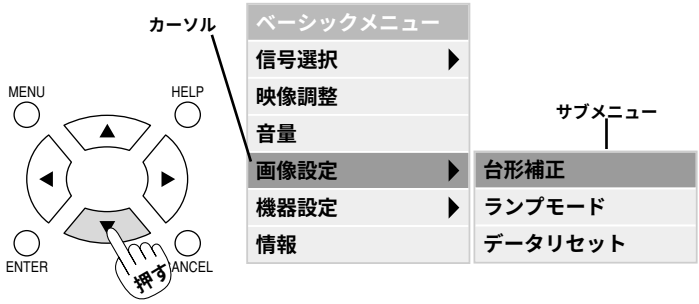
■メニュー選択のしかた

1 メニューを表示する



- 〈MENU〉ボタンを押してから45秒間（工場出荷時）操作をしないとメニューが閉じます。
- 時間は［機器設定］→［メニュー設定］の設定画面の［表示時間］で選択できます。（*57ページ参照*）

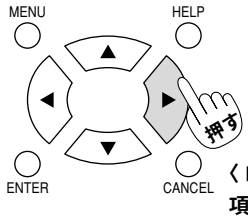
2 メニュー項目を選ぶ



〈SELECT ▼／▲〉ボタンを押すとカーソルが出ます。
〈SELECT ▼／▲〉ボタンでカーソルを移動してメニュー項目を選択します。

- ［ ▶］のあるメニュー項目はサブメニューがあることを示します。カーソルを合わせて〈SELECT ▶〉ボタンを押すとサブメニューを表示します。
- ［ ▶］の無い項目は〈ENTER〉ボタンを押すと調整画面／設定画面の表示に変わります。（〈SELECT ▶〉ボタンを押しても調整画面／設定画面に変わります。）
- 白文字の項目は選択できません。

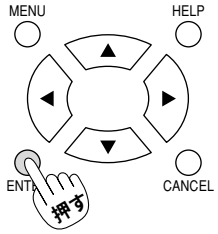
3 サブメニューの項目を選ぶ



〈 ▶ 〉ボタンを押すとサブメニューの項目が青色に変わります。

〈SELECT▼／▲〉ボタンでサブメニュー項目を選択します。
さらに［▶］のある項目は第2サブメニューを表示します。

4 項目を決定する

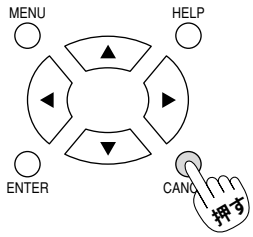


〈ENTER〉ボタンを押すと決定され、目的の設定表示や調整表示に変わります。

- 〈SELECT ▶ 〉ボタンを押しても同じ動作をします。

5 終了する

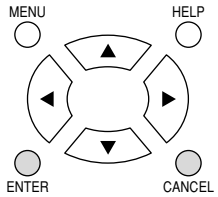
設定や調整終了後は、メニュー表示に戻ります。



〈CANCEL〉ボタンを押すとメニューが閉じます。

押すごとに、サブメニュー、メニューと閉じます。

メニューを表示しているときの〈CANCEL〉ボタンと〈ENTER〉ボタンの働き



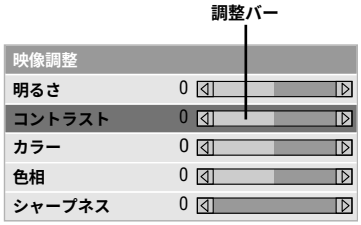
〈CANCEL〉ボタン …… メニューを閉じます。

〈ENTER〉ボタン …… 項目を選択します。

■ 設定・調整のしかた

【調整表示例】

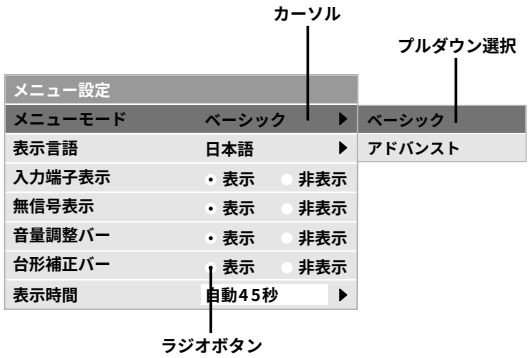
いくつも項目のある調整表示での項目の選択は〈SELECT ▼／▲〉ボタンで行います。図は［コントラスト］が選択されています。
〈SELECT ◀／▶〉ボタンで調整します。
［コントラスト］調整表示例では
〈SELECT ◀ 〉ボタンを押し続けると映像が淡くなります。(調整バーが短くなります)。
〈SELECT ▶〉ボタンを押し続けると映像が濃くなります。(調整バーが長くなります)。



【設定表示例 1】
項目の選択は〈SELECT ▼／▲〉ボタンで行います。
押すごとにカーソルが次の項目に移ります。

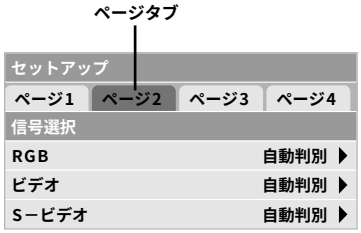
プルダウン選択
〈SELECT ▶〉ボタンを押すとプルダウンリストを表示します。
〈SELECT▼／▲〉ボタンで内容を選択し〈ENTER〉ボタンを押します。

ラジオボタンの選択
どれか1つが選択できる設定がラジオボタン (●) です。
〈SELECT ◀／▶〉ボタンで目的の項目を選択すると（●）のラジオボタンが付きます。



【設定表示例 2】

ページタブ
数ページの設定項目がある場合に表示されます。
〈SELECT▼／▲〉ボタンを数回押してページタブにカーソルを合わせます。
〈SELECT ◀／▶ 〉ボタンで目的のページにカーソルを合わせるとページが切り換わります。



〈CANCEL〉ボタンを押すとメニュー表示に戻ります。

オンスクリーンメニュー一覧

オンスクリーンメニューのアドバンストメニュー内容の一覧です。
アドバンストメニューでしか操作できない項目にはⒶマークをつけています。

信号によっては調整できない項目があります。その場合には、白文字で表示されます。

は調整表示や設定表示の内容を示します。

（明るさ／コントラスト／カラー／色相／シャープネス）調整表示 （49ページ参照）
入力信号（RGB,コンポーネント,ビデオ）により表示が異なります。

音量調整表示 （49ページ参照）

台形補正 調整表示 （50ページ参照）

ノーマルモード／エコモード （50ページ参照）

全データ／表示中の信号 （54ページ参照）

アスペクト Ⓐ — ノーマル／ズーム／ワイドズーム／シネマ （51ページ参照）

位置・周波数 Ⓐ — （水平／垂直／クロック周波数／位相）調整表示 （52ページ参照）

解像度 Ⓐ — フル／リアル （53ページ参照）

ビデオ帯域フィルタ Ⓐ — 動作／非動作 （53ページ参照）

ノーマル／ナチュラル1／ナチュラル2 （55ページ参照）

（明るさR／明るさG／明るさB／コントラストR／コントラストG／コントラストB）調整表示 （55ページ参照）

メニューモード（アドバンスト／ベーシック） （56ページ参照）
表示言語（English／Deutsch／Français／Italiano／Español／ Svenska／日本語） （56ページ参照）
入力端子表示（表示／非表示） （56ページ参照）
無信号表示（表示／非表示） （57ページ参照）
音量調整バー（表示／非表示） （57ページ参照）
台形補正バー*（表示／非表示） （57ページ参照）
表示時間（手動／自動5秒／自動15秒／自動45秒） （57ページ参照）

ページ1
投写方法（デスク/フロント／天吊り/リア／デスク/リア／天吊り/フロント） （58ページ参照）
シネマポジション（上端／中央／下端） （58ページ参照）
バックグラウンド（ブルーバック／ブラックバック／ロゴ） （59ページ参照）

Ⓐ ページ2
信号選択 RGB（自動判別／RGB／コンポーネント／Scart） （60ページ参照）
ビデオ（自動判別／NTSC3.58／NTSC4.43／PAL／PAL-M／PAL-N／PAL60／SECAM） （60ページ参照）
S-ビデオ（自動判別／NTSC3.58／NTSC4.43／PAL／PAL-M／PAL-N／PAL60／SECAM） （60ページ参照）

Ⓐ ページ3
自動調整（On／Off） （61ページ参照）
オートスタート（On／Off） （61ページ参照）
パワーマネジメント（On／Off） （62ページ参照）
電源オフ確認メッセージ（On／Off） （62ページ参照）
台形補正保存（On／Off） （63ページ参照）
ホワイトセグメント（On／Off） （63ページ参照）

Ⓐ ページ4
初期入力選択（ラスト／自動／指定）（RGB／ビデオ／S-ビデオ） （64ページ参照）
通信速度（4800／9600／19200） （64ページ参照）
本体キーロック（動作／非動作） （65ページ参照）
ランプ時間クリア （66ページ参照）

ページ1　信号番号・入力端子・水平同期周波数・垂直同期周波数・同期極性 （67ページ参照）
ページ2　信号形式・ビデオ標準・同期形態・インターレース
ページ3　ランプ残量・ランプ使用時間・機器使用時間
※台形補正バーはオプション対応です。
　別売のプレゼンテーションリモコン（PR51KIT）でのみ有効です。

入力選択

調整するときは、目的のパソコンの画像やビデオデッキの映像をプロジェクタに映した状態で行ってください。

- **メニューの操作方法につきましては、43・44ページ「オンスクリーンメニューの基本操作」と45ページ「設定・調整のしかた」をご覧ください。**

RGB
ビデオ
S-ビデオ

■入力信号の選択【RGB／ビデオ／S-ビデオ】

プロジェクタの入力端子を選択します。

●現在選択されている入力端子には✔マークを表示します。

RGB	RGB INPUT 端子に接続している機器の映像を映します。 この端子と接続しているコンポーネント入力信号もRGBを選択してください。（*60ページ参照*）
ビデオ	VIDEO端子に接続している機器の映像を映します。
S－ビデオ	S－VIDEO端子に接続している機器の映像を映します。

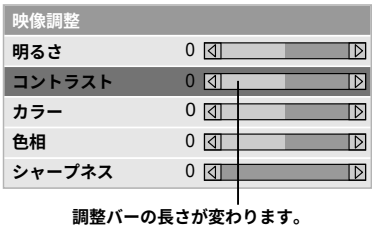
映像調整・音量調整

● **メニューの操作方法につきましては、43・44ページ「オンスクリーンメニューの基本操作」と45ページ「設定・調整のしかた」をご覧ください。**

■映像の調整【明るさ・コントラスト・カラー・色相・シャープネス】

調整は目的の映像を映してから行ってください。現在の入力選択で調整できる項目を表示します。
入力信号（RGB・コンポーネント・ビデオ）により表示が異なります。

【例　コントラスト選択】



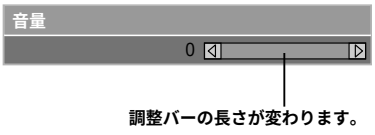
映像調整項目は〈SELECT▲／▼〉で選択します。選択された項目は明るくなります。

〈SELECT ◀／▶〉ボタンで調整します。

明るさ	〈SELECT ▶〉ボタンを押すと明るくなります。 〈SELECT ◀〉ボタンを押すと暗くなります。
コントラスト	〈SELECT ▶〉ボタンを押すと映像が濃くなります。 〈SELECT ◀〉ボタンを押すと映像が淡くなります。
カラー	〈SELECT ▶〉ボタンを押すと色が濃くなります。 〈SELECT ◀〉ボタンを押すと色が淡くなります。
色相	〈SELECT ▶〉ボタンを押すと緑みがかります。 〈SELECT ◀〉ボタンを押すと赤みがかります。
シャープネス	〈SELECT ▶〉ボタンを押すとくっきりした映像になります。 〈SELECT ▶〉ボタンを押すと柔らかい映像になります。

■音量の調整【音量】

プロジェクタの内蔵スピーカの音量調整です。プロジェクタのAUDIO端子に接続している音声入力の音量調整ができます。



〈SELECT ◀／▶〉ボタンで音量調整ができます。

〈SELECT ▶〉ボタンを押すと音が大きくなります。

〈SELECT ◀〉ボタンを押すと音が小さくなります。

- 入力端子ごとに調整できます。
- 工場出荷時は最小に設定されています。
- 音量調整バーは、〈VOLUME＋／－〉ボタンで直接表示させることもできます。（*57ページ参照*）

お知らせ

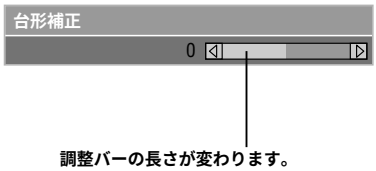
内蔵スピーカの音声について

- 入力を切り換えてもAUDIO端子（IN）に接続されている機器の音声が出ます。

画像調整

調整するときは、目的のパソコンの画像やビデオデッキの映像をプロジェクタに映した状態で行ってください。

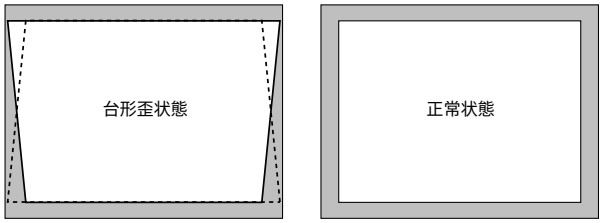
- **メニューの操作方法につきましては、43・44ページ「オンスクリーンメニューの基本操作」と45ページ「設定・調整のしかた」をご覧ください。**



■上下方向台形歪みの調整【台形補正】

プロジェクタ設置時にプロジェクタとスクリーンが斜めに（上下方向）なっていると台形の歪みが生じます。この歪み調整に台形補正を使います。

〈SELECT◀／▶〉ボタンで左右が平行になるように調整します。



- 台形歪補正値を保存しておくことができます。（*63ページ参照*）
- 投写角を中心として±15度の範囲で台形補正できます。
  ただし、本機の表示画素数以上の解像度の信号を表示した場合、補正可能範囲が狭くなることがあります。

■ランプモードの選択【ランプモード】

小さいスクリーンサイズで映して画面が明るすぎるときや暗い室内で映す場合に使います。

〈SELECT◀／▶〉ボタンでノーマルモードまたはエコモードを選択します。

⦿ **ノーマルモード**……ランプの輝度が100%になります。明るい画面になります。

⦿ **エコモード**……ランプの輝度が約80%になります。ランプ寿命がのびます。

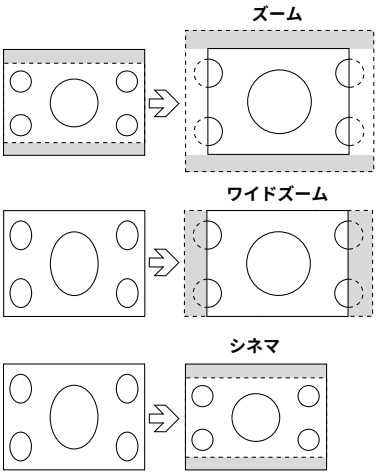
● Ⓐ マーク表記の項目はアドバンストメニューで表示されます。（「表示させるメニューモードの選択」56ページ参照）

■表示モードの選択 Ⓐ 【アスペクト】

画面サイズの設定です。

アスペクト
・ノーマル　ズーム　ワイドズーム　シネマ

〈SELECT◀／▶〉ボタンで目的のアスペクトを選択します。



⊙ **ノーマル** ……通常の画面サイズです。（4：3の入力信号を4：3の画面サイズで映します。）

⊙ **ズーム** ……画面サイズを広げます。（16：9のレターボックス信号入力時、水平・垂直方向を 4：3の画面サイズに広げて映します。）

⊙ **ワイドズーム** ……水平振幅を拡げます。（16：9のスクイーズ信号入力時、水平方向を4：3の画面サイズに拡げて映します。）

⊙ **シネマ** ……垂直振幅を縮めます。（16：9のスクイーズ信号入力時、16：9の画面サイズに圧縮して映します。）
〔セットアップ〕の〔シネマポジション〕で表示位置（上端・中央・下端）を設定できます。（58ページ参照）

お知らせ

アスペクトの設定を変更すると「解像度」の設定が自動的に「フル」に変更されます。

● **メニューの操作方法につきましては、43・44ページ「オンスクリーンメニューの基本操作」と45ページ「設定・調整のしかた」をご覧ください。**

■画像の表示位置と周波数の調整 Ⓐ 【位置・周波数】

画面の表示位置とRGB信号の画素ズレを調整します。

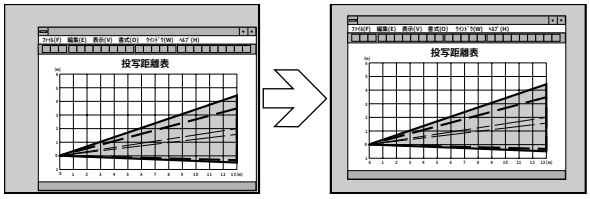
RGB入力の場合、［自動調整］を設定していると白文字になり選択できません。手動に切り換えてください。（*61ページ参照*）

〈SELECT▲／▼〉ボタンで調整する項目を選択します。選択すると調整バーが明るくなります。
〈SELECT◀／▶〉ボタンで調整します。

画面表示位置の調整

位置・周波数	
水平	100
垂直	50
クロック周波数	800
位相	50

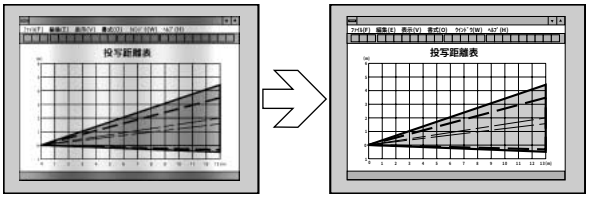
〈SELECT◀／▶〉ボタンを押して画面の中心に移動させます。
［水平］は画面が水平方向に移動します。［垂直］は画面が垂直方向に移動します。



クロック周波数の調整

位置・周波数	
水平	100
垂直	50
クロック周波数	800
位相	50

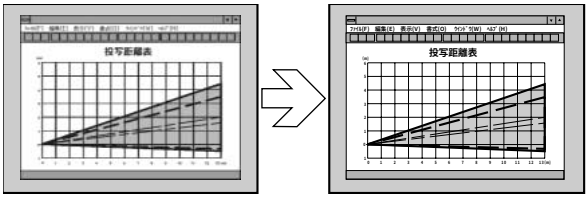
〈SELECT◀／▶〉ボタンを押して画面の明るさが一定になる（明暗の縦帯が出なくなる）ところが最適な調整です。



位相の調整

位置・周波数	
水平	100
垂直	50
クロック周波数	800
位相	50

〈SELECT◀／▶〉ボタンを押して画面の色ズレ、ちらつきの最小になるところが最適な調整です。



● Ⓐ マーク表記の項目はアドバンストメニューで表示されます。（「表示させるメニューモードの選択」56ページ参照）

■アドバンスド・アキュブレンドの選択Ⓐ 【解像度】

プロジェクタのRGB信号の表示画素数は800×600ドットです。この表示画素数以外の表示解像度を表示する際、文字や罫線の大きさなどが不均一になる場合があります。アドバンスド・アキュブレンド機能で補正します。この機能のON／OFFの選択です。

RGB入力の場合、[自動調整] を設定していると白文字になり選択できません。手動に切り換えてください。（*61ページ参照*）

〈SELECT ◀／▶〉ボタンでフルまたはリアルを選択します。

解像度	
・フル	・リアル

⦿ **フル**……アドバンスド・アキュブレンド機能を入れます。
投写中の信号（VGA, SVGA, XGA, SXGA, UXGA ）によらず、プロジェクタが自動的に拡大・縮小してフル画面で表示します。

⦿ **リアル**……アドバンスド・アキュブレンド機能を切ります。
投写中の信号解像度がプロジェクタの表示画素数より下の解像度（VGAなど）の場合、オリジナルサイズで縮小表示されます。

お知らせ

本機の表示画素数以上の解像度（SVGA/XGA/SXGA/UXGA）の信号を表示した場合は、[リアル] を選択してもフル（表示画素数）で表示されます。

■映像フィルタの設定Ⓐ 【ビデオ帯域フィルタ】

映像のざらつきやジッター（文字などの微妙な揺れ）を低減させます。
工場設定では、あらかじめ信号毎に適した状態に設定されています。
信号によって、映像のざらつきやジッターが気になる場合に設定します。

RGB入力の場合、[自動調整] を設定していると白文字になり選択できません。手動に切り換えてください。（*61ページ参照*）

〈SELECT ◀／▶〉ボタンで選択します。

ビデオ帯域フィルタ	
・動作	・非動作

⦿ **動作** ……フィルタがかかります。

⦿ **非動作** ……フィルタが切れます。

- **メニューの操作方法につきましては、43・44ページ「オンスクリーンメニューの基本操作」と45ページ「設定・調整のしかた」をご覧ください。**

■調整データのリセット【データリセット】

プロジェクタに記録された全調整・設定値または表示中の信号について調整した調整値を初期値に戻します。

〈SELECT▲／▼〉ボタンで全データまたは表示中の信号を選択して〈ENTER〉ボタンを押します。
確認表示が出るので、よければ〈SELECT▲／▼〉ボタンでカーソルを［はい］に合わせて〈ENTER〉ボタンを押してください。

データリセット
全データ
表示中の信号

⦿ **全データ**……表示中以外の信号を含め、各信号ごとに調整・設定した全ての調整・設定値が工場設定値になります。

リセットされるデータ
［表示言語］・［通信速度］・［ランプ残量］・［ランプ使用時間］・［機器使用時間］以外の全ての調整・設定値
（ランプ使用時間をクリアするには66ページをご覧ください）

⦿ **表示中の信号**…表示中の信号について調整した調整値が工場設定値になります。

リセットされるデータ
明るさ／コントラスト／カラー／色相／シャープネス／ガンマ補正／アスペクト／ホワイトバランス／水平位置／垂直位置／クロック周波数／位相／解像度／ビデオ帯域フィルタ

全データリセット
よろしいですか
はい
いいえ

取り止めるとき
〈SELECT▲／▼〉ボタンでカーソルを［いいえ］に合わせて〈ENTER〉ボタンを押してください。リモコンの〈CANCEL〉ボタンでも取り消すことができます。

カラー調整

プロジェクタ投写映像の基本のカラー調整を行います

- **Ⓐ マーク表記の項目はアドバンストメニューで表示されます。（「表示させるメニューモードの選択」56ページ参照）**

■ガンマ補正の選択 Ⓐ 【ガンマ補正】

映像の黒い部分の階調の選択です。これにより暗い部分も鮮明に表現します。

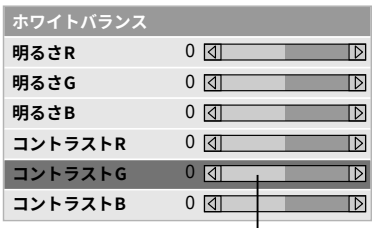
〈SELECT ◀／▶〉ボタンで目的のガンマ補正を選択します。

⦿ **ノーマル** ……標準的な設定です。

⦿ **ナチュラル1** …自然な色あいを重視します。
テレビ番組や一般的な映像ソースを見るのに適しています。

⦿ **ナチュラル2** …信号の暗い部分が鮮明になります。
映画を見るのに適しています。

【例　コントラストGを選択】



調整バーの長さが変わります。

■ホワイトバランスの調整Ⓐ 【ホワイトバランス】

信号の白レベルと黒レベルを調整して色再現性を最良にします。

ホワイトバランス調整項目は〈SELECT▲／▼〉で選択します。選択された項目は明るくなります。
〈SELECT ◀／▶〉ボタンで調整します。

［明るさR］・［明るさG］・［明るさB］で画像の黒色を調整します。

［コントラストR］・［コントラストG］・［コントラストB］で画像の白色を調整します。

メニュー設定

画面に表示させるメニューや入力端子表示、メニューの表示言語などの設定です。

■表示させるメニューモードの選択【メニューモード】

メニュー表示は、普段よく使う基本の調整・設定ができるベーシックメニューと、より詳細な調整・設定ができるアドバンストメニューがあります。表示させたいメニューを選択します。

1 〈SELECT▲／▼〉ボタンでメニューモードを選択します。

2 〈SELECT▶ 〉ボタンでプルダウンリストが出ます。

3 〈SELECT▲／▼〉ボタンで目的のモードを選択し、〈ENTER〉ボタンを押します。

4 〈CANCEL〉ボタンを押します。メニューに戻ります。

■メニューの表示言語を選択【表示言語】

メニューに表示される言語の設定です。

1 〈SELECT▲／▼〉ボタンで表示言語を選択します。

2 〈SELECT▶ 〉ボタンでプルダウンリストが出ます。

3 〈SELECT▲／▼〉ボタンで目的の言語を選択し、〈ENTER〉ボタンを押します。

4 〈CANCEL〉ボタンを押します。メニューに戻ります。

■入力端子表示のOn/Off【入力端子表示】

入力信号を切り換えたときの入力選択表示をする／しないの設定です。

1 〈SELECT▲／▼〉ボタンで入力端子表示を選択します。

2 〈SELECT◀／▶〉ボタンで表示／非表示を選択します。

3 〈CANCEL〉ボタンを押します。メニューに戻ります。

● メニューの操作方法につきましては、43・44ページ「オンスクリーンメニューの基本操作」と45ページ「設定・調整のしかた」をご覧ください。

メニュー設定		
メニューモード	ベーシック	▶
表示言語	日本語	▶
入力端子表示	・表示	非表示
無信号表示	⊙表示	●非表示
音量調整バー	・表示	非表示
台形補正バー	・表示	非表示
表示時間	自動45秒	▶

■信号未入力表示のOn/Off【無信号表示】

入力端子に信号が未入力のときにメッセージを表示する／しないの設定です。

1 〈SELECT▲／▼〉ボタンで無信号表示を選択します。

2 〈SELECT◀／▶〉ボタンで表示／非表示を選択します。

3 〈CANCEL〉ボタンを押します。メニューに戻ります。

メニュー設定		
メニューモード	ベーシック	▶
表示言語	日本語	▶
入力端子表示	・表示	非表示
無信号表示	・表示	非表示
音量調整バー	⊙表示	●非表示
台形補正バー	・表示	非表示
表示時間	自動45秒	▶

■音量調整表示のOn/Off【音量調整バー】

音量調整をする場合に音量調整バーを表示する／しないの設定です。音量調整をしたときのみ表示します。

1 〈SELECT▲／▼〉ボタンで音量調整バーを選択します。

2 〈SELECT◀／▶〉ボタンで表示／非表示を選択します。

3 〈CANCEL〉ボタンを押します。メニューに戻ります。

メニュー設定		
メニューモード	ベーシック	▶
表示言語	日本語	▶
入力端子表示	・表示	非表示
無信号表示	・表示	非表示
音量調整バー	・表示	非表示
台形補正バー	⊙表示	●非表示
表示時間	自動45秒	▶

■台形補正表示のOn/Off【台形補正バー】

〈KEYSTONE ＋/－〉ボタンで台形補正調整する場合に台形補正調整バーを表示する／しないの設定です。台形補正を調整したときのみ表示します。

1 〈SELECT▲／▼〉ボタンで台形補正バーを選択します。

2 〈SELECT◀／▶〉ボタンで表示／非表示を選択します。

3 〈CANCEL〉ボタンを押します。メニューに戻ります。

メニュー設定		
メニューモード	ベーシック	▶
表示言語	日本語	▶
入力端子表示	・表示	非表示
無信号表示	・表示	非表示
音量調整バー	・表示	非表示
台形補正バー	・表示	非表示
表示時間	自動45秒	▶

■メニューの表示時間の選択【表示時間】

メニューを表示しているとき、次のボタン操作がない場合にメニューを自動で画面から消去する時間の選択です。

1 〈SELECT▲／▼〉ボタンで表示時間を選択します。

2 〈SELECT▶〉ボタンでプルダウンリストが出ます。

3 〈SELECT▲／▼〉ボタンで目的の時間を選択し、〈ENTER〉ボタンを押します。

4 〈CANCEL〉ボタンを押します。メニューに戻ります。

セットアップ

メニューの［機器設定］→［セットアップ］を選択し、〈ENTER〉ボタンを押すとセットアップ設定表示に変わります。

■プロジェクタの投写方法を選択【投写方法】

使用状況に合わせて選択してください。

1 〈SELECT▲／▼〉ボタンで投写方法を選択します。

2 〈SELECT▶〉ボタンでプルダウンリストが出ます。

デスク／フロント ……テーブルに設置して前面から投写
天吊り／リア ……天井に設置して背面から投写
デスク／リア ……テーブルに設置して背面から投写
天吊り／フロント ……天井に設置して前面から投写

3 〈SELECT▲／▼〉ボタンで目的の投写方法を選択し、〈ENTER〉ボタンを押します。

4 〈CANCEL〉ボタンを押します。メニューに戻ります。

■シネマモード時の画面位置を選択【シネマポジション】

アスペクトでシネマモードに設定したとき、画面の垂直位置を選択します。

1 〈SELECT▲／▼〉ボタンでシネマポジションを選択します。

2 〈SELECT ▶〉ボタンでプルダウンリストが出ます。

3 〈SELECT▲／▼〉ボタンで目的のポジションを選択し、〈ENTER〉ボタンを押します。

4 〈CANCEL〉ボタンを押します。メニューに戻ります。

上端 ……下端に黒い部分が出ます。
中央 ……上端と下端に黒い部分が出ます。
下端 ……上端に黒い部分が出ます。

● メニューの操作方法につきましては、43・44ページ「オンスクリーンメニューの基本操作」と45ページ「設定・調整のしかた」をご覧ください。

■無信号時の背景色を選択【バックグラウンド】

入力信号が無いときの背景色の設定です。

1 〈SELECT▲／▼〉ボタンでバックグラウンドを選択します。

2 〈SELECT ▶ 〉ボタンでプルダウンリストが出ます。

ブルーバック ……背景色が青色
ブラックバック ……背景色が黒
ロゴ ……背景に画像を表示

3 〈SELECT▲／▼〉ボタンで目的のバックグラウンドを選択し、〈ENTER〉ボタンを押します。

4 〈CANCEL〉ボタンを押します。メニューに戻ります。

● **メニューの操作方法につきましては、43・44ページ「オンスクリーンメニューの基本操作」と45ページ「設定・調整のしかた」をご覧ください。**

■信号モードの選択 Ⓐ 【信号選択】

RGB入力端子、VIDEO入力端子、S-VIDEO入力端子の信号モードの選択です。通常は自動判別を選択しておきます。
自動判別できない場合はプロジェクタに接続している出力機器の信号モードに合わせてください。

1 〈SELECT▲／▼〉ボタンでカーソルをページタブに合わせ〈SELECT ◀／▶〉ボタンで［ページ2］を選択します。

2 〈SELECT▲／▼〉ボタンで目的の入力端子を選択します。

3 〈SELECT▶ 〉ボタンでプルダウンリストが出ます。

4 〈SELECT▲／▼〉ボタンで目的の信号を選択し、〈ENTER〉ボタンを押します。

5 〈CANCEL〉ボタンを押します。メニューに戻ります。

RGB信号の選択【RGB】

DVDプレーヤなどのコンポーネント出力を本機のRGB INPUT端子と専用ケーブルで接続している場合などに設定します。

自動判別 ……自動でRGBとコンポーネント信号を判断して切り換えます。
RGB ……アナログRGB信号になります。
コンポーネント …コンポーネント信号になります。
Scart……Scart信号になります。
Scart信号は、ヨーロッパのビデオ・オーディオ信号の規格です。
日本では使用しません。

映像信号の選択【ビデオ／S-ビデオ】

国によってテレビジョンの映像信号方式が異なります。
VIDEO入力端子、S-VIDEO入力端子の入力信号の設定ができます。

自動判別 ……自動で入力信号を判断して切り換えます。
NTSC3.58 ……NTSC 3.58 モードになります。
NTSC4.43 ……NTSC 4.43 モードになります。
PAL ……PAL モードになります。
PAL-M ……PAL-M モードになります。
PAL-N ……PAL-N モードになります。
PAL60 ……PAL60 モードになります。
SECAM ……SECAM モードになります。

● Ⓐ マーク表記の項目はアドバンストメニューで表示されます。（「表示させるメニューモードの選択」56ページ参照）

■画像の自動調整 Ⓐ 【自動調整】

RGB信号の表示位置と画素のズレの調整を自動で行うか、手動で行うかの設定です。

セットアップ		
ページ1 ページ2 ページ3 ページ4		
自動調整	● 動作	⦿ 非動作
オートスタート	○ 動作	・非動作
パワーマネージメント	○ 動作	・非動作
電源Off確認メッセージ	○ 動作	・非動作
台形補正保存	○ 動作	・非動作
ホワイトセグメント	○ 動作	・非動作

1 〈SELECT▲／▼〉ボタンでカーソルをページタブに合わせ
〈SELECT◀／▶〉ボタンで［ページ3］を選択します。

2 〈SELECT▲／▼〉ボタンで自動調整を選択します。

3 〈SELECT◀／▶〉ボタンで動作／非動作を選択します。

⦿ **動作**……表示位置と画素調整を自動で行います。
⦿ **非動作**……手動で調整できます。（*52ページ参照*）

4 〈CANCEL〉ボタンを押します。メニューに戻ります。

お知らせ

● 画像によっては正しく調整できない場合や、信号を切り換えたとき調整までに時間がかかる場合があります。このような場合は手動で行ってください。

■自動で立ち上げる Ⓐ 【オートスタート】

電源プラグに電源が供給されると自動的にプロジェクタが立ち上がります。プロジェクタを制御卓などでコントロールする場合に使用します。

セットアップ		
ページ1 ページ2 ページ3 ページ4		
自動調整	○ 動作	・非動作
オートスタート	● 動作	⦿ 非動作
パワーマネージメント	○ 動作	・非動作
電源Off確認メッセージ	○ 動作	・非動作
台形補正保存	○ 動作	・非動作
ホワイトセグメント	○ 動作	・非動作

1 〈SELECT▲／▼〉ボタンでカーソルをページタブに合わせ
〈SELECT◀／▶〉ボタンで［ページ3］を選択します。

2 〈SELECT▲／▼〉ボタンでオートスタートを選択します。

3 〈SELECT◀／▶〉ボタンで動作／非動作を選択します。

⦿ **動作** ……オートスタートが動作しプロジェクタが立ち上がります。
⦿ **非動作** ……スタンバイ状態になります。

4 〈CANCEL〉ボタンを押します。メニューに戻ります。

● メニューの操作方法につきましては、43・44ページ「オンスクリーンメニューの基本操作」と45ページ「設定・調整のしかた」をご覧ください。

■RGB入力端子無信号時に電源を切る Ⓐ【パワーマネージメント】

5分以上信号入力が無いと自動的に電源を切りスタンバイ状態にします。

1 〈SELECT▲／▼〉ボタンでカーソルをページタブに合わせ
〈SELECT◀／▶〉ボタンで［ページ3］を選択します。

2 〈SELECT▲／▼〉ボタンでパワーマネージメントを選択します。

3 〈SELECT◀／▶〉ボタンで動作／非動作を選択します。

⦿ **動作** ……自動的にスタンバイ状態になります。
⦿ **非動作** ……パワーマネージメント機能は働きません。

4 〈CANCEL〉ボタンを押します。メニューに戻ります。

■電源を切るとき確認表示を出す Ⓐ【電源Off確認メッセージ】

電源をOFFにするとき確認表示を出します。

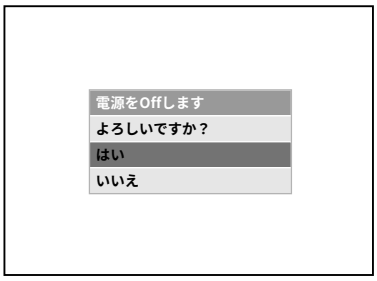
1 〈SELECT▲／▼〉ボタンでカーソルをページタブに合わせ
〈SELECT◀／▶〉ボタンで［ページ3］を選択します。

2 〈SELECT▲／▼〉ボタンで電源Off確認メッセージを選択します。

3 〈SELECT◀／▶〉ボタンで動作／非動作を選択します。

⦿ **動作** ……確認メッセージを表示します。
⦿ **非動作** ……確認メッセージがでません。

【プロジェクタ投写画面】



4 〈CANCEL〉ボタンを押します。メニューに戻ります。

設定を〈動作〉にしたとき

プロジェクタの電源を切るときに確認表示が出ます。
よければ「はい」を選択して〈ENTER〉ボタンを押してください。確認表示が閉じてスタンバイ状態になります。
取り消すときは「いいえ」を選択して〈ENTER〉ボタンを押してください。
〈CANCEL〉ボタンでも取り消すことができます。

● Ⓐ マーク表記の項目はアドバンストメニューで表示されます。(「表示させるメニューモードの選択」56ページ参照)

■台形補正データを保存するⒶ【台形補正保存】

[台形補正] で調整した調整値を保存します。電源を切ってもデータは失われません。

1 〈SELECT▲／▼〉ボタンでカーソルをページタブに合わせ〈SELECT ◀／▶〉ボタンで [ページ3] を選択します。

2 〈SELECT▲／▼〉ボタンで台形補正保存を選択します。

3 〈SELECT ◀／▶〉ボタンで動作／非動作を選択します。

⦿ **動作** ……調整値を上書き保存します。

⦿ **非動作** ……調整値を保存しません。

4 〈CANCEL〉ボタンを押します。メニューに戻ります。

■明るさ／色あいの選択Ⓐ【ホワイトセグメント】

明るさを重視するか、色あいを重視するかの選択です。

1 〈SELECT▲／▼〉ボタンでカーソルをページタブに合わせ〈SELECT ◀／▶〉ボタンで［ページ3］を選択します。

2 〈SELECT▲／▼〉ボタンでホワイトセグメントを選択します。

3 〈SELECT ◀／▶〉ボタンで動作／非動作を選択します。

⦿ **動作** ……画面が明るくなります。

⦿ **非動作** ……自然な色あいの画面になります。

4 〈CANCEL〉ボタンを押します。メニューに戻ります。

● **メニューの操作方法につきましては、43・44ページ「オンスクリーンメニューの基本操作」と45ページ「設定・調整のしかた」をご覧ください。**

■初期入力の設定Ⓐ 【初期入力選択】

プロジェクタを立ち上げたとき、どの入力信号（入力端子）にするかの設定です。

1 〈SELECT▲／▼〉ボタンでカーソルをページタブに合わせ〈SELECT ◀／▶〉ボタンで［ページ4］を選択します。

2 〈SELECT▲／▼〉ボタンで初期入力選択を選択します。

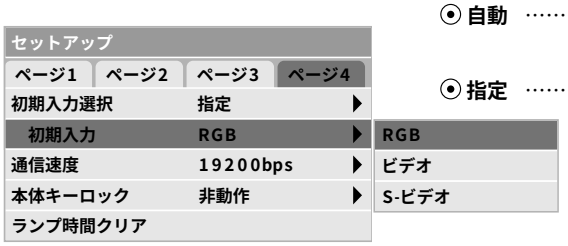
3 〈SELECT ▶〉ボタンでプルダウンリストが出ます。

4 〈SELECT ◀／▶〉ボタンで内容を選択し〈ENTER〉ボタンを押します。

⦿ **ラスト** ……最後に映した入力信号を映します。

⦿ **自動** ……入力信号の自動検出を行い、最初に見つかった入力信号を映します。

⦿ **指定** ……設定した入力信号を映します。

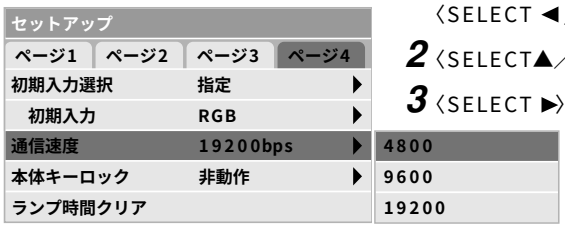


指定を選択した場合
〈SELECT ▼〉ボタンで初期入力にカーソルを移動し、〈SELECT ▶〉ボタンでプルダウンリストが出ます。
〈SELECT ▼〉ボタンで目的の入力信号を選択して〈ENTER〉ボタンを押します。
［指定］以外のときは指定項目がグレイ表示になり選択できません。

5 〈CANCEL〉ボタンを押します。メニューに戻ります。

■通信速度の設定Ⓐ 【通信速度】

PC CONTROL端子のデータ転送速度の設定です。接続する機器と転送速度を合わせてください。



1 〈SELECT▲／▼〉ボタンでカーソルをページタブに合わせ〈SELECT ◀／▶〉ボタンで［ページ4］を選択します。

2 〈SELECT▲／▼〉ボタンで通信速度を選択します。

3 〈SELECT ▶〉ボタンでプルダウンリストが出ます。

4 〈SELECT▲／▼〉ボタンで目的の通信速度を選択し、〈ENTER〉ボタンを押します。

5 〈CANCEL〉ボタンを押します。メニューに戻ります

● Ⓐ マーク表記の項目はアドバンストメニューで表示されます。（「表示させるメニューモードの選択」56ページ参照）

■本体操作部のボタンを無効にするⒶ 【本体キーロック】

担当者以外の人に操作させないように本体操作部のボタンをロックするための設定です。

お知らせ

- **本体ボタンが無効なときは、“ 本体キーロック 動作 ”と表示され、有効なときは、“ 本体キーロック 非動作 ”と表示されます。**
- **本体キーロック時、本体ボタンは動作しませんが、リモコンボタンは動作します。**
- **“ 本体キーロック動作 ” 中（本体キーロック時）に、本体の〈CANCEL〉ボタンを10秒間押すと、ロックが解除されます。**

1 〈SELECT▲／▼〉ボタンでカーソルをページタブに合わせ〈SELECT▲／▼〉ボタンで［ページ4］を選択します。

2 〈SELECT▲／▼〉ボタンで本体キーロックを選択し、〈ENTER〉ボタンを押してサブメニューを表示させます。

3 〈SELECT▲／▼〉ボタンで「動作」を選択して、〈ENTER〉ボタンを押して確認表示を出します。

4 「はい」を選択して〈ENTER〉ボタンを押してください。確認表示が閉じます。取り消すときは、「いいえ」を選択して〈ENTER〉ボタンを押します。または〈CANCEL〉ボタンを押します。

5 〈CANCEL〉ボタンを押します。メニューに戻ります。

● Ⓐ マーク表記の項目はアドバンストメニューで表示されます。(「表示させるメニューモードの選択」56ページ参照)

■ランプ使用時間をクリアする Ⓐ 【ランプ時間クリア】

ランプ交換を行ったときに［ランプ残量］と［ランプ使用時間］をクリアします。

1 〈SELECT▲／▼〉ボタンでカーソルをページタブに合わせ〈SELECT◀／▶〉ボタンで［ページ4］を選択します。

2 〈SELECT▲／▼〉ボタンでランプ時間クリアを選択し、〈ENTER〉ボタンを押して確認表示を出します。

3 よければ〈SELECT▲／▼〉ボタンで［はい］にカーソルを合わせて〈ENTER〉ボタンを押してください。確認表示が閉じます。

取り消すときは、［いいえ］にカーソルが合った状態で〈ENTER〉ボタンを押します。

4 〈CANCEL〉ボタンを押します。メニューに戻ります。

お知らせ

● ［画像設定］の［データリセット］ではクリアされません。

情　報

現在入力中の信号情報を知りたいとき、ランプ使用時間や機器使用時間を知りたいときに使います。

■入力信号情報と機器情報を見る【情報】

入力選択されている入力信号の詳細、ランプ使用時間を表示します。

〈SELECT ◀／▶〉ボタンでページを選択します。

ランプ残量／ランプ使用時間の表示について

本機にはエコモード機能があります。ノーマルモードとエコモードでは、ランプの寿命が異なります。
［ランプ使用時間］はランプの通算使用時間を示し、［ランプ残量］はランプの使用時間に対する残量をパーセントで表示しています。

- 0%になると画面上に「**ランプ交換時期です。取扱説明書に従って早めに交換してください。**」のメッセージが表示されます。（メッセージは、投写中ずっと表示されます。）
  新しいランプと交換してください。交換のしかたは「ランプ交換のしかた」68ページをご覧ください。
- ランプ寿命に到達（ランプ残量0%）後、［ランプ残量］表示は赤色の時間表示に変わります。ランプモードの設定にかかわらず、さらに100時間使用した場合、電源が入らなくなります。

	ランプ使用時間		ランプ残量
	ノーマルモードのみ使用（最小）	エコモードのみ使用（最大）	
工場出荷時	0000時間		100%
ランプ寿命	1000時間	1500時間	0%

ランプ交換のしかた

光源に使われているランプの使用時間が1000時間（ノーマルモードのみ使用時）を超えると（「ランプ残量」が0%になると）STATUSインジケータが赤点灯し、メッセージ「ランプの交換時期です。取扱説明書に従って早めに交換してください。」が画面上に表示されます。
この場合は光源ランプの交換時期ですので、新しいランプと交換してください。
現在のランプ使用時間やランプ残量を確認する方法は67ページをご覧ください。

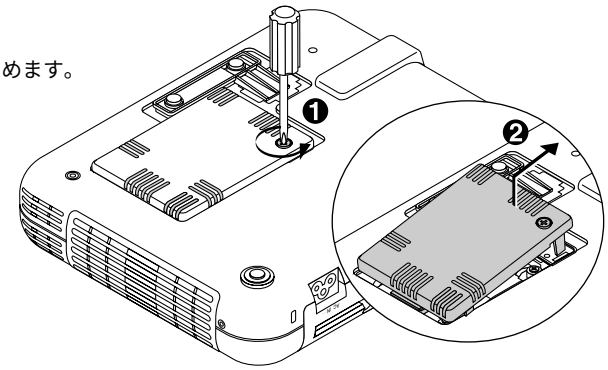
●交換用ランプは販売店でお求めください。ご注文の際は交換用ランプ型名LT51LPとご指定ください。
●指定のネジ以外は外さないでください。
●ランプハウスには、ランプ保護のためガラスがついています。誤って割らないよう取り扱いには注意してください。また、ガラス表面には触れないでください。輝度にかかわる性能劣化の原因となります。
●メッセージが表示されてもなお使用を続けると、ランプが切れることがあります。ランプが切れる時には、小さな破裂音が発生し、ランプの破片がランプハウス内に散らばります。この場合は、販売店に交換を依頼してください。
●ランプ寿命に到達後100時間を超えて使用すると、スタンバイ状態になり電源が入らなくなります。

⚠ **注意**	**ランプの交換は、電源を切り90秒間待って、冷却ファン停止後、電源プラグをコンセントから抜き、約60分おいてから行ってください。動作中や停止直後にランプを交換すると高温のため、やけどの原因となることがあります。**

1 ランプカバーを外します。

❶ ランプカバーのネジを左に空転するまでゆるめます。
ネジは外れません。

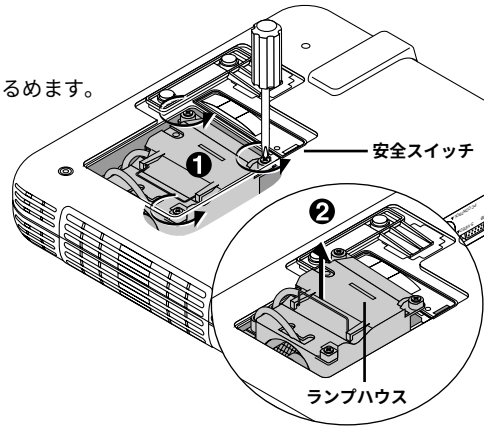
❷ ランプカバーネジ側を持ち上げ、
引いて外します。



2 ランプハウスを外します。

❶ ランプハウス固定のネジ（3箇所）を左に空転するまでゆるめます。
ネジは外れません。

❷ ランプハウスの取っ手を持って引きます。
このとき、ランプハウスのランプソケットも外れます。



お願い

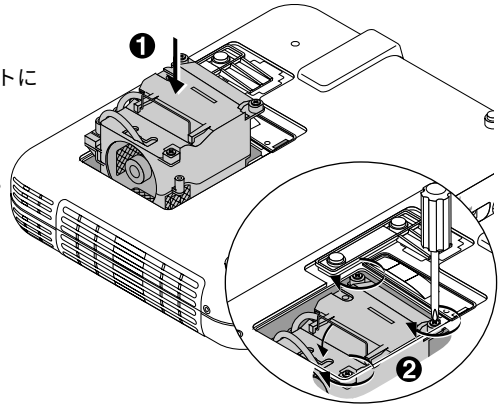
本機には安全スイッチが付いています。
安全スイッチには触れないでください。

3 新しいランプハウスを取り付けます。

❶ ランプハウスを静かにいれます。
このとき、ランプハウスのランププラグが本体のソケットに差し込まれます。

❷ ランプハウス固定のネジ（3箇所）を右に回してしめます。
ランプハウスの取っ手を倒してください。

ネジは確実にしめてください。



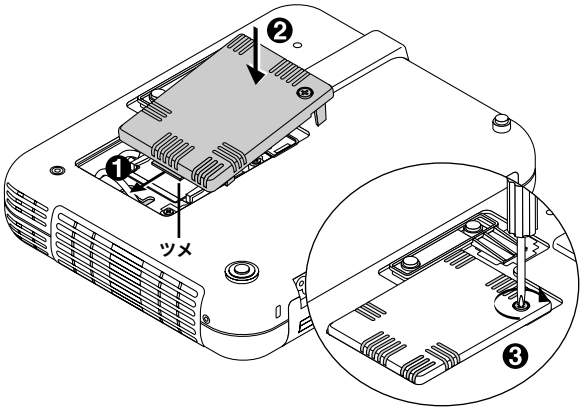
4 ランプカバーを取り付けます。

❶ ランプカバーのツメを本体の穴に入れます。

❷ ランプカバーを閉めます。

❸ ランプカバーのネジを右に回してしめます。

ネジは確実にしめてください。



5 ランプ残量とランプ使用時間をクリアします。

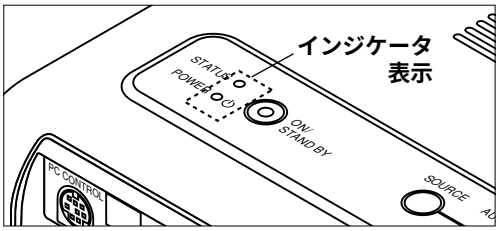
電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れてから行います。
アドバンストメニューの［機器設定］→［セットアップ］→［ページ4］の［ランプ時間クリア］を選択して、［はい］を選択してください。
（*66ページ参照*）

これで、ランプ交換が終わりました。

お知らせ

ランプ寿命に到達後100時間を超えて使用すると電源が入らなくなります。そのような場合は、スタンバイ状態でリモコンの〈HELP〉ボタンを10秒以上押すことでランプ残量とランプ使用時間をクリアできます。クリアされたかどうかは、STATUSインジケータが消灯することで確認できます。

インジケータ（LED）表示一覧表



本体操作部のインジケータ表示が点灯したり点滅しているときは下記の異常を知らせています。
電源を入れたときも動作状態をインジケータ表示で知らせます（正常状態）。34ページ「2.プロジェクタ電源の入／切」をご覧ください。

インジケータ表示	プロジェクタの状態	行なってください
STATUS 赤点灯 POWER 緑点灯	ランプ寿命	● ランプの交換時期です。新しいランプに交換してください。
STATUS 赤点灯 POWER オレンジ点灯	ランプ寿命到達後 100時間	● 電源は入りません。新しいランプに交換してください。
STATUS 赤点滅 （0.5秒点灯／0.5秒消灯） POWER オレンジ点灯	カバー異常	● ランプカバーが正しく取り付けられていません。 正しく取り付けてください。
STATUS 赤点滅 （2秒点灯／2秒消灯） POWER オレンジ点灯	温度異常	● 温度プロテクタが作動しています。室温が高い場合は、プロジェクタを涼しい場所へ移動してください。
STATUS 赤点滅 （4秒点灯／4秒消灯） POWER オレンジ点灯	ファン異常	● 冷却ファンの回転が停止しています。販売店へ修理を依頼してください。
STATUS 赤点滅 （6秒点灯／6秒消灯） POWER オレンジ点灯	ランプ不点灯	● ランプが点灯しません。90秒以上持って再度電源を入れてください。 それでも点灯しない場合は販売店にご相談ください。

インジケータが上記以外の間隔で点滅しているときは、販売店にご相談ください。

温度プロテクタについて

プロジェクタ内部の温度が異常に高くなるとランプが消灯しSTATUSインジケータが点滅（2秒点灯／2秒消灯）します。

同時に温度プロテクタが働いてプロジェクタの電源が切れることがあります。（この場合はインジケータは点灯しません。）
このときは、以下のことを行ってください。

1 **電源を切り電源プラグをコンセントから抜きます。**

2 **次の事項を確認し、必要な処置をしてください。**
- 周囲温度が高い場所に置いて使用しているときは、涼しい場所に設置しなおしてください。
- 通風孔にほこりがたまっていたら掃除してください。（*72ページ参照*）

3 **プロジェクタの温度が下がるまで、約60分待ってください。**
以上のことを行っても解決しないときは、販売店にご相談ください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度接続や設定および操作に間違いがないかご確認ください。それでもなお異常なときはお買い求めの販売店またはNECフィールディング（株）支店・営業所にお問い合わせください。

このようなとき	確認してください	参照ページ
電源が入らない	● 電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 ● ランプカバーが正しく取り付けられていますか。 ● ランプ寿命を超えて使用していませんか。 ● 内部温度が高くなっていませんか。内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待ってから電源を入れてください。	33 69 67 70
映像が出ない	● 接続されている入力を選んでいますか。 ● 入力端子のケーブルが正しく接続されていますか。 ● 画像調整の明るさ、コントラストが最小になっていませんか。 ● ノート型パソコンをご使用の場合、プロジェクタと接続してからパソコンの電源をいれましたか。また、パソコンの設定が外部RGB出力端子へ出力されない設定になっていませんか。 ノート型パソコンは、多くの場合、プロジェクタと接続した状態で電源を入れないと外部RGB出力端子に信号が出力されません。 ● DVDプレーヤをRGB端子と接続しているとき、映像が出ない場合RGB/コンポーネントの選択を行っていますか。 ● RGB入力の場合、標準信号以外の信号が入力されていませんか。 ● 各設定が正しく調整・設定されていますか。 ［データリセット］を行ってください。 ● RGB入力の場合、画面調整を正しく行っていますか。	40・48 27～32 49 39 60 77 54 52
映像が歪む	● 正しく設置されていますか。 台形状に歪む場合は台形歪補正の調整を行ってください。	37 50
映像がぼやける	● レンズのフォーカスは合っていますか。 ● 投写画面とプロジェクタが正しい角度で設置されていますか。 ● 投写距離がフォーカスの範囲を超えていませんか。 ● レンズなどが結露していませんか。 気温が低い所に保管しておいて温かい所で電源を入れるとレンズや内部の光学部が結露することがあります。このような場合は結露がなくなるまで数分お待ちください。	36 37 25·75 —
水平または垂直方向に映像がずれて正常に表示されない表示さ	● RGB入力の場合、水平位置、垂直位置を正しく調整しましたか。 ● RGB入力の場合、入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。 パソコンの解像度を確認してください。	52 77
RGB入力で文字がチラついたり色がずれている場合	● 画像の自動調整をONにしてください。または画像の自動調整がOFF（手動）の場合はクロック周波数と位相を調整してください。	52·61
リモコンで操作できない	●リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。 ●リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物がありませんか。 ●リモコンの有効範囲（7m）を超えていませんか。 ●リモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けていますか。	18 18 18 18
STATUSインジケータが点滅する	● インジケータ（LED）表示一覧をご覧ください。	70

お手入れについて

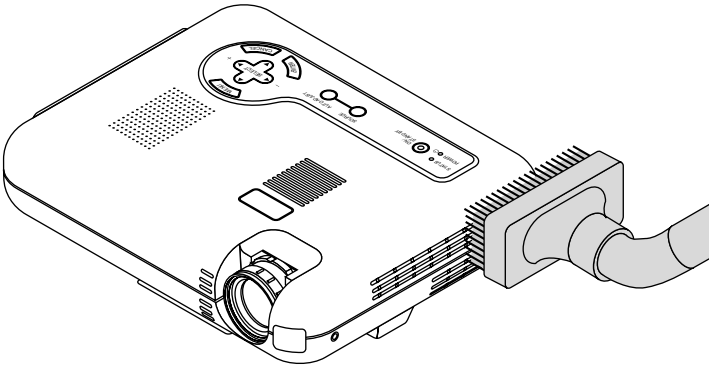
お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

■キャビネットのよごれは・・・・・・

●毛羽立ちのすくない柔らかい乾いた布でふいてください。
汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書に従ってください。

●シンナーやベンジンなどの溶剤でふかないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。

●通風孔やスピーカ部のほこりを取り除く場合は、掃除機のブラシ付きのアダプタを使用して吸い取ってください。なお、アダプタを付けずに直接当てたり、ノズルアダプタを使用することは避けてください。
●通風孔にほこりがたまると、空気の通りが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに掃除をしてください。設置場所にもよりますが100時間を目安に掃除をしてください。



●キャビネットを爪や硬いもので強くひっかいたり、当てたりしないでください。傷の原因となります。

本体内部の掃除については、お買いあげの販売店またはNECフィールディング（株）支店・営業所にお問い合わせください。

■レンズのよごれは・・・・・・

●カメラのレンズと同じ方法で（市販のカメラ用ブローワーやメガネ用クリーニングペーパーを使って）クリーニングしてください。その際レンズを傷つけないようご注意ください。

キャビネットやレンズおよびスクリーンに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。
また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

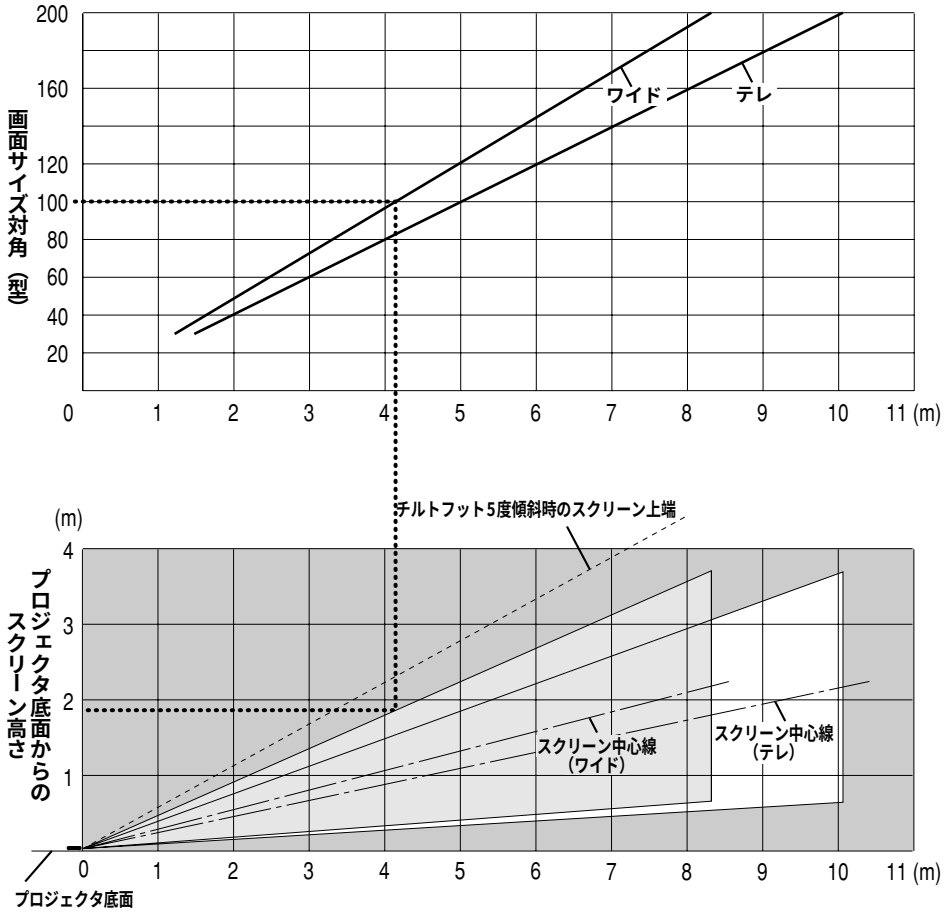
仕　様

形名			LT75ZJ
方式			単板DMD™反射方式
主要部品仕様	DMDパネル	サイズ	0.7型
		画素数*1	480,000画素（800ドット×600ライン）
	投映レンズ		マニュアルズーム、マニュアルフォーカス
	光源		135W　NSHランプ
	光学装置		カラーフィルタ回転による色分離
画面サイズ			最小30型（投写距離 1.47m・テレ時）
			最大200型（投写距離 8.31m・ワイド時）
色再現性			フルカラー 1,677万色
音声出力			1W　モノラルスピーカ内蔵
走査周波数		水平	15 ～100 kHz（RGB入力は水平周波数24kHz以上）
		垂直	50 ～120 Hz
調整機能			マニュアルズーム、マニュアルフォーカス
			入力信号切換（RGB/コンポーネント ／S-ビデオ／ビデオ）、画像自動調整、画面拡大、
			台形歪補正、画面位置調整、ミュート（映像／音声とも）、電源オン／オフ
			オンスクリーン表示／選択（明るさ、コントラスト、カラー*2、色相*2、シャープネス*3、音量）
アナログRGB入力	入力信号	信号方式	セパレート信号方式
		映像信号	アナログ：0.7Vp-p／75Ω
		同期信号	セパレート：TTLレベル（正／負）
			シンクオングリーン：0.3Vp-p　負（映像：0.7Vp-p 正）
	入力端子	映像	RGB ミニD-Sub 15ピン×1（コンポーネント入力と共用）
最大表示解像度（横×縦）			1600 × 1200（アドバンスド・アキュブレンドによる表示）
ビデオ入力	入力信号	信号方式	NTSC 3.58／NTSC 4.43／PAL-M／PAL-N／PAL／PAL60／SECAM
		映像信号	コンポジット：1.0Vp-p／75Ω
			S映像端子：Y信号（1.0Vp-p／75Ω）、C信号（0.28Vp-p／75Ω）
	入力端子	映像	RCA×1　S映像端子×1
音声	音声信号		0.5Vrms／22kΩ以上
	音声入力端子		ミニジャック×1
水平解像度			NTSC：550TV本
使用環境			動作温度：5～35℃　　動作湿度：20～80%（ただし結露しないこと）
			保存温度：－10～50℃　保存湿度：20～80%（ただし結露しないこと）
電源			AC 100V　50／60Hz
最大消費電力			200W*4
定格入力電流			2.1A
外形寸法			243（幅）×53（高）×196（奥行）mm　(突起部含まず)
質量			1.5kg

*1：有効画素数は99.99%です。
*2：NTSC/PAL/SECAM／ビデオ入力時のみ調整可能です。
（ただし SECAM入力時は、色相調整はできません。コンポーネント入力時はカラーのみ調整できます。）
*3：NTSC/PAL/SECAM／ビデオ／コンポーネント（15kHz・HDTV 共）入力時のみ調整可能です。
*4：本製品は経済産業省の「家電汎用品高調波抑制対策ガイドライン」に基づいた適合品です。
● この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。

投写距離と画面サイズ一覧

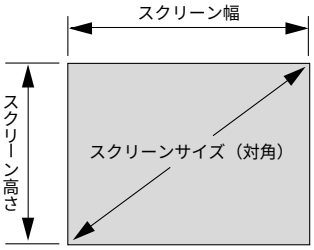
この場所に設置するとどのくらいの画面サイズになるか、どのくらいのスクリーンを用意すればいいのか、また、目的の大きさで映すにはどのくらいの距離が必要かを知りたいときの目安にしてください。
フォーカス（焦点）の合う投写距離は、レンズ前面から1.2m～10mです。この範囲で設置してください。



表のみかた

100型スクリーンにワイドで映すには表より、4.13m付近に設置することになります。
また、下の表はプロジェクタ底面からスクリーンの上端までが約1.85m必要となりますので、プロジェクタを置いた台から天井までの高さやスクリーンを設置する高さが確保できるかの目安にお使いください。（図はプロジェクタを水平に調整した時）チルトフットにより上へ最大約5.1 °上げることができます。

スクリーンサイズと寸法表

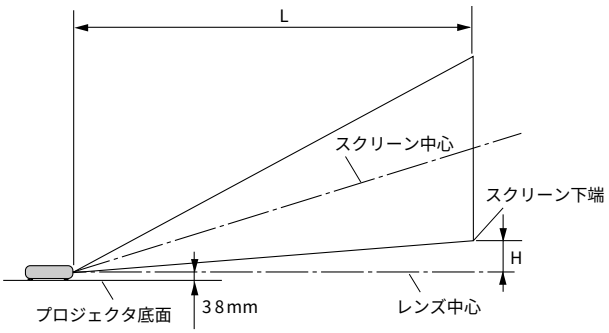


スクリーンサイズ(型)	スクリーン幅（cm）	スクリーンの高さ（cm）
200	406.4	304.8
150	304.8	228.6
120	243.8	182.9
100	203.2	152.4
80	162.6	122.0
60	121.9	91.4
40	81.3	61.0
30	61.0	45.7

■デスクトップの例

下の図はデスクトップで使用するときの例です。
水平投映位置……レンズを中心に左右均等
垂直投映位置……（下表参照）

スクリーンサイズ（型）	投写距離L（m）		寸法H（cm）	
	ワイド時	テレ時	ワイド時	テレ時
30	1.21	1.47	9.1	8.9
40	1.62	1.97	12.0	12.1
60	2.46	2.98	18.0	18.2
80	3.30	3.99	23.8	23.9
100	4.13	5.00	29.8	30.1
120	4.97	6.01	36.2	36.3
150	6.22	7.53	45.4	44.4
180	7.47	9.04	54.6	53.4
200	8.31	10.05	59.4	59.4



H はレンズ中心からスクリーン下端までの寸法です。

お知らせ

設計値のため、±5%の誤差があります。

対応解像度一覧

機　種	解像度	走査周波数		対応状況
		水平（kHz）	垂直（Hz）	
ビデオ（NTSC）	—	15.734	60.0	◎
ビデオ（PAL/SECAM）	—	15.625	50.0	◎
PC-9800シリーズ	640 × 400	24.8	56.4	◎
	640 × 400	31.5	70.1	◎
	640 × 480	31.5	60.0	◎
	640 × 480	37.5	75.0	◎
	800 × 600	37.9	60.3	◎
	800 × 600	46.9	75.0	◎
	1120 × 750	50.0	60.0	○
	1024 × 768	56.5	70.1	○
	1024 × 768	60.0	75.0	○
	1280 × 1024	64.6	59.9	△
PC-98NXシリーズ IBM PC/AT対応機 DOS/V対応機	640 × 350	31.5	70.1	◎
	640 × 350	37.9	85.1	◎
	640 × 400	31.5	70.1	◎
	640 × 400	37.9	85.1	◎
	720 × 350	31.5	70.0	◎
	720 × 400	37.9	85.0	◎
	720 × 400	31.5	70.0	◎
	640 × 480	31.5	60.0	◎
	640 × 480	37.9	72.8	◎
	640 × 480	37.5	75.0	◎
	640 × 480	43.3	85.0	◎
	800 × 600	35.2	56.3	◎
	800 × 600	37.9	60.3	◎
	800 × 600	46.9	75.0	◎
	800 × 600	48.1	72.2	◎
	800 × 600	53.7	85.1	◎
	1024 × 768	48.4	60.0	○
	1024 × 768	56.5	70.1	○
	1024 × 768	60.0	75.0	○
	1024 × 768	68.7	85.0	○
	1152 × 864	67.5	75.0	△
	1280 × 1024	80.0	75.0	△
	1280 × 1024	91.0	85.0	△
	1600 × 1200＊	75.0	60.0	△
	1600 × 1200＊	81.3	65.0	△
	1600 × 1200＊	87.5	70.0	△
	1600 × 1200＊	93.8	75.0	△
Apple Macintosh®	640 × 480	35.0	66.7	◎
	832 × 624	49.7	74.6	○
	1024 × 768	60.2	74.9	○
	1152 × 870	68.7	75.1	△
	1280 × 1024	69.9	65.2	△
Apple iMac™	640 × 480	—	117.0	◎
	800 × 600	—	95.0	◎
	1024 × 768	—	75.0	○
EWSシリーズ	1280 × 1024	75.1	71.2	△
HP	1280 × 1024	78.1	72.0	△
SUN	1152 × 900	61.8	66.0	△
	1280 × 1024	81.1	76.1	△
SGI	1024 × 768	49.7	60.4	○
	1152 × 900	71.7	76.1	△
HDTV（720p,750p）	1280 × 720	45.0	60.0	△
（1080i,1125i）	1920 × 1080	33.75	60.0	△
SDTV（480p,525p）	—	31.5	59.9	◎
（480i,525i）	—	15.7	59.9	◎

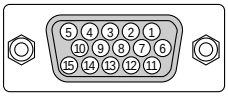
◎：出荷時プリセット
○：アドバンスド・アキュブレンド対応
△：アドバンスド・アキュブレンドにより表示可能

- 「出荷時プリセット」はその表示解像度／周波数の標準的な信号に合わせていますが、パソコンの種類によっては調整が必要な場合があります。
- ワークステーションとの接続に関しての詳細は、当社にお問い合わせください。
- コンポジット同期信号、シンクオングリーン同期信号などの場合は、正常に表示できない場合があります。
- アドバンスド・アキュブレンド表示の場合、文字や罫線の太さなどが不均一になる場合があります。
- ＊U-XGAはセパレート同期信号のみ対応です。

RGB INPUT端子のピン配列と信号名

■ミニD-Sub 15ピン（アナログ）入力端子

各ピンの接続と信号レベル



信号レベル

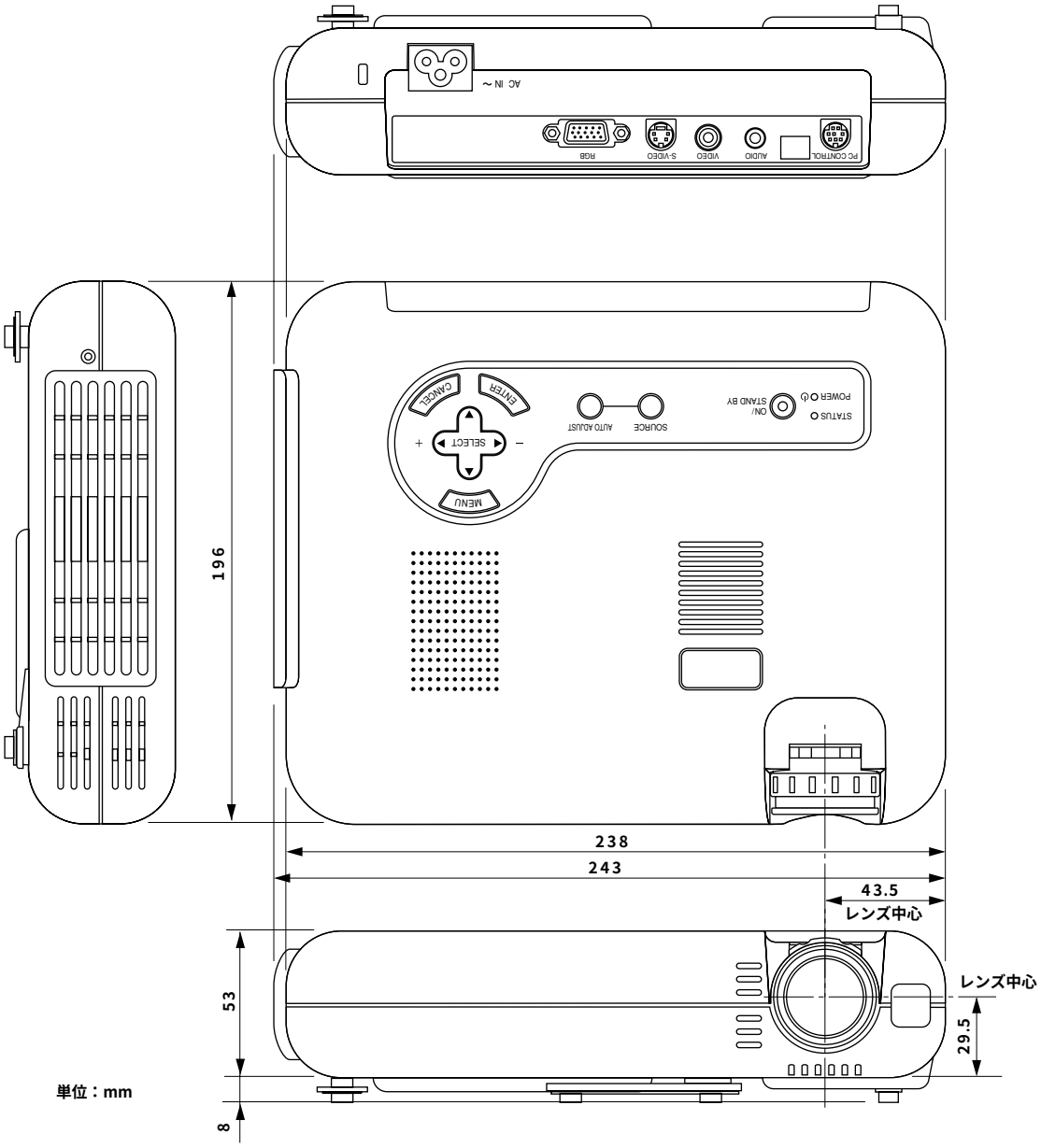
ビデオ信号：0.7Vp-p（アナログ）
同期信号：TTLレベル

ピン番号	RGB信号（アナログ）	YCbCr 信号
1	赤	Cr
2	緑またはシンクオングリーン	Y
3	青	Cb
4	接　地	
5	接　地	
6	赤　　接　地	Cr　接　地
7	緑　　接　地	Y　接　地
8	青　　接　地	Cb　接　地
9	非接続	
10	同期信号　　接　地	
11		
12	Bi-directional DATA (SDA)	
13	水平またはコンポジット同期	
14	垂直同期	
15	Data Clock	

関連商品

商　品　名		型　名
リモコン	プレゼンテーションリモコンキット	PR51KIT
ランプ	交換用ランプ	LT51LP
スクリーン	100型広視野角スクリーン	VL-S100E
	100型ハイコントラストスクリーン	VL-NS100B
	80型広視野角スクリーン	VL-S80E
	80型ハイコントラストスクリーン	VL-NS80B
	60型広視野角スクリーン	VL-S60E
	60型ハイコントラストスクリーン	VL-NS60B
	60型／80型共通ハイコントラストスクリーンスタンド	VL-NS6080ST
	40型広視野角スクリーン	VL-S40
スイッチャ	RGB信号入力切換ユニット	VL-SW401
分配器	RGB信号分配ユニット	VL-DA102
書画カメラ	高解像度モニタカメラ	MT／C 850X
ケーブル	マルチシンク10mケーブル	VL-CA10MD
	アナログRGB信号ケーブル（2m）	VL-CAO2MD
	コンポーネントビデオ接続ケーブル（3m）	VL-CA03V
アダプタ	コンポーネントビデオ変換アダプタ	ADP-CV1
	D端子変換アダプタ	ADP-DT1

外観図


AC IN ～
RGB
S-VIDEO
VIDEO
AUDIO
PC CONTROL
STATUS
POWER
ON/
STAND BY
SOURCE
AUTO ADJUST
MENU
SELECT
ENTER
CANCEL
196
238
243
43.5
レンズ中心
53
8
29.5
レンズ中心
単位：mm

保証と修理サービス

（必ずお読みください）

保証書

この商品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買いあげ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと大切に保存してください。

保証期間

お買いあげ日から1年間です。
ただし、ランプは6ヶ月以内で1000時間までです。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、このプロジェクタの補修用性能部品を製造打切後、最低8年保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご質問は

製品の故障、修理に関するご質問はお買い上げの販売店またはNECフィールディング株式会社の支店・営業所にお願いいたします。
各地の支店・営業所については、別紙一覧表をご覧ください。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」（71ページ）に従って調べていただき、なお異常があるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

保証期間は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間がすぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	投映型フルカラープロジェクタ
形名	LT75ZJ
お買いあげ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

べんりメモ	お買いあげ店名	☎（　　）　　-

修理料金の仕組み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

愛情点検　長年ご使用のプロジェクタの点検をぜひ!

熱・湿気・ホコリなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか

- 電源を入れても映像や音が出ない。
- 上下、または左右の映像がかけて映る。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源を切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物が入った。

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店にご相談ください。

海外でご使用になる場合：トラベルケア(TravelCare)のご紹介

この商品には、NEC の国際保証「トラベルケア」が適用されています。
なお、このトラベルケアの内容は、お買い上げ時に、本機に添付された保証書の記載内容とは一部異なります。

トラベルケアで受けられるサービス

本保証では、出張や旅行などの理由により一時的に海外に本機を持ち出した場合につき、本書に記載された国のNECビューテクノロジーおよびNECビューテクノロジー指定サービスステーションで下記のサービスを受けることができます。
各サービスステーションのサービス内容については、本書記載のトラベルケア窓口リストにてご確認ください。

1 修理サービス

輸送期間を除く、実働10日以内に修理してお届けいたします。
保証期間内の場合は、保守部品代、修理工賃、および各サービスステーションの対応地域内のお届けにかかる輸送費が保証範囲です。

2 代替機貸出サービス

お客様の製品修理の間、ご希望があれば有償にて代替機を貸し出しいたします。
料金：12日間　US$ 200 －
料金は、現地のサービスステーションにて現金またはクレジットカードにてお支払いください。
代替機は、実働3日以内にお届けいたします。
ただし、本サービスが受けられない国または地域がございますので、トラベルケア窓口リストにてご確認ください。
また、保証期間を経過している場合は、代替機貸出サービスは受けられません。

保証期間

1 a お買い上げ時の保証書またはレシートをご提示いただいた場合：

保証書に記載された期間、もしくはご購入された国の通常の保証期間まで有効。

b 本機のみ持ち込まれた場合：

本機に貼付されている製造番号（SERIAL NO.）の製造年月より14ヶ月以内。

2 保証期間を経過した製品を持ち込まれた場合：

有償にて修理対応いたします。ただし、代替機貸出サービスは受けることはできません。

3 次のような場合には、保証期間中でも有償修理になる場合があります。

1）保証書に、お買い上げ日、形名、および製造番号（SERIAL NO.）、販売店名の記入のない場合、または字句を書き替えられた場合。
2）お客様による輸送、移動時の落下、衝撃等お客様の取り扱いが適正でないために生じた故障、損傷の場合。
3）お客様による使用上の誤り、あるいは不当な改造、修理による故障および損傷。
4）火災、塩害、ガス害、地震、落雷、および風水害、その他天災地変、あるいは異常電圧などの外部要因に起因する故障および損傷。
5）高温・多湿の場所、車輌、船舶等で使用された場合に生ずる故障および損傷。
6）本機に接続している当社指定以外の機器および消耗品に起因する故障および損傷。
7）正常なご使用状態のもとで部品が自然消耗、磨耗、劣化により故障した場合。
8）ランプ等の消耗品、および添付品、オプション品が故障および損傷した場合。
9）その他、本機に添付された保証書の保証規定が適用されます。

⚠ 注意

海外でご使用になる場合は、使用する国の規格・電源電圧に適合する電源ケーブルを使用することにより100-120V / 200-240V で使用可能です。
使用する国の規格・電源電圧に適合する電源ケーブルを必ず使用してください。
詳細に関しては、ViewLight フリーダイヤル（0120-610-161）までお問い合わせください。

トラベルケア窓口リスト

このリストは、2001年10月1日現在のものです。
最新の連絡先に関しては、トラベルケア窓口リストに記載されている各国のサービスステーションのホームページもしくは当社ViewLight CLUB ホームページ http://www.nevt.co.jp/vlclub/ をご覧ください。
また、詳細に関しては、ViewLight フリーダイヤルまでお問い合わせください。
ViewLight フリーダイヤル 0120-610-161
（9：00～12：00 13：00～17：00、土・日・祝祭日は除く）

〔欧州〕In Europe

NEC Europe, Ltd. / European Technical Centre

Address: Unit G, Stafford Park 12, Telford TF3 3BJ, U.K.
Telephone: +44 (0) 1952 237000
Fax Line: +44 (0) 1952 237006
Email Address: AFR@uk.neceur.com
WEB Address: http://www.neceur.com

（対応地域） <Regions Covered>

EU: Austria*, Belgium*, Denmark*, Finland*, France*, Germany*, Greece*, Ireland*, Italy*, Luxembourg*, The Netherlands*, Portugal*, Spain*, Sweden* and the United Kingdom*
EEA: Norway*, Iceland and Liechtenstein

〔北米〕In North America

NEC Technologies, Inc.

Address: 1250 Arlington Heights Road, Itasca, Illinois 60143, U.S.A.
Telephone: +1 800 836 0655
Fax Line: +1 800 356 2415
Email Address: tech-support@nectech.com
WEB Address: http://www.nectech.com

（対応地域） <Regions Covered>

U.S.A.*, Canada*

〔大洋州〕In Oceania

NEC Australia Pty., Ltd.

Address: 58 Deeds Road, North Plympton SA 5037, Australia
Telephone: +61 13 16 32（オーストラリア国内からかける場合）
+61 3 9262 1111（オーストラリア国外からかける場合）
Email Address: lee.gramola@nec.com.au
WEB Address: http://www.nec.com.au

（対応地域） <Regions Covered>

Australia*, New Zealand

〔アジア・中近東〕In Asia and Middle East

NEC Hong Kong Ltd.

Address: 11 th Floor, Tower B, New Mandarin Plaza, 14 Science Museum Road, Tsim Sha Tsui East, Kowloon,Hong Kong
Telephone: +852 2369 0335
Fax Line: +852 2724 5733
Email Address: BHO@nechk.nec.com.hk
WEB Address: http://www.nec.com.hk

（対応地域） <Regions Covered>

Hong Kong

NEC Taiwan Ltd.

Address: 8F, No.167, SEC.2, Nan King East Road, Taipei, Taiwan, R.O.C.
Telephone: +886 2 2515 0000
Email Address: weblord@nec.com.tw
WEB Address: http://www.nec.com.tw

（対応地域） <Regions Covered>

Taiwan

NEC Singapore Pte. Ltd

Address: 401 Commonwealth Drive, #07-02, Haw Par Technocentre, Singapore 149598
Telephone: +65 273 8333
Fax Line: +65 274 2226
Email Address: daniel@rsc.necsin.nec.com.sg
WEB Address: http://www.nec.com.sg

（対応地域） <Regions Covered>

Singapore

Hyosung Data System, Ltd.

Address: 7th Floor, Cheongdam Building, 52, Cheongdam-Dong, Kangnam-Ku, Seoul, Korea 135-100
Telephone: +82 2 510 0234
Fax Line: +82 2 540 3590
Email Address: hds-ykc@hyosung.com

（対応地域） <Regions Covered>

South Korea

Lenso Communication Co., Ltd.

Address: 292 Lenso House 4, 1st Fioor, Srinakarin Road, Huamark, Bangkapi, Bangkok 10240, Thailand
Telephone: +66 2 375 2425
Fax Line: +66 2 375 2434
Email Address: pattara@lenso.com
WEB Address: http://www.lenso.com

（対応地域） <Regions Covered>

Thailand

ABBA Electronics L.L.C.

Address: Tariq Bin Ziyad Road, P.O.Box 327, Dubai, United Arab Emirates
Telephone: +971 4 371800
Fax Line: +971 4 364283
Email Address: ABBA@emirates.net.ae

（対応地域） <Regions Covered>

United Arab Emirates

Samir Photographic Supplies

Address: P.O.Box 599, Jeddah 21421, Saudi Arabia
Telephone: +966 2 6828219
Fax Line: +966 2 6830820
Email Address: valtkes@samir-photo.com

（対応地域） <Regions Covered>

Saudi Arabia

注＊：代替機貸出サービスが受けられます。

Date: / / , P-1 / ,

TO: NEC or NEC's Authorized Service Station:

FM:

_____

(Company & Name with signature)

Dear Sir (s),

I would like to apply your TravelCare Service Program based on attached registration and qualification sheet and agree with your following conditions, and also the Service fee will be charged to my credit card account, if I don't return the Loan units within the specified period. I also confirm following information is correct. Regards.

Application Sheet for TravelCare Service Program

Country, product purchased:	
User's Company Name:	
User's Company Address: Phone No., Fax No.:	
User's Name:	
User's Address: Phone No., Fax No.:	
Local Contact office:	
Local Contact office Address: Phone No., Fax No.:	
User's Model Name:	
Date of Purchase:	
Serial No. on cabinet:	
Problem of units per User:	
Required Service:	(1) Repair and Return (2) Loan unit
Requested period of Loan unit:	
Payment method:	(1) Credit Card (2) Travelers Cheque (3) Cash
In Case of Credit Card: Card No. w/Valid Date:	

ビューライトクラブ

インターネット上に ***ViewLight CLUB*** のホームページを設けています。

http://www.nevt.co.jp/vlclub/

お問い合わせは　***ViewLight*** フリーダイヤル　**0120-610-161**

9：00〜12：00　13：00〜17：00（土･日･祝祭日は除く）

NEC

NECビューテクノロジー株式会社

〒108-0014 東京都港区芝五丁目37番8号　住友三田ビル

営業本部　国内営業部

☎ (03) 5232−6148（ダイヤルイン）

Printed in Japan

7N8P0712